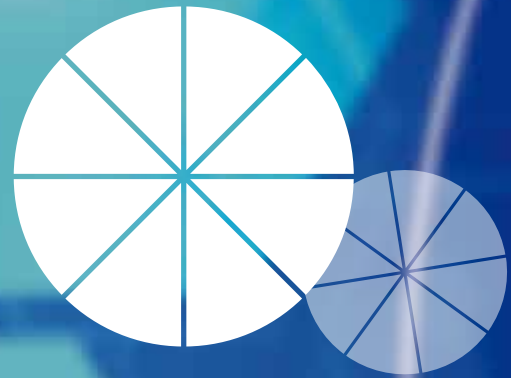


# ものづくり補助事業 成果事例集

新潟県

ものづくり補助事業  
成果事例集  
—新潟県—



新潟県地域事務局  
新潟県中小企業団体中央会

平成30年12月

新潟県地域事務局  
新潟県中小企業団体中央会

## はじめに

---

ものづくり補助金「成果事例集」をご覧くださいありがとうございます。

中小企業の方々が実施する試作品の開発や革新的な設備投資等に要する経費の一部を補助することで、ものづくり産業基盤の底上げを図り経済活性化を実現することを目的に、平成24年より「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」事業を設立し、対象や事業内容等を変えながら現在「平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」まで事業を継続してまいりました。

新潟県中小企業団体中央会では、県内での採択事業者様の補助事業の支援に取り組み、平成24年度は341件、平成25年度は420件、平成26年度は331件、平成27年度は184件、平成28年度は148件の事業計画が採択され、平成24年度から平成28年度までで事業費総額約257億円の事業遂行を支えるべく努めて参りました。

この度、「ものづくり補助金」の採択を受け、補助事業に取り組んだ事業者の実施内容や成果などを内外に発表することを目的として、一定の成果を上げ、かつ特色のある企業を各年度5社、合計25社を選定し、「成果事例集」として取りまとめました。

本事例集が、経営力向上に資する革新的サービスの開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の皆さまのご参考になれば幸いです。

最後になりますが、本事例集の作成にあたり、快く取材に応じてくださいました事業者様をはじめ、ご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げます。

平成30年12月

<新潟県地域事務局>  
新潟県中小企業団体中央会

- はじめに
- 事例紹介

## 平成24年度

- |   |                                    |    |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | 株式会社 片山抜型製作所                       | 4  |
|   | 薄板材を切削加工する超高速小径エンドミル加工機の開発         |    |
| 2 | 株式会社 満日製作所                         | 6  |
|   | 3D CAD/CAM導入による製造リードタイム短縮と受注拡大の実現  |    |
| 3 | 株式会社 川崎合成樹脂                        | 8  |
|   | 炊飯器釜を傷つけにくいご飯しゃもじの開発               |    |
| 4 | 株式会社 諏訪田製作所                        | 10 |
|   | 携帯用新型ネイルニッパーの開発                    |    |
| 5 | 株式会社 三雄工業                          | 12 |
|   | 3Dプリンター造型機導入とダイレクト鑄造の実現による精密鑄造品の開発 |    |

## 平成25年度

- |    |  |    |
|----|--|----|
| 6  | 株式会社 セブン・セブン                             | 14 |
|    | 水筒の内瓶等を製造する液圧プレス機とネッキングマシンの導入による新工法の確立   |    |
| 7  | スワロー工業 株式会社                              | 16 |
|    | 太陽光パネル架台金具の増産と傾斜架台の試作開発                  |    |
| 8  | 金井度量衡 株式会社                               | 18 |
|    | 3Dレーザースキャナ搭載マルチコプターの試作開発による新サービスと業種拡大    |    |
| 9  | 株式会社 ジェー・シー・エスコンピュータ・サービス                | 20 |
|    | システム構築のカスタマイズを低コスト・短納期で実現する「販売管理システム」の開発 |    |
| 10 | 富士印刷 株式会社                                | 22 |
|    | 高付加価値パッケージ受注拡大のための木型製作工程の最適化             |    |

## 平成26年度

- |    |  |    |
|----|--|----|
| 11 | 信越工業 株式会社                                | 24 |
|    | 減圧平衡発熱乾燥機、粉碎機導入による「ひげにんにく」パウダーの試作・商品開発   |    |
| 12 | SHIKIEN 株式会社                             | 26 |
|    | 舌ブラシの毛材製造のため超音波溶着機を導入し自動ラインを開発           |    |
| 13 | 株式会社 原田製作所                               | 28 |
|    | 自動車エンジンの吸気可変速弁制御モーターに使用する、薄型整流子の量産化体制の確立 |    |
| 14 | 有限会社 山谷製作所                               | 30 |
|    | 新しいライフスタイルを提案する卓上型経節削り器の開発               |    |
| 15 | 合資会社 小林醤油店                               | 32 |
|    | 地元新潟産小麦を原料とし、消費者が原料生産者を知ることが出来る醤油の開発     |    |

## 平成27年度

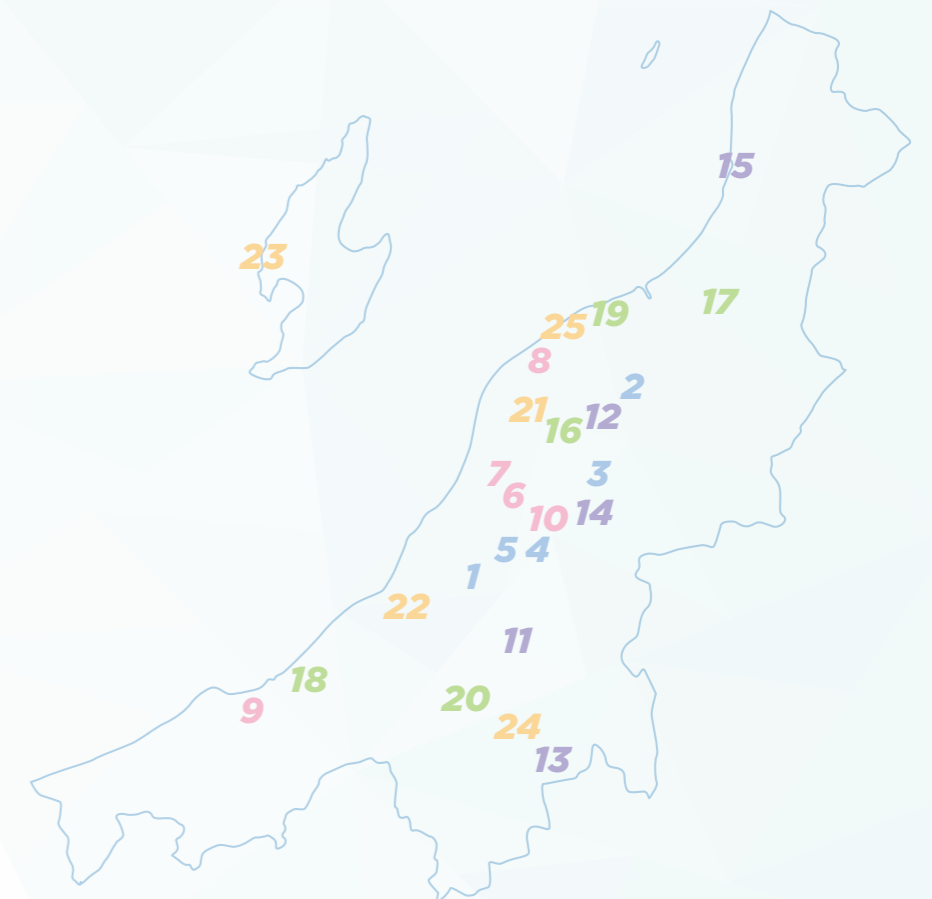
- |    |                                  |    |
|----|----------------------------------|----|
| 16 | 吉川化工 株式会社                        | 34 |
|    | 最先端材質管理体制構築により最高品質の最短納期実現        |    |
| 17 | 有限会社 宮村製麩所                       | 36 |
|    | 新潟産名産「麩」の高性能設備導入における職人の育成と生産能力拡大 |    |

- |    |                                      |    |
|----|--------------------------------------|----|
| 18 | 合資会社 竹田酒造店                           | 38 |
|    | ふくよかな味わい・甘み・キレを有する上越産日本酒の品質安定化及び販路拡大 |    |
| 19 | 株式会社 スパンギャルド                         | 40 |
|    | 高付加価値の染色技術開発及び生産システムの合理化による生産性向上     |    |
| 20 | 株式会社 スタックス                           | 42 |
|    | 高精度化・増産が求められる航空宇宙・医療機器分野の高度化対応の実現    |    |

## 平成28年度

- |    |                                       |    |
|----|---------------------------------------|----|
| 21 | 株式会社 UniBio                           | 44 |
|    | 植物より製造する化粧品原料EGFの工程改善による生産性向上         |    |
| 22 | 株式会社 榮技術                              | 46 |
|    | 3次元点群データを活用した測定の効率化と保全マネジメント向けの民間需要拡大 |    |
| 23 | 株式会社 ファーストイノベーション                     | 48 |
|    | マラソン計測におけるパッシブRFIDタグと世界基準新型記録計測機材の導入  |    |
| 24 | 株式会社 白旺舎                              | 50 |
|    | 多様化する日本の伝統、寝巻き浴衣独自の発想で、他社との差別化        |    |
| 25 | 株式会社 港製菓                              | 52 |
|    | ハラル市場向け包あん商品新規販売と拡販対応の製造ライン構築         |    |

- |           |    |
|-----------|----|
| ■ 採択事業者一覧 | 54 |
|-----------|----|



# 株式会社 片山抜型製作所

テーマ

## 薄板材を切削加工する超高速小径エンドミル加工機の開発

目的

アルミ、SUSなどの薄板（1～3mm厚）に細い溝（0.7～1.5mm幅）を加工する技術を基盤にした、大面積薄板材（1100×800mm）の超高速小径加工に特化した専用機の製造販売を目的として、試作機を製作する。



### 事業の内容

#### ■ 事業取組みの経緯

当社は印刷紙器製造業界における、紙箱を打ち抜く抜型の製造販売を専業として発展してきた。抜型はベニヤ合板をレーザーで切断した貫通溝に刃・罫類の部品を埋め込んで作成するレーザー・ダイが普及しており、市場規模は約200億円と想定されている。ベニヤ合板のレーザー・ダイは安価ではあるが、温度・湿度の影響で寸法精度が安定せず、耐久性と高精度を求める需要には対応出来なかった。



正確さを追究！限りなく簡単に！  
メタルカウンタープレート



高い精度と優れた耐久性を実現！  
メタルダイ

ニーズに対応するためには、メタル・ダイ（雄型）メタル・カウンタープレート（雌型）を組み合わせて製造することで対応でき、需要が伸びると予測した。しかし、市販の汎用機械での製造は、大きな加工面積では主軸回転数が低く、主軸高速回転の機種は加工面積が小さいため、過大なZ軸移動量など薄板素材の加工に不向きである。市販の汎用機Aでは加工時間が長くなり、汎用機Bでは加工時間の短縮はできるが、設計と加工データの準備が複雑になり工数が増える課題があった。

#### ■ 実施内容

上記の課題を解決するために「大面積の薄板材を専用で切削加工する超高速エンドミル加工機」を地元企業の協力を得て専用加工機の試作開発をした。市販の汎用機の不都合を踏まえ、両汎用機の利点を合わせもつ専用機を目指した。検証に当たっては、「温度変化による広い加工面内での寸法変

動の抑制」「集塵（切粉回収）設備の検討（最適なノズル形状等）」に注力し、検証改良を行った。

試作機は長岡事業所に設置して生産ラインで稼働しながら、性能と生産性の向上を実証しつつ、製造工程を改善した。

### 事業の成果

#### ■ 事業取組みの成果

4万回転の主軸と大面積の加工範囲を有する超高速小型マシニングセンタの試作機を製作、紙器パッケージの打抜き加工に用いる抜型および面板加工に最適な、大面積薄板材における高精度加工を実現した。達成度は、既存製品を既存工作機械で製造する場合と比較し、実現が図れた効率化を測定するという観点から考える。

具体的には削減が図れた製造工程、加工時間を含む製造コストについて、従来品との差異を総合的に判断する。製造工程については、従来は2工程（レーザー加工＋切削加工）での加工を必要としていたものを1工程（切削加工）で製造可能となり、1工程の削減を実現した。加工時間については、

機械性能の大幅な向上によって切削加工時間を25%削減、前述の1工程の削減と併せて、全加工時間の40%削減を実現した。また、人手による仕上げ等の作業時間についても、機械性能の向上に伴う製品仕上がり品質の向上によって、42%の削減を実現した。製造コストとしては、消費電力量、人件費等を削減したことにより、20%の削減という成果を得ることが出来た。

これらの成果（試作機）を元に、高速エンドミル加工機（薄板精密加工機）「DiemexPP-118」が完成した。試作品・販売製品の使用を通して、本加工機の機能・性能および、それにより生産可能となる抜型製品の機能・性能に対しても理解を深めて販売を行っている。

## にいがた経済新聞の目

### 自社開発の設備で付加価値を提供

アルミやSUSという金属板の薄板に細かい溝を加工できる小型マシニングセンタ「高速エンドミル加工機」の開発・製造した。同機で製造した抜型を使って加工された紙箱の抜きあがり製品の品質は、従来の木型や樹脂の抜型に比べて格段に「品質が向上している」（日根哲製造部部长）といい、取引先に対し「付加価値を提供できると思う。メタルカウンターをもっと普及させていきたい」（同）と話している。

金属板の抜型は樹脂板の抜型に対し、耐久性が高い。樹脂の80万ショットにくらべ、1000万～2000万ショットと耐久性が高いことが利点である。このため10個、20個という少量の加工には向かないが、ロットがまとまった場合は最終製品の品質の安定性、仕上がりの良さを勘案すればメリットは大きい。

高速エンドミル加工機は金属の薄板（1～3mm厚）に細かい溝（0.7～1.5mm）を加工できる。またセラミックス製の大面積の加工テーブルを装備。薄板を安定して加工できるのが特徴だ。



日根 哲 製造部部长

#### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 片山抜型製作所

所在地 〒940-2147 新潟県長岡市新陽1-11

代表者名 代表取締役 金子 一

電話番号 0258-21-5264

F A X 0258-21-5265

設立年月 昭和46年6月

資本金額 1,560万円

従業員数 34人

業 種 その他製造業

U R L <http://diemex.com/>

E-mail [web\\_info@diemex.com](mailto:web_info@diemex.com)



# 株式会社 満日製作所

## テーマ

## 3D CAD/CAM導入による製造リードタイム短縮と受注拡大の実現

## 目的

3D CAD/CAMの導入によって当社の強みである高精度部品の多種少量生産態勢を更に強化し、加工作業の高付加価値化と短納期化を図り、顧客からの特急対応やコスト削減等の要請に答え、収益率の向上と新規分野への進出を目指す。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

日に日に高度化する製品精度への要求。そして多様化する製品仕様。それらニーズに応えるため、高精度という品質を保ちながらより生産性を高め、発注から納品までのスピードアップを実現する。技術が工作機械の確かな生産性を導き、無駄のないプロセスを開発することで、高精度と短納期という難しいニーズに応える。

そして、機械部品加工作業の効率化と納期短縮化の実現によって、大手メーカーが生産設備に使用する加工治具及び量産前の試作品、中堅メーカーが製造する専用機をターゲットとして、部品加工市場の獲得を目指すため、3D CAD/CAMを導入。他社と比べて製品トータルコスト削減の優位性を確保し、また製造リードタイムの短縮による部品加工受注数増大といった収益性の向上が図られる。

### ■ 実施内容

#### 【1. システム導入】

システム業者より、設備投資として3D CAD/CAMシステムを導入する。

最適なシステム端末の設定について検討、及び調整を行う。

#### 【2. システム運用シミュレーション】

導入システムを効率的に運用するため、システム業者の助言を受けながらトレーニングする。

#### 【3. システム運用】

システム運用開始により、従来よりも加工作業の効率化と納期短縮化を実現し、受注先からの受注数増大及び収益拡大を見込む。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

3D CAD/CAM導入前、加工プログラムの作成は機械オペレータが手作業でプログラム入力をしてきた。手作業による入力のため、入力ミスによる機械や工具の破損、入力間違いのチェックなど、非常に手間がかかっていた。

しかし、3D CAD/CAMを使用する事により、発注先より支給されたCADデータをそのままプログラムに変換出来るようになり、プログラム作成時間の短縮、手動入力によるプログラムの確認加工等の加工前段取りの時間が大幅に短縮された。

テスト結果としては複雑形状であればあるほど、加工開始までにかかる時間を短縮（1/4以下）することができ、かつ従来は加工不可だった製品も加工が可能となった。また、プログラム入力時の図面の読み間違いや、プログラム作成ミスによる機械や工具の破損の危険性も大幅に低下した。

以上のことから3D CAD/CAM導入前に比べ作業効率は大幅に向上し、製品立ち上げまでの納期短縮と収益率（25%）の向上に成功した。また、手作業でのプログラミングでは作製する事が出来なかった、複雑な形状の加工プログラムも作成出来るようになったため、この新技術を生かし新事業への参入を図りたい。

## にいがた経済新聞の目



### 新工場竣工を機に自社製品を生産

JR山手線や京浜東北線といった電車やペットボトル、さらにはiPhoneなどに使われている部品をつくるための機械の部品、つまり「工作機械」の部品を手掛けており、同社の手がけた部品を使った機械は世界中に輸出されている。

今回導入した3D CAD CAMを利用することにより、データでプログラムを入力できるようになったため、従来の手動入力よりも作業が短縮され、さらに高度な製品への対応を実現。少量多品種を手がける同社にとって、顕著なものだと半分以下にまでプログラムの入力時間が短縮されたことで、社長自身、「圧倒的にスピードが速くなり、近年の売上げの伸びに大きく貢献しているのは間違いない」と評価している。受注の幅が広がったことで受ける業務の幅も広げることができる。

来春には新工場を敷地内に竣工予定であり、これまでは部品のみを手がけてきた同社は、新たに自社製品の生産に乗り出す計画だ。



浅間 旭照 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 満日製作所

所在地 〒956-0802 新潟県新潟市秋葉区七日町1061番地5

代表者名 代表取締役 浅間 旭照

電話番号 0250-22-2578

F A X 0250-22-2558

設立年月 昭和45年4月（創業 昭和30年）

資本金額 1,000万円

従業員数 17人

業 種 生産用機械器具製造業

U R L <http://www.mannichi.com>

E-mail [hideru@mannichi.com](mailto:hideru@mannichi.com)



# 株式会社 川崎合成樹脂

## テーマ 炊飯器釜を傷つけにくいご飯しゃもじの開発

### 目的

中央部は硬質ポリプロピレン、釜に接する外周部は軟質ポリプロピレンで同時成型し炊飯器釜を傷つけにくいご飯しゃもじの開発をする。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

従来硬度の異なる樹脂で一体成型する場合、1次で硬質樹脂を成型し樹脂収縮が安定するまでの数日間取り置いた後、1次品を2次金型でインサート成型する方式であったが、数量確保が困難であったことから独創的な成型技術で改善し、高品質で安価な製品を市場に提供する。

### ■ 実施内容

各種機械装置を購入し「2色しゃもじ」用金型を製作し以下の段取りで事業を実施した。

①本事業は2種の異なる樹脂をインジェクション成型で同時に成型し商品化するものであり一般的には2色成型法と言われ歯ブラシ等が商品化されておりこの技術を保有する成型機械メーカーと協議する。

②他社の市場販売品でサンプル収集後機能テストを行い不

具合箇所改善と量産性を考慮した形状でデザインを纏める。

③製品デザイン確定～製品図作成しメーカーと金型構造シミュレーションの後部品製作着手。

④グレードの異なるポリプロピレン原材料を数種類準備し成型性、耐熱性、強度、変形等量産に最適な材料の選定を行う。

⑤外観形状、機能性（ご飯の付着有無、耐熱性など）について客先とテストを行い、製品化可否の評価を行う。

⑥量産を見極めた生産コストの条件把握、客先と製品カラー、生産数、包装仕様、納期など販売計画協議し受注を受ける。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

今回、2色成型機で1次、2次成型を同時に行う事で2種の異なるポリプロピレン材料を溶融一体化させ、安易に剥離しないしゃもじの試作開発が実現でき、釜表面に発生しやすい傷を減少させる事ができた。

品質についても検査機関でしゃもじ先端部を炊飯器釜表面にあて摩耗検査を実施した結果、従来方式と比べ深さはほぼ1/2～1/3に改善できた。

一方、生産効率の向上に関しては、従来の成型方式に比べ生産能力の大幅増加、成型コストの大幅ダウン、製造価格の圧縮等大幅な削減が可能となり、材料費を含めたトータルコストでも合理化が見込めるため、結果的に消費者に

廉価で提供する事ができることとなった。



■ マミーふたいろしゃもじ

イエローとオレンジの2種類があり、御釜を傷つけにくい軟らかフチ形状。フチが薄く、両面にエンボス加工を施しているのご飯がつきにくい。また、立てて置けるので衛生的で置き場に困らない。

## にいがた経済新聞の目



### 卸を通じOEM供給先の開拓を加速

2色成型機で一体的に製造した「しゃもじ」は、従来の製造方法よりも大幅コストダウンが可能になったことから、大手の小売店チェーンなどに販路を広げている。流通側の評価も高く、今後は引き続き卸ルートを通じて、一段と大手小売店チェーンを中心にOEM（相手先ブランドによる生産）の販路を開拓する考えだ。

2色しゃもじは現在、自社ブランド「マミーふたいろしゃもじ」と主に大手小売店チェーンのOEM生産をしている。また雑貨店などに納入する自社ブランド製品も販売している。

新設備により従来製法よりも生産日数とコストが大幅に低減でき、大手小売店チェーン向けOEM生産品の利幅は薄いだが、大量生産し収益化している。2色成型機による量的拡大効果は大きく、設備の稼働率が向上し経営の安定にも貢献しているのが現状である。

製品はお釜を傷つけにくい軟らかいフチ形状である上、立てて置ける。ご飯がしゃもじにつきにくいことなども評価されているという。



川崎 雄輔 代表取締役社長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 川崎合成樹脂

所在地 〒955-0021 新潟県三条市下保内401-17

代表者名 代表取締役 川崎 雄輔

電話番号 0256-38-2531

F A X 0256-38-3666

設立年月 昭和26年1月（創業 昭和11年）

資本金額 2,500万円

従業員数 75人

業 種 樹脂製品製造業

U R L <http://kawasaki-plastics.jp/>

E-mail [otoiawase@kawasaki-plastics.jp](mailto:otoiawase@kawasaki-plastics.jp)



# 株式会社 諏訪田製作所

## テーマ 携帯用新型ネイルニッパーの開発

### 目的

既に定評ある切れ味の当社製品ネイルニッパーの基本構造を生かし、ユーザーより要望の高かった携帯できる大きさの新型モデルを開発し、新たに市場投入する。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社既存のネイルニッパーは、切れ味は抜群でも携帯に不向きなため、プロの職場（医療現場、ネイルサロン等）や家庭内に置かれたままになっている。

新開発商品は、軽量で持ち運びが容易にでき、カバンに入れ旅行用としても使えることで、既存ユーザーの不便を解消し、新しい需要にも応えることができる。

携帯用ニッパーの市場分野は、折り畳む「クリッパー」型のものであり、切れ味の良い当社の「ニッパー」型での携帯品は、世界で初の試みである。

現在のニッパー市場は、性能、品質、デザインにおいて大差がなく、中国製やパキスタン製の安価なものか、国産でもミドルレンジの商品群が多い。長く使える高級品としてのポジションは、当社ブランドで確立されつつある。高級ニッパーの市場は、良いものを長く使うライフスタイルへの変化に対応し伸びている分野である。その現状の中で既存顧客の買替え需要と、新規顧客の需要を掘り起こすこ

とを目的として取り組んだ。

### ■ 実施内容

実施内容は以下の流れで実施した。

1. デザイン開発／社内デザイン開発  
デザイン案抽出 レンダリング案作成
2. デザイン検討／社内デザイン開発  
デザイン検討 3Dプリンターに依る現物に近い形での機構と構造解析検討。
3. 試作品制作／社内開発チーム・製造部  
①NC旋盤機、サーボプレス機による部品試作  
②マシニングセンターによる形状試作  
③組み立て加工、仕上げ加工試作  
④3Dスキャナーによる再解析  
※①～④をフィードバックさせて繰り返し検討を進める。
4. 試作品検討／社内開発チーム・製造部  
上記結果を製造部門にブレイクダウン。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

本補助事業により導入した3Dプリンターは、より完成度の高いサンプル制作が可能になり、問題点の把握が容易にできるようになった。マシニングセンター等では、これまで外部に委託していた設計部門も自社でできるようになり、より最適な形状を選定でき、技術者の習熟高度化にも繋がった。また、開発期間に関しても、外部委託していた従前と比較すると、3分の1まで期間短縮できた。

平成28年には、ハンドル部分の材質と形状を変えることで、既存のニッパーよりも軽量化に成功。「マスターピースコレクション」と命名したニッパーが「2017年にいがた百年物語」に選定された。



## にいがた経済新聞の目



### 新設備を導入し月産数を引き上げ

ネイルニッパーの新製品である「マスターピースコレクション」は3Dプリンターにより完成度の高いサンプル制作ができ、マシニングセンターなどでは最適な形状の選定ができるという効果をもたらした。この結果、新製品は従来のネイルニッパーに比べ軽量化に成功し携帯にも便利になった。現在、ハンドル部分に天然木とマイカルタという素材を使用した計7種類を発売している。天然木は「黒檀」、「紫檀」、「メイプル」、「ポコーテ」の4種類。マイカルタでは「レッド」、「ブラック」、「ホワイト」の3種類がある。

金属素材のネイルニッパーではハンドル部分に金属の冷たさがある上、滑りやすい。新製品のハンドル部分は金属ではないという新しい付加価値を提供し、ネイルサロンはもとより、個人顧客などにも人気が高い。

ハンドル部分の素材の研磨、磨きはすべて手作業のため月産30～50個しか生産できず現在、自社のホームページと本社店舗でしか販売していないが、注文後納品まで2～3か月待ちの状態である。今後は新設備を導入し月産数を引き上げ、対応を図る。



神山 義一 開発室長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 諏訪田製作所

所在地 〒959-1114 新潟県三条市高安寺1332番地

代表者名 代表取締役 小林 知行

電話番号 0256-45-6111

F A X 0256-45-4528

設立年月 昭和49年7月（創業15年）

資本金額 1,000万円

従業員数 51人

業 種 金属製品製造業

U R L <http://www.suwada.co.jp/>

E-mail [suwada@suwada.co.jp](mailto:suwada@suwada.co.jp)



# 株式会社 三雄工芸

## テーマ

### 3Dプリンター造型機導入とダイレクト castingの実現による精密鑄造品の開発

## 目的

従来高品質で精密なジュエリーの生産を3D-CADで設計後、型枠作り～鑄造までの工程を外注に出していたが、3Dプリンター造型機を導入することで、自社で賄うとともにダイレクト castingの技術を導入し、商品競争力の強化と工業製品の試作品製造の分野への参入を目指す。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

オーダーメイドジュエリー業界では、大きなシェアを持つ大企業はなく、中小企業（町工場）がほとんどを占める。生産拠点を人件費が安い海外に移す企業が多く、そういった企業は主に大ロットで中程度の品質のものを生産している。

国内の町工場の多くは、デザインから原型製作、キャスト（鑄造）、販売までの各段階で分業化されている。そんな中、当社では高度な設備の技術を要する製品工程（今回の新事業に関わる技術）を外注に頼る以外は全ての段階を



《製品例》マリッジリング

ネックレス

自社で賄い、店舗・HPによる販売も行っている。また、比較的大きなロットでのOEM生産も行っており、既存の販路が確保されていることが強みである。

課題点として、高度な技術を必要とする製品は、外注に出さざるを得ないことによってサンプル作成や製品化までのタイムラグが大きく、顧客への提案材料は3D-CAD図面に限定されてしまう。またコストも大きく、最大の問題点として、品質にばらつきがあり使えなくて廃棄する場合もあった。

そこで、3Dプリンター造型機を導入することで、自社で賄うとともにダイレクト castingの技術を導入し、商品競争力の強化と工業製品の試作品製造の分野への参入を目指す。

### ■ 実施内容

手順1：3Dプリンター購入と、それにより可能となるダイレクト casting技術の導入

### 手順2：試作品作製

当社において素材ごとの最適な製造条件を確立するためにダイレクト casting技術による試作品の製造・開発を行う。

### 手順3：設計・デザインへのフィードバック

試作品の品質（精密性・デザインの忠実性）・コストの面を検討し、設計・デザイン段階で取り入れることので

きる新技術を顧客への提案に取り入れていく。

### 手順4：顧客への提案方法の革新

実現した新技術を既存のものに効果的に融合させ顧客への商品提案力のアップにむすびつける。その際に、デザイン性（品質）、価格、提案から商品提供までのスピードという今回獲得する当社の強みをアピールする。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

自社で3Dプリンターによってサンプル作成、高度な技術を要する製品の鑄造が可能となり、ワンストップ化が実現した。同時にサンプル作成、高度な技術を要する製品の鑄造の作成時間が短縮されサンプルを用いた提案までのスピードや納期が大幅に改善され、コストダウンも可能となった。

具体的な改善結果としては、外注に出した場合の納期が1週間だったものが、3Dプリンターにより1日で作成できるようになった。

また、3Dプリンターの製造コストは外注と比較して格段に低く、これまで約5万円かかっていたものが3Dプリンターにより約10分の1（人件費別）で製造可能となった。

## にいがた経済新聞の目



### 細かな製品の製造受注事業を強化

ジュエリー、アクセサリーのほか、雑貨、ノベルティなどの製造・販売・卸を手がける。「レディースジュエリー、メンズアクセサリーを中心に、結婚指輪や婚約指輪などプライダリングや企業様の社章や記念品、ノベルティまで製造している」（平沢社長）

もともとは国内外の一流ブランドのジュエリーなどをOEM生産していたが、2009年に自社ブランドである『アトリエ・クラム』を立ち上げ、購入者と打ち合わせをしながら、デザインから製造までの一貫体制でオーダーメイド（セルフメイド）のウェディング・リングを製造する事業を開始した。現在、長岡と新潟に販売拠点となる店舗「アトリエ・クラム」を構え、これまでに3000組以上のリングを製造してきた。

かつてウェディング・リングといえば、イニシャルや結婚記念日を刻印することはあったが、アトリエ・クラムでは、指紋、イラスト、メッセージなど様々なものをリングに入れることができる。

今後は、新事業の育成にも注力する。具体的には、細かな製品の製造ノウハウを活用し、異業種からの細かな製品の製造受注を行う事業を強化していくという。



平沢 和雄 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 三雄工芸

所在地 〒954-0111 新潟県見附市今町5-2-33

代表者名 代表取締役 平沢 和雄

電話番号 0258-66-8281

F A X 0258-66-6761

設立年月 平成元年4月（創業 昭和55年）

資本金額 1,000万円

従業員数 32人

業 種 製造業（非鉄金属製造業）

U R L <http://www.craft-sanyuu.co.jp/>

E-mail [info@craft-sanyuu.co.jp](mailto:info@craft-sanyuu.co.jp)



# 株式会社 セブン・セブン

## テーマ

## 水筒の内瓶等を製造する液圧プレス機とネッキングマシンの導入による新工法の確立

## 目的

当社主力商品である「水筒」市場では、低価格で軽量なものを求めるニーズが高くある。こうした中、既存設備では製造コストの削減と軽量化に限界があるため、本事業により新工法を確立し、コスト削減を図りながらも軽量化した新商品の開発を行い新規市場の獲得を目指す。



## 事業の内容

### ■事業取組みの経緯

当社は独自の真空断熱技術により、高い保温・保冷効果をもつ「ステンレス製魔法瓶（水筒）」の製造・販売、「チタン製真空タンブラー」の製造メーカー。

主力商品の「水筒」市場は、低価格で軽量な物を求める傾向にあるが、現行設備は老朽化が著しく製造コストの低減と軽量化に取り組むには限界がある。そこで本事業を活用して新設備を導入し、新工法を確立することで、より軽量化・低価格化した製品を開発し新たな市場を獲得する。

新製造工程によりプレス作業時間の短縮・消費電力の削減、溶接工程の短縮等を実現し、製造コストを5%削減することで、消費税の税率が上がった後も税込み価格の据え置きを目指す。

また、ステンレスの板厚を薄いものに替えて製品重量を10%削減し、軽量化を求める市場ニーズに合わせた商品を目指す。

国内で全ての工程を一貫生産していることで、日本製にこだわった新製品開発の問い合わせもあるが、数量限定アイテムも量産品も国外生産品と比較すると価格面で折り合わず、実現しない案件が多くあった。

本事業の取組みにより、製造可能な商品の拡大と生産効率の向上・コスト削減で、今まで問合わせ段階で埋もれていた案件に応えて、あらたな受注の獲得・開拓を行う。

### ■実施内容

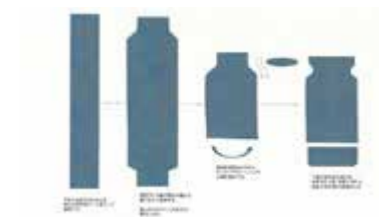
主力商品である水筒は、外気に触れる外瓶と内容物に触れる内瓶をそれぞれ作成して繋ぎ合わせ、真空処理を施すことにより作られる。現在は油圧プレス機を中心に外瓶・内瓶を作成しているが、製造する工程が多岐に渡り製造コストが高止まりしている。

水筒内瓶の製造は上部・中部・下部と分けて加工しており、上部はプレス加工で5工程して成形を行い、中部はロール加工と溶接加工、下部はプレス加工と淵を切り取る加工で、各部品を製造して最後に全てを溶接して繋ぎ合わせる。

特に上部の加工においては、プレス加工を5工程行う為に板厚をこれ以上薄くできない。新工法では、最初に今までの二本分に当たるステンレス材をロール加工して淵を溶接し円柱型に加工。その加工品を液圧プレス機で円柱の内

側から水を入れて任意の形に膨らませ成形。真ん中でカットして部品上部をネッキングマシンで成形し今まで上部と中部に分かれていた中間品を一括で成形する。

上記の新工程を確立して油圧プレス機で5工程掛かるなどしていた作業を簡略化して製造コストを削減した。



新工法

## 事業の成果

### ■事業取組みの成果

本補助事業の取組による新工法は当社現行主力製品のBP-1000とSS-200の内瓶で試作を行い、下記の効果を実現した。

①作業工程では、プレス作業の5工程を2工程に削減し、作業時間は、85分（金型取付75分+中間品成形10分）を27分（金型取付25分+中間品成形2分）に短縮。

- ②プレス作業による不良品率は現行法で2～5%程になるが新工法ではほぼ0%になった。
- ③新工法では部品を引き伸ばす工法により、重量は132gから126gと6g（4.5%）の軽量化。



## にいがた経済新聞の目



### 実店舗に加えeコマースサイトを活用

今回は「水筒の新工法」で補助金を活用した事例として紹介しているが、水筒よりも有名な「SUSgallery」というブランド名のチタン商品。ステンレスに比べて加工条件が難しいチタンの加工技術を高め、チタンで真空をつくる技術で特許を取得している。「単純な二重構造の商品はあるが、魔法瓶と同じ真空状態になっているチタンの商品を作っている唯一のメーカー」（同社）。Sepia、Sakuraなど6色と20以上の形があり、アイテム数は100以上に上る。

平成26年には東京・日本橋にSUSgalleryコレド室町店をオープンし、東京営業所が中心になり、販売、高級ブランド化に向けた情報発信、顧客の声の収集などに取り組んでいる（水筒もその店舗内で販売している）。

また最近ではeコマースでの販売にも取り組んでいる。「7年以上前から、ヤフーショッピングに出品しているが、今年春には自社のeコマースサイトも立ち上げた」（同）。今後は、実店舗に加え、eコマースサイトでも、販売、ブランド化や声の収集などに取り組んでいく。



栗田 宏 代表取締役社長

### ■事業者の概要

事業者名 株式会社 セブン・セブン

所在地 〒959-1280 新潟県燕市花見300番地

代表者名 代表取締役 栗田 宏

電話番号 0256-62-4117

F A X 0256-62-4120

設立年月 昭和46年6月

資本金額 1,000万円

従業員数 68人

業 種 金属製品製造業

U R L <http://sevensseven77.com>

E-mail [sevensseven@sevensseven77.com](mailto:sevensseven@sevensseven77.com)



# スワロー工業 株式会社

## テーマ 太陽光パネル架台金具の増産と傾斜架台の試作開発

### 目的

当社の主力商品である「太陽光パネル架台金具」の受注が急増する中、増設中の新工場内に自動大型プレス機を導入して量産体制を構築するとともに、新規にベンダーを設置して顧客からの要望が強い「傾斜架台」を試作開発し、新たな市場獲得を目指したい。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

金属製屋根用の雪止め金具を主体に製造、全国の二次製品問屋に販売を行っており、5年程前より雪止め金具の製造ノウハウを活かし、太陽光パネルの架台金具（設置金具）の製造を始め、住宅用と産業用に製造・販売している。太陽光パネルの架台金具の分野において、他社製品は取付け時に屋根にビスを打ち付けるタイプのため、雨漏りの苦情頻発。そこで当社独自の雪止め金具のノウハウを活かしビスを打ち付けない架台金具『D-SWAT』を開発。環境意識の高まりやエコエネルギーが注目されるなか、太陽光発電に関する市場規模は拡大が続いており、先述した当社独自の太陽光パネル架台金具『D-SWAT』シリーズは好評だが、現状の製造設備（単発金型）では生産が間に合わない課題があった。

### ■ 実施内容

顧客からのニーズに応えるべく、新工場を増設（26年

6月完成）し、本事業によって自動大型300トンプレス機を導入、量産体制を構築するとともに生産効率の向上をもってコストダウンを図る。大型門型サーボプレスは音が静かでストロークが早く、製品毎に自在にスピードをコントロールできるので金型が傷まない、作業環境にも配慮した機械である。また、以前より得意先からの要望が強い「産業用向け太陽光パネルの傾斜架台」の試作開発を進め、新たな市場獲得を目指す。これまでは、他社製品の傾斜架台を仕入れて販売していたが、その製品に代わる新商品の開発が必要で、①製品の強度②施工性の向上③部品数の低減化④低価格化といった要求事項があり、その要求を満たす新しい傾斜架台の試作開発に取り組んだ。

産業用の屋根（主に工場や倉庫の屋根）は平らであることが多く、その上に太陽光パネルを設置する場合は発電効率が悪くなる。発電効率を良くするためにはパネルに角度を付ける「傾斜架台」が必要となり、その傾斜架台を、取り付けが簡単で雨漏りの心配もない『D-SWAT』のノウハウを組み合わせ、軽量化、施工性、価格をコンセプトとして開発した。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

試作完成品の強度試験を実施（圧縮試験、引張試験）し製品強度の検証を行った結果、これまで仕入れて販売していた他社製品の圧縮強度が13.54kNに対し、19.01kN（40% UP）の強度を実現し、引張強度は同等の数値となり、製品強度の妥当性が確認できた。施工性についても他社製品と比較すると、太陽光パネル1枚あたりの施工時間が約20分に対し、約14分（30% Down）に短縮が可能となり、施工性向上の妥当性が確認できた。以上により、開発当初の要求事項であった、①製品の強度②施工性の向上③部品数の低減化④低価格化による太陽光パネルの傾斜架台試作品を開発することができた。開発は、予想を上回る効果を得られ、太陽光パネルの傾斜架台と架台金具の自社

セットによる供給体制の実現が可能となった。これらの成果により、従前の取引業者からの要望に充分対応でき、他社との競争力は格段と向上した。



## にいがた経済新聞の目



### 顧客ニーズを基にした新商品の開発

雪止め、雨どいなどを屋根に取り付けるための金具、太陽光パネルを屋根に設置する架台・金具などを製造している。太陽光関連の事業を始めて以降、販売エリアが大幅に広がった。「これまでは東日本が中心でしたが、太陽光パネルを屋根に設置する住宅の多い西日本に販売エリアが拡大しました。今では沖縄を除く全国で当社の金具が使われるようになっています」（企画生産部企画開発課・山崎貴史氏）

一方、代理店（屋根関連の施工会社など）から「この屋根に対応した金具を至急作ってほしい」など様々な要望が寄せられることが多く、屋根に対する様々なニーズに対応できる体制を整えてきた。販売エリアの拡大は、こうした“応用力”をビジネスに変えていけるエリアが広がったといえる。

また、顧客から寄せられた要望がきっかけとなり、「SKフレーム」などの新商品開発につながったこともあることから、より広範囲のエリアから要望を収集できるようになったことは、新商品の開発の機会が増えたといえる。



原田 雅史 代表取締役社長

### ■ 事業者の概要

事業者名 スワロー工業 株式会社

所在地 〒959-1286 新潟県燕市小関657番地

代表者名 代表取締役 原田 雅史

電話番号 0256-63-6031

F A X 0256-63-6053

設立年月 昭和42年12月

資本金額 1,100万円

従業員数 70人

業 種 金属製品製造業

U R L <http://www.swallow-k.co.jp/>

E-mail [info@swallow-k.co.jp](mailto:info@swallow-k.co.jp)



# 金井度量衡 株式会社

## テーマ

## 3Dレーザースキャナ搭載マルチコプターの試作開発による新サービスと業種拡大

## 目的

建設分野では対象物を3Dレーザー計測する各手法が一般化してきた。最も一般的な地上計測は設置箇所が限定的で非効率。有人航空機や車載計測は小回りが利かず、双方費用対効果が課題である。本件では純国産マルチコプター（小型無人機）にレーザースキャナを搭載し課題解決。災害やインフラ等の調査業務の安全性向上・高効率化を実現し、新サービス業務～業種拡大を目指す。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

「ハカリ」の製造販売をルーツとする当社は、各種測量機器、計量機器の販売メンテナンス、並びに環境・気象・土木計測機器などの設置・設計施工から保守業務まで、高い技術力で多くのお客さまに「はかる」環境を提供し続けてきた。

近年、マルチコプター（小型無人機）は様々な産業に導入され始め、測量分野等においても活用が進んでいる。他方、建設分野では対象物を3Dレーザー計測する各手法が一般化してきている。しかし、最も一般的な地上計測は設置箇所が限定的で非効率であり、また、有人航空機や車載計測によるものは小回りが利かず、双方費用対効果が課題であった。

純国産マルチコプターにレーザースキャナを搭載して上記課題を解決する。災害やインフラ等の調査業務の安全性向上・高効率化を実現し、新サービス業務～業種拡大を進める。

### ■ 実施内容

当社では、本事業に不可欠な高精度姿勢制御マルチコプターの知識を千葉大学発ベンチャーの(株)自律制御システム

研究所の指導により習得してきた。スキャナ取付ジグの基本設計と安全ガイドライン策定を同社の指導を得て行い、事業における安全運航の準備を整え、本事業の円滑な推進と早期の事業化を図る。

- ①レーザースキャナ、ソフトウェアの設備
  - ・多様な業務に対応する為に、下方向から上方向まで330°の広角計測可能な小型レーザースキャナを設備する。
  - ・レーザー計測の様々な後処理（レーザーデータ合成／編集／正規化、写真解析／編集／合成／3D化等）を行う各種ソフトウェアを設備する。
- ②ダミーウェイトによるマルチコプター飛行試験/調整
  - ・レーザースキャナ及び関係部品の同重量のダミーウェイトを用い、試験飛行を実施する。
- ③レーザースキャナのマルチコプターへの実装/調整
  - ・仕掛品の取付ジグを使い、レーザースキャナをマルチコプターに実装し取付調整、バランス調整を実施する。
- ④マルチコプターレーザースキャナシステムの屋内飛行試験/調整
  - ・レーザースキャナを搭載し屋内実験場にて飛行試験とマルチコプターの自律飛行制御のチューニングを実施する。

- ⑤マルチコプターレーザースキャナシステムの屋外飛行試験/調整
  - ・レーザースキャナを搭載し屋外にて飛行試験とマルチコプターの自律飛行制御のチューニングを実施する。
- ⑥実証実験/最終調整
  - ・従来方法の作業との比較実証を実施する。

- ⑦社内研修、広報
  - ・本事業は新規で革新的な事業であり社内研修を集中的に実施し社内での周知と知識取得を進める。各種業界見本市への出展に参加し（実装済み試作機orモックアップ品）、同時にフェイスブック・ホームページ等での広報活動を行う。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

- ①地上計測との精度比較では、計測精度の平均誤差値は±1.2mmであり、最大誤差が±2.2mmで精度面では課題が残ったが、実用可能な精度が得られた。
- ②作業効率化の向上。
  - 30,000m<sup>2</sup>の計測時の作業時間が300秒から73秒に短縮できた。また、スキャンによる全周計測で作業面積は約3倍に拡大した。
- ③作業時間の短縮及び計測補助人員1名、技術管理費、安全管理費が削減できたことにより、作業経費は約30%削減された。
- ④交通量の多い市街地、山間区、被災地等の計測が常態に行われており安全性の向上に期待が大きい。一定距離の遠隔操作で作業者の計測地点が一点に限定されず安全

性は大きく向上する。安全性向上には、アンケート調査でも90%の先が期待を示した。  
⑤上述①～④の通り新たなサービスが提供できる。アンケート結果では期待を示した先は60%であったが、これはマルチコプターによる3Dレーザー計測の実測が未着手によるものである。トンネル・橋梁・災害調査について各社とも強い関心を示している。



<試作開発した計測用マルチコプター>  
購入したマルチコプターに3Dレーザースキャナ・特殊映像伝送装置・カメラ・大容量バッテリーを搭載し、テスト飛行により運航制御を確立させ、安定した計測を実現した。

## にいがた経済新聞の目

### 人材育成や事業提携で事業領域を拡大

計測の分野では近年特に、空中からのソリューションに注目が集まっており、計測関連の新しい事業の切り口として、牽引しているのがドローン事業だ。同社では業界の中ではいち早く、2011年より「計測分野を低空域からイノベーション」を目指し千葉大学と連携。現在の一般社団法人日本ドローンコンソーシアムの前身となるコンソーシアムの設立を通して、国産ドローンの開発やソリューションの研究を進め、千葉大発ドローンベンチャー(株)自律制御システム研究所に出資。さらに、ものづくり補助金制度の活用により、ドローン搭載型レーザースキャナ（レーザーを照射することで対象物の空間位置情報を取得）の研究開発に着手。世界屈指のレーザースキャナメーカーとの提携から事業化に至る（p18写真）。

現在は、その豊富な経験から養われた技術やノウハウをもとに、国土交通省航空局登録の無人航空機講習団体としてドローンスクールを開設し人材育成を推進中である。モノからコト、そしてヒトづくりへと事業領域を広げている。



金井 利郎 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 金井度量衡 株式会社

所在地 〒950-0971 新潟市中央区近江一丁目1番3号

代表者名 代表取締役 金井 利郎

電話番号 025-283-8800

F A X 025-283-6100

設立年月 昭和34年6月

資本金額 3,000万円

従業員数 44人

業 種 小売業、サービス業

U R L <http://www.kanai.co.jp/>

E-mail [info@kanai.co.jp](mailto:info@kanai.co.jp)



# 株式会社 ジェー・シー・エスコンピュータ・サービス

## テーマ

### システム構築のカスタマイズを低コスト・短納期で実現する「販売管理システム」の開発

## 目的

直接的に利益を生まない事務管理コストはどこの企業も抑えたいところだが、パッケージソフトでは実業務の“かゆいところ”に手が届かずオリジナル開発では初期投資に相当な費用を必要とする。また、取引先との受発注形態の変更や法律の改定による運用形態の変更などへの対応を必要とする企業に、本事業である「販売管理システム」の導入を見込む。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

販売管理は業種により特有の処理と取引先からの要求にこたえる管理が求められ、業態や市場の変化・法改正によるプログラムの修正には期間と費用がことのほか掛かっていた。そこで、プログラムの修正をせずにカスタマイズ出来るシステムを開発することにより、ユーザー経費負担の軽減と迅速対応が可能となり、業種を問わない市場ニーズへの販路が拡大する。

### ■ 実施内容

事業実施に当たり試作開発用機器を導入し、当社職員8人で約7千時間を費やして販売管理システムの開発を行った。

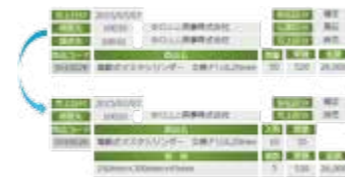
#### ①複数ベンダのデータベースに対応

- 既存システムからのデータ移行や利用中のデータベースを流用可能



#### ②入力画面の自由レイアウト

- 入力項目の配置変更や入力順、項目値のデフォルト表示などオペレーター毎に設定が可能
- 入力時のマスタ検索条件（項目）をオペレーターの使い勝手に合わせて変更作成可能



#### ③複数処理画面のマルチ表示は自由に配置可能

- 関連処理の同期も可能
- 例) 得意先元帳から対象伝票にジャンプし、修正結果が即時反映される



- ④各種マスタのメンテナンスをExcelと連携させ、コピー＆ペーストも可能とする
  - 自由レイアウトの概念をマスタにも取り入れ、カード形式とグリッド形式のいずれも可能にする。これにより、グリッド形式の場合Excelとコピー＆ペーストを実現。

- ⑤商品マスタ、取引先マスタのコードふり直し
  - 運用開始後もコードの付け直しが可能

- ⑥入金管理の強化
  - 売掛残金に対する入金ではなく、伝票単位・明細単位の入金消込と、前受金や過不足の管理が可能
- ⑦内部統制
  - 利用者ごとにプログラム処理単位での権限設定が可能

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

本事業で作成した開発成果物については、販売管理システムの全体機能（売上・仕入・在庫管理）の内の売上管理に係る部分で、当社従来品あるいは市販品との差別化が進んだと評価できる。なお、具体的評価は以下のとおりである。

- ①複数ベンダのデータベースに対応させたことにより、既存使用データベースと新システムを比較すると、データベース代で250,000円削減（削減率100%）、データ移行作業で2~3工数削減（削減率40~50%）、テスト工数で1.5~2.5工数削減（削減率75~83.3%）、総計では4.5工数430,000円の削減（削減率64.3%・81.1%）となった。また、選択によっては無償版を利用しコストを抑える事も出来る。

- ②システム運用途中で伝票入力画面に新たな「入力項目」が追加になった場合の費用比較では、画面設計変更で2工数削減（削減率100%）、データベース構造変更で1工数削減（削減率100%）、関連処理テスト0.5工数削減（削減率25%）、総計では3.5工数140,000円削減（削減率各70%）となった。併せて、入力画面の自由レイアウトにより、入力項目を利用側の希望に合わせて配置することが出来る為、用途に合わせた効率化にも貢献できる。
- ③汎用ソフト「Excel」でコピー＆ペーストによる各種マスタのメンテナンスを可能にし、特定の技術を要するデータベース操作を軽減することで、大量マスタの見直しやデータ移行時の作業工数を削減できる。

## にいがた経済新聞の目

### 製造業など幅広い業種を開拓

ユーザーの要望に合わせ簡単に、かつ短納期でカスタマイズできるというイージーオーダー型のパッケージソフトである「販売管理システム」を開発。これまで食品や雑貨、酒類の卸売関係の流通業を中心に、提案し受注に成功してきた。今後は「製造業に積極的にアプローチ、展開業種を広げていきたい」（保坂一文営業課長）とのことで、鉄鋼、金型、精密機械、化学メーカーなどといった製造業をターゲットに、幅広い業種を取り込んでいく方針である。商談ベースですでに複数発生しているという。

すでにユーザー企業側では販売管理システムのソフトを導入しているケースが少なくない。ただ同ソフトの場合、技術者ならずとも簡単にパラメーターの設定だけで入力項目の追加や、入力項目の自由配置といった変更ができる。同ソフトのコストパフォーマンスの良さ、変更が短時間で実現できる良さを訴求し受注に結びつけたい。これまで以上に同ソフトの改良を重ね、幅広い業務に精度高く対応していく。



保坂 一文 営業課長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 ジェー・シー・エスコンピュータ・サービス

所在地 〒943-0803 新潟県上越市春日野1丁目3番5号

代表者名 代表取締役 松尾 郁夫

電話番号 025-525-1095

F A X 025-525-4829

設立年月 昭和48年10月(創業45年)

資本金額 7,500万円

従業員数 52人

業 種 情報サービス

U R L <https://www.jscscs.co.jp/>

E-mail [info@jscscs.co.jp](mailto:info@jscscs.co.jp)



# 富士印刷 株式会社

## テーマ

## 高付加価値パッケージ受注拡大のための木型製作工程の最適化

## 目的

当社の主要製品である紙パッケージの製造工程中、紙を打ち抜くための木型製作における設備を最適化することで、設計された形状や顧客要望に対して適確に実現することが可能になり、より複雑で付加価値の高い製品の製作を行い、受注の拡大につなげていく。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社は昭和45年に創業し、平成元年に株式会社として改組、平成10年より富士印刷株式会社と社名変更し、今に至る。主にオフセット印刷を中心に、総合商業印刷業として帳票類、パッケージや什器、チラシ、カタログなど幅広い印刷を行っている。

パッケージ事業の拡大に伴い、お客様からの注文は簡単な形状からより複雑なもの、高品質・高付加価値を求められるようになってきた。当社としても単なる保護用容器としての紙器ではなく、ギフトや、店頭で販売効果をアップするディスプレイ用の難易度の高い紙什器へと営業シフトしてきた。

本事業の全体としては、型製作部門における全設備の刷新だが、より高品質なパッケージを製作できる新しい型製作技術を導入したいと考えた。

#### 1. 複雑な形状への対応力アップ

折り角度が広く、製造できなかったもの（形状に応じて一般的な木型製作会社でも数十種に及ぶことがある）。

2. 複雑な製造を行える人員、スキルの維持
3. 短納期の要望への対応

パッケージ市場全体として短納期化が進み、数年前には営業日ベースで5～7日の製造期間があったが、昨今では3～5日が一般的になっている。

### ■ 実施内容

1. 型製作設備の充実による、製造品質や製作範囲の拡大  
厚さのある材質、ギフト箱やディスプレイボックスなどの木型製作が可能になる。
- ①設計通りに刃材をさまざまに加工できる刃材自動切断機の導入  
CADデータから直接刃材を設計図どおりに、できなかったミシン目、リード罫なども正確に切断することができる。
- ②型ゴムカッティングのための専用ソフトとそのカッティング機の導入  
CADデータから設計図を読み取り、設計変換された型ゴムを自動でカットしていくマシン。

#### ③CAD面板加工機の導入

「CAD面板」作成機の導入を計画しています。設計データをそのまま使用しNC加工機にて面板に彫り付ける。

#### 2. 作業の平滑化と自在な人材の取り込み

CADシステムと連動したソフトを使用し、作業を平滑化。これによって品質は安定し、人材育成もスムーズに進む。

#### 3. 効率化による短期製作の実現とロスの低減

最大のメリットは、現在木型製作のフローが連続する一つの流れなのに対し、同時進行が可能になり、製作時間の大幅な短縮を図れる。また、オリジナルの設計図面から直接すべての工程にデータ指示を行えるため、品質が安定し、ロスの低減にも貢献する。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

本設備投資を導入したことにより、得られた成果は以下のとおりである。

1. 高付加価値の特殊複雑形状の向上で、月平均型製作数が増加した。具体的な特殊複雑形状において、従来は製作できなかった刃材カットや面板製作、型ゴムの製作が機械導入により製作可能となった。

2. 短納期では従来工程数は変わらないが、設計工程以降の型製作工程で製作時間が短縮となった。また、特殊複雑形状型の納期については、外注製作していたため時間がかかっていたが、短縮となった。

本事業目的は計画時予想の通りの効果判定となり、自動化により人的部分においてもスキルなど新人、経験者に限らず有効であり最適化の確認がされたことにより他社との競争力が向上した。

## にいがた経済新聞の目

### 首都圏での顧客開拓に注力

会社の周辺にはチタンやアルミニウム製品メーカーが多く、そうした企業から箱・パッケージの印刷（制作）依頼が15年ほど前から増え始めた。そこで箱・パッケージの印刷事業に力を入れ始め、現在、主力事業に育っている。

強みは、デザインから印刷・制作まで一貫で行えること。デザインであれば、社内にいる15名のデザイナーがイメージや予算にあった形状・デザインを提案する。

また高級箱の制作に必要な高精度な木型も社内で作成。木型の精度が高くないと、刃と刃があたる角度が微妙にズレてしまい綺麗に切れなかったり、箱の折り目に入れる溝がわずかに深くなったり浅くなったりして綺麗に折れない。そこで経験豊富な社内の熟練者が精密な木型を制作している。

さらにチラシ、シール、カタログなど様々なものを総合的に提案できることも強みだ。このほか、デジタル印刷で小ロットにも対応している。

今後は効率化と販路拡大に取り組む。効率化では、11月に完成した新本社工場に生産拠点を順次集約化しており、完了後には1か所で一貫生産が可能となる。現在の販路については、県内外の売上比率が半々だが、今後は首都圏での顧客開拓に力を入れていく。



星野 里美 代表取締役社長

### ■ 事業者の概要

事業者名 富士印刷 株式会社

所在地 〒959-1151 新潟県三条市猪子場新田1122-1

代表者名 代表取締役 星野 里美

電話番号 0256-45-1211

F A X 0256-45-1210

設立年月 平成元年4月1日

資本金額 3,000万円

従業員数 72人

業 種 印刷

U R L <http://www.fujipt.co.jp>

E-mail —



# 信越工業 株式会社

テーマ

## 減圧平衡発熱乾燥機、粉碎機導入による「ひげにんにく」パウダーの試作・商品開発

目的

「ひげにんにく」のB品・ロスを乾燥、粉碎し、パウダー状にした新付加価値商品を開発して、農業事業部門の収益性を向上させ、又当社のブランド力を強化し、消費者に「安全」・「安心」・「おいしい」・「食べやすい」商品を提供すること。



### 事業の内容

#### ■ 事業取組みの経緯

当社の「ひげにんにく」は農業事業部門の主要な商品として営業活動に注力しており、各種イベント出店による試食販売や新聞、ラジオ番組や雑誌などの媒体でそのおいしさ、食べやすさをアピールし、販売量は年々増加をしている。販売量の増加に伴い安定的な供給体制を構築する上で、キズや生育不足などによる規格外品を減圧・低温乾燥による熟成乾燥と粉碎処理による粉末加工によりパウダー状にして付加価値をつけて、新しい食材として商品化し収益のアップを図る。

#### ■ 実施内容

本補助事業は、当社の農業事業部門で販売をしている「ひげにんにく」のうち、規格外品として処理している商品を復活させるために、減圧平衡発熱乾燥機と粉碎機を導入し、減圧・低温乾燥により「ひげにんにく」を熟成乾燥させて、

その後粉碎機で粉末加工によりパウダー状にして付加価値をつけ、新食材として試作・商品開発するものである。

この乾燥機による減圧平衡発熱乾燥技術は、乾燥庫内を減圧し水分の蒸発を高め、気圧・温度・湿度（平衡状態）を最適にコントロールすることで、低い温度で乾燥を早める乾燥法で、低い温度で早く乾燥をするため、食材に無理がかからず、味・色・香り・栄養成分などの食材本来の品質を損なわずに乾燥食品を作ることができる。また、粉碎機は、均一で安定した粉碎粒度が得られ、スクリーンの交換により粒状から微粉まで広範囲に粉碎が可能である。



### 事業の成果

#### ■ 事業取組みの成果

本事業目的である「ひげにんにく」パウダーの試作品は、導入した減圧平衡発熱乾燥機、粉碎機により完成したが、その評価は取引先等5人よりアンケートをした結果下記の通りであった。

新しい「ひげにんにく」パウダーの試作は1. 均一乾燥での厚さスライスは数種のテストの結果適正値を求め、2. 粉碎機の目の粗さはテストの結果適正値を見つけ仕上がった。また、3. 容器サイズ・値段は消費者ニーズとしての瓶サイズも検討の結果「細口ビン」（500円）が一番手頃と判断されたものが完成した。

一方、点数評価は1. 味では優と良で13点、人数割合で

全体の60%を占めた。②の香りは優が10点とこちらも優と良で80%を占め総合的には良好なものが造れた。コメントとして「ラーメンと合う」とのコメントが寄せられた。

なお、革新的サービスの付加価値向上においては、「ひげにんにくの規格外品」から新しい商品「ひげにんにくパウダー」として商品価値が生まれ、ふりかけ感覚で「ひげにんにく」を味わうことができるという新たなサービス提供が可能となった。



### にいがた経済新聞の目

#### 全国の生産者と連携しブランド化

同社は1969年に、冬季間、出稼ぎを強いられていた旧川口町民の雇用創出を目的に町が中心となり設立された会社。梱包紐・結束紐の製造を行っている。農業部門（ひげにんにくのハウス栽培）は中越地震の仮設住宅の跡地が耕作放棄地となっていたことなどから、それを活用し、町（および周辺市町村）の雇用を生み出そうと始めた。別会社となっている農業生産法人では、再雇用者などが働いている。

ひげにんにくは、「にんにく臭」がきつくないのが特徴。販路は、スーパーや飲食店などという。さらに、その後、規格外品のひげにんにくを有効活用しようと、有効成分を失わないよう低温乾燥しパウダー状にした商品（ふりかけのように使う）の販売を開始した。こちらは土産品などとしても販売されている。

今後、農業部門に関しては、「ひげにんにくのブランド化」や「鮮度が落ちにくい冷蔵庫とひげにんにくのセット販売」、「耕作放棄地のさらなる活用」などを視野に入れている。このうち、ブランド化については、「全国各地のひげにんにく生産者と連携し、どの地域で栽培されたひげにんにくでも一定以上の品質を確保できるようにしていきたい」（研究開発室・小林孝一室長）と話す。



真島 徳幸 代表取締役社長

#### ■ 事業者の概要

事業者名 信越工業 株式会社

所在地 〒949-7594 新潟県長岡市西川口528番地

代表者名 代表取締役 真島 徳幸

電話番号 0258-89-2320

F A X 0258-89-2880

設立年月 昭和44年5月

資本金額 4,800万円

従業員数 70人

業 種 プラスチック製品製造業

U R L <http://www.shinetsu-k.co.jp/>

E-mail [info@shinetsu-k.co.jp](mailto:info@shinetsu-k.co.jp)



# SHIKIEN 株式会社

## テーマ

### シタ 舌ブラシの毛材製造のため超音波溶着機を導入し自動ラインを開発

## 目的

病気や口臭予防のため口腔ケア市場が拡大する中、当社の「<sup>シタ</sup>舌ブラシ」の心臓部である毛材の溶着作業は外部へ委託しているが、手作業のため怪我の危険性があり低効率である。安全で高効率の溶着機と自動ラインを導入し自社で溶着（接合）する。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社は、新潟大学大学院医歯学総合研究科の協力を得て「舌ブラシ」の製品開発に成功した。H19年より舌ブラシの製造、販売を開始。H23年にSHIKIEN株式会社を設立。生産、包装は外部に委託している。病気予防や口臭予防の関心が高まっているため口腔ケア関連市場は拡大しており、当社の販売数も25年2月期35万本、26年2月期65万本、27年2月期80万本と年々増加している。現在委託している会社では、手作業で怪我の危険性があるため、生産性が低く発注



舌みがきスモ－ザ－W-1



オーラルソフトスモ－ザ－W-1プラス

量を満たされない状況であった。注文増に対応し当社を発展させるために、自社で舌ブラシの心臓部である毛材を溶着（接合）し、大量かつ安定的に生産することを目指す。

### ■ 実施内容

安全機能を備えた超音波溶着機を導入し、同時に独自に開発した毛材の自動移動ラインを設置した。

舌ブラシW-1では毛材をカットすることなくロール巻2本をセットし、1本は溶着機の治具に滑らせ、もう1本は空間を置いて走らせる。治具とホーンの真下にプラスチックの芯をロボットアームが正確に置き、アームが真下から離れた直後にホーンが作動し溶着。その時に溶断はせず、機関銃の弾のようにベルト状で移動し、次の工程で型抜されて下のケースに落ちる、という自動システムを機械メーカーと共に構想し実施した。

舌ブラシW-1プラスの溶着については、幅10cmのロール

状のブラシ毛材を上記と同じように固定し治具とホーンの真下に来る前に正確に二つ折りにする装置を通して溶着。溶着後は型抜きプレスを通して下のケースに落下させる。

溶着機と自動ラインを導入することで、舌ブラシの心臓部

であるブラシ部分を自社で安定的に製造すると同時に、未経験者や女性でもケガのない安全な作業の実現を目指した。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

超音波溶着機および超音波ウエルダーインサート式送り装置を導入したことにより、舌ブラシW-1の一日の生産個数は約5倍となり、一個当たりの製造コストも約22%の削減を実現した。

また、舌ブラシW-1プラスは、超音波ウエルダーインサート式送り装置を取り止めて超音波溶着機のみを導入と

なったため、一日の生産個数は約2倍となり、一個当たりの製造コストも約23%の削減を実現した。

以上のように、今後増加が予想される舌ブラシの需要に対して不安なく供給できる体制を確立できたこと、また生産過程での怪我の危険性がなくなったことが、大きな成果となった。

## にいがた経済新聞の目



### 海外特許取得や海外市場を開拓

舌に残った汚れを絡みとる舌ブラシの発売から今年で11年目だが、発売当初から他社製品との差別化を図ってきた。柔らかさを追求して身体に不自由さのある高齢者を視野に入れた商品だ。2017年10月には耐久性と衛生面の機能を高めた新商品を発売した。

口臭や感染症の予防のためには口腔ケアが重要だという情報が広まり、生産数は増加。その分、消費者のニーズに応える社会的責任も増した。自社内に製造のための機械を導入することで、計画に沿う量を生産できるようになるとともに、生産コストの圧縮に成功。災害・事故などで外注先が製造できなくなった時のリスク管理の意味合いも大きい。

一方、舌ブラシは歯ブラシに比べてまだ社会的認知度は低く、認知度向上が課題だ。田中道男代表取締役は「消費者にいかに広く正しく広められるかが重要」と強調する。

国内で販路拡大をするとともに、ヨーロッパでも特許を取得。「海外でも負ける商品ではない」（同）と、今後は海外にも打って出る方針だ。



田中 道男 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 SHIKIEN 株式会社

所在地 〒956-0057 新潟市秋葉区新津四ツ興野1735番地

代表者名 代表取締役 田中 道男

電話番号 0250-23-0141

F A X 0250-24-5596

設立年月 昭和23年3月

資本金額 1,250万円

従業員数 8人

業 種 舌ブラシ製造、販売

U R L <https://w-1-shikien.co.jp/>

E-mail [m-tanaka@major.ocn.ne.jp](mailto:m-tanaka@major.ocn.ne.jp)



# 株式会社 原田製作所

## テーマ

### 自動車エンジンの吸気可変速弁制御モーターに使用する、薄型整流子の量産化体制の確立

## 目的

自動車の燃費向上、環境負荷物質排出量低減の為にエンジンの吸気弁を制御し燃焼の最適化を図るシステムが自動車用電装部品メーカー向けに開発された。本事業は、その可変速弁制御モーターに使用する整流子を安定的に、かつ低コストで量産製造できる設備を導入することを目的とする。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社はモーター用整流子の専門メーカーとして、創業以来80年に渡り大手電機メーカーと共に整流子を開発、製造してきた。昨今の自動車用モーターでは、環境分野や安全走行分野において様々な新規モーターが開発されている。本事業の対象製品である可変速弁制御システムは、車の燃費向上を目指して開発した機電一対型システム製品である。当社は当初からその整流子の開発に携わり、その結果、漸く量産化への目途付けができたところである。

整流子のような複合部品の精密加工精度を安定的に保ち、且つ加工スピードを速くしてコスト低減を図れる生産設備の導入が必要となったため、当該整流子の生産設備導入を図ることとした。

### ■ 実施内容

本製品（整流子）が組込まれる吸気可変速弁制御モーターは、エンジンルーム内に搭載される為全長を抑えられ、更に高トルクを発生させる為にシャフト径を太く設計されている。積層コアと整流子の幅が狭く、尚且つシャフト径が大きいことを特徴としている。その結果、本整流子は外径に対する内径比が75%と極端に整流子胴体の肉厚が薄い形状となった。一方このモーターはエンジンに直接取り付けられる為、エンジンの高熱に耐え得る耐熱特性も求められている。

【本製品に求められる課題】  
本整流子（量産化モデル）は「20極×外径φ34.3×内径φ25.6、内径比75%」で、従来の車載モーターに使用される整流子「14極×外径φ24×内径φ10、内径比42%」より、整流子胴体の肉厚が更に薄くなり、シャフト圧入に耐える強度及び内径加工精度等、形状的にも仕様のにも高度な特性を要求される。また、モーターの整流特性を向上させる為にセグメント極数を13→20と7極多くしたものが求められるため、スリット加工回数が13回から20回に

増える。そこで如何に加工時間を抑えコスト低減を図るかが問題となった。



量産化モデル（20極×外径φ34）  
内径比：75%



油圧ポンプ用（14極×外径φ24）  
内径比：42%

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

CNC精密旋盤の導入で、整流子の内径真円度は20μから10μに、10μ・50.0%改善され、交差の幅も80μから26μに、54μ・67.5%の改善が図られ、それぞれ想定時の値をクリアした。

また2軸分割加工機の導入により、整流子のセグメント極数を13から20に増やしても、1個当たりの加工時間は

24秒から14秒と、10秒⇒41.6%の改善が図られ、1個当たりの製造コストも70円台から60円台となり、約10円⇒10%以上の削減を実現した。

以上より、胴体肉厚の薄い整流子製造において、高精度な精密加工を低コストで行うことが可能となった。本事業の対象製品である可変速弁制御システムは、広く自動車業界の環境分野や安全走行分野において大きな貢献ができるものと確信している。

## にいがた経済新聞の目



### 取引数が倍以上に急伸し工場新設中

今回導入した機械で生産している整流子は、従来のものよりも大型にしたことで、性能がアップし、採用する自動車の燃費が良くなり、CO<sub>2</sub>の排出を減らそうとするものである。特にアクセルペダルの反応速度が向上し、アクセルを踏んだ際の無駄な動きを適正に補正してくれる。自動車メーカーが実際に導入したのが2018年の5月。7月には取引数が急激に伸び、10月現在、生産が追いつかないほどのニーズを獲得しており、ひとつ前の小さい整流子では出荷数18,000~25,000個だったところ、現在は70,000~80,000個まで増加。更なる増産に対応するべく工場も新設中だ。

この整流子は、ただ大きいわけではなく、難易度の高い薄肉下での高精度加工を可能とした。その他にも同社では、本来一体化が難しいカーボンと銅の接合技術なども実現している。こうした固定概念にとらわれない発想は、「世の中で必要なものがあれば、まずは作ってみよう」という同社の社風に起因しており、今後も新しい画期的な製品の開発が期待される。



原田 隆弘 代表取締役社長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 原田製作所

所在地 塩沢工場：〒949-6545 新潟県南魚沼市長崎3112

代表者名 代表取締役 原田 隆弘

電話番号 025-782-4611

F A X 025-782-4610

設立年月 昭和9年1月

資本金額 4,000万円

従業員数 50人

業 種 電気機械器具製造業

U R L <http://www.harada-mfg.co.jp>

E-mail [harada@harada-mfg.co.jp](mailto:harada@harada-mfg.co.jp)



# 有限会社 山谷製作所

## テーマ 新しいライフスタイルを提案する卓上型鯉節削り器の開発

### 目的

既存品には無い構造・デザインを用い、テーブルで食事をしながら鯉節を削る、必要な分だけ削りたてを味わう、今までにない和の食卓スタイルを提案する卓上型鯉節削り器の開発。伝統技術の継承及び和食文化の魅力を広めるとともに、新しい顧客を掴み事業を拡大する。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社従来型『鯉節削り器』の基本的な考え方は「収納に便利なコンパクトサイズ」という方向性で製品化していた。しかし、販売してみると「テーブルに置いて使っている」というご意見をいただき、台所もしくは床に置いて使用していた鯉節削り器をテーブルで使うという新しいライフスタイルの提案が出来ることに気がついた。そのためには現製品の問題点を解決する新製品を投入しテーブルで使いやすい形に特化した製品の開発を推し進める必要があり、当社既存のNCマシンではできない複雑な加工及び加工精度向上のために新たな設備投資が必要。

本事業では、従来型に比べ、テーブル上での使いやすさを向上させ、今までに無かった鯉節削り器で日本の伝統を現代風にアレンジした、削りたてを食卓で楽しむという新しいライフスタイルを提案するため、現代の食卓に置いて違和感のないデザイン製品を開発する。

- ・出来る限りテーブルでも邪魔にならないサイズ。
- ・テーブルに置きたくなる違和感のないデザイン。

- ・隅々に残りやすい鯉節をきれいに取り出せる器（うつわ）のような形状。

### ■ 実施内容

既存のNCマシンは、穴あけを主体とするボーリングマシンで、水平移動の加工における能力が低く、本事業での製造工程における技術的課題を解決するため、シンクス(株)製のNCルーターマシンを導入。

本マシンは、多方向への加工に強く、出力（加工パワー）、吸着力（部材固定力）、マシン構造（剛性）が優れており、またツール（加工刃物）を5つまで自動で交換する機能を備えているため、加工の幅が広がり、新しい発想が生まれ、他社には無い独自性のある製品開発が可能となった。

また、デザイナーや公的支援機関と連携し、唯一無二の優れたデザインの製品を開発することにより、販路開拓・市場での差別化が期待でき、競争力強化が可能となった。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

本設備投資を実施したことにより、製品『鯉節削り器』のサイズが体積で32.6%削減（1,146,080mm<sup>3</sup>→772,850mm<sup>3</sup>）、重量で27.9%軽量化（680g→490g）された製品の製作が可能となった。また、ツールチェンジ機能を有することからセット替えの回数が減り、作業工程数が40.0%削減（5工程→3工程）され、加工時間も34.8%削減（115分→75分）された。

なお、加工精度の向上による寸法のズレが改善され、製品の完成度が高まった。寸法のズレが改善されたことで、



試作品

従来型

大きさ比較

試作品（幅65ミリ×高さ58ミリ×奥行205ミリ）  
従来品（幅80ミリ×高さ58ミリ×奥行247ミリ）



試作品

従来品

- ・従来型に比べ内側が丸みを帯びた形状で器（うつわ）のようにになっている。
- ・ダウンサイズをしながらも容量を確保するため出来る限り削りこみ、なおかつ強度も確保した形状とした。

## にいがた経済新聞の目

### 商品数とブランド力を強化

2014年から販売を開始した「卓上型削り器」は現在、かつお節店や雑貨店などの小売店で販売する一方、インターネットを通じて消費者にダイレクトに販売している。NCルーターマシンの導入で生産性が向上し、週に50個程度を生産できるようになった。また、従来の製法に比べ生産精度が増して歩留まりが向上するという効果も生まれている。

和食回帰や核家族化の進行などで、テーブルの上で削り器を置いて削りたてのかつお節を食べたいというニーズも増えている。このため今後は「商品数を増やしていく」（山谷俊輔専務）としており、とくに自社ブランドである「台屋の鯉節削り器」のブランド力を一段と高める。コンパクトな設計、モダンなデザイン、仕上がりの良さ、メンテナンス体制が整っていることなどを強調、ブランド価値を高め「価格競争に巻き込まれない体制を構築する」（同）考えた。

現在、小型と中型というサイズがあるが、今後は大サイズも加えていく。燕三条の工場の祭典にも積極的に参加しアピールしている。



山谷 俊輔 専務

### ■ 事業者の概要

事業者名 有限会社 山谷製作所

所在地 〒955-0863 新潟県三条市東新保12番19号

代表者名 代表取締役 山谷 俊男

電話番号 0256-34-5989

F A X 0256-34-5989

設立年月 昭和39年4月

資本金額 300万円

従業員数 6人

業 種 製造業

U R L <https://www.dai-ya.com>

E-mail [info@dai-ya.com](mailto:info@dai-ya.com)



# 合資会社 小林醤油店

## テーマ

## 地元新潟産小麦を原料とし、消費者が原料生産者を知ることが出来る醤油の開発

## 目的

地元の農業生産者と連携し、地元で栽培した小麦を使用した、現在は市場にない新潟素材100%の醤油の開発を行う。さらに、その醤油の原料（小麦・大豆）をどこの誰が作ったのかを消費者が商品購入時に分かるような、原料生産者と消費者をつなげる醤油を開発する。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

全国には醤油メーカーが多数存在し、それぞれの地域性にあった醤油造りが行われている。特に、全国それぞれ地方で生産された小麦及び大豆を使用した醤油というのは、その地域の食文化であり、誇り守るべき調味料である。しかし、新潟県の気候が醤油の原料である小麦栽培には向かないという理由から、新潟県には新潟産の小麦・大豆から作られた醤油が市場には存在しない。

だが近年、雪に強い小麦品種「ユキチカラ」が開発され、新潟県でもある程度の収穫高が見込まれるようになってきた。そこで、地元農家と連携して小麦を栽培してもらい、その原料を使用し、当社の醤油の完全自社仕込みという強みを活かし、新潟県産の小麦及び大豆を使用した、まだ市場にはない他社との差別化された商品、「新潟県産小麦を使用した醤油」を開発することとした。

さらに、昨今では消費者の原材料に対する意識は高まっており、「原料はどこで作られたか」という情報以上に「原料は

どこの誰によって作られたか」ということも求められてきている。そこで最終消費者への原料生産者情報提供を目指す。

### ■ 実施内容

「新潟県産小麦を使用した醤油」を開発すること。その商品パッケージに「醤油の原料はどこの誰によって作られたか」までをラベル表示すること。この2観点から次の機械装置を導入した。醤油開発にあたり、焙煎することで小麦のデンプンがα化され、醤油の仕込み可能な性質へと変化するために活用する機械装置（麦煎機）を導入。原料生産者情報を伝えるために、醤油のボトルへラベルをきれいに巻くことが出来る機械装置（ラベラー）を導入した。

小麦・丸大豆ともに、それぞれ村上市の単一の生産者から原料として直接調達。導入機械を使用し、醤油仕込みを行った。醤油ボトルのラベルに原料生産者情報を反映させ、消費者がより安心・安全を感じる事が出来る醤油の開発を行うことが出来た。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

小麦、大豆共に単一生産者から調達することができたため、醤油にした際に、原料は誰が作ったのかまで、消費者に明確に伝えることが可能となった。試作品の仕込みは大きな問題もなく終了し、醤油仕込み用としての最適な醤油麹を作れることを確認できた。消費者や市場が求める安心・安全への要求を満たす、現在市場にはない当社だけの醤油を生産する体制を整えることが出来た。

①原料の差別化および優位性：現在市場には存在しない醤油商品「新潟県産小麦を使用した醤油」の確立。

②消費者へ、醤油の原料までの生産者の情報を伝える安心・安全な醤油の提供：大手メーカーでは、仕込み規模が大きいため、単一の生産者のみから小麦や大豆を仕入れることは難しいが、当社では小規模で仕込むことが可

能であるため、単一の生産者が生産した原料のみから醤油を作ることが出来る。この優位点を製品である醤油のラベルに表示することにより、消費者に対しても安心、安全をPRすることが可能。

③地元の飲食店等とのつながりの強化：村上市では市役所が中心となり「村上市地産地消推進協議会」を発足させて地産地消に取り組んでいる。これまでにない調味料の分野での地産地消をPRすることで、さらなる販路の拡大が期待出来る。



## にいがた経済新聞の目



### 展示会を活用し市外の販路を開拓

会社概要の欄には昭和46年の設立とあるが、当社の初代が荒川町（現：村上市）で、味噌、醤油醸造を始めたのが昭和10年。以来、地域に根を下ろし醤油や味噌などを販売してきた。そんな中で新商品として販売を始めたのが、新潟県産小麦を使った醤油。県産小麦を使った醤油を製造販売するのは、県内では2社だけという。

同社では、このほかにも、小林徹平氏がUターン入社した2011年以降、特徴のある新商品を相次いで市場投入している。鮭節をダシに使った醤油『鮭むらさき』や、めんつゆ『鮭つゆ』だ。いずれも鮭の町・村上市を意識して開発した。また和風タバスコ『醸すこ（かもすこ）』なども商品化し、2011年時には「調味料としては味噌、醤油しかなかった」（小林氏）という商品ラインアップは大幅に拡充された。「新商品の開発はひと段落で、次のテーマは販路の拡充」（同）。具体的には、これまで地元・村上市が主要販売エリアだったが、人口が減少していることなどから、市外の販路開拓に注力。このため、毎年11月に開催されているフードメッセinにいがたや首都圏で開催される展示会などに出席していく計画だ。



小林 徹平 氏

### ■ 事業者の概要

事業者名 合資会社 小林醤油店

所在地 〒959-3122 新潟県村上市大津543-1

代表者名 代表社員 小林 秀平

電話番号 0254-62-2088

F A X 0254-62-2288

設立年月 昭和46年2月

資本金額 1,000万円

従業員数 5人

業 種 食料品製造業

U R L <http://www.kobayashi-shoyu.co.jp/>

E-mail [info@kobayashi-shoyu.co.jp](mailto:info@kobayashi-shoyu.co.jp)

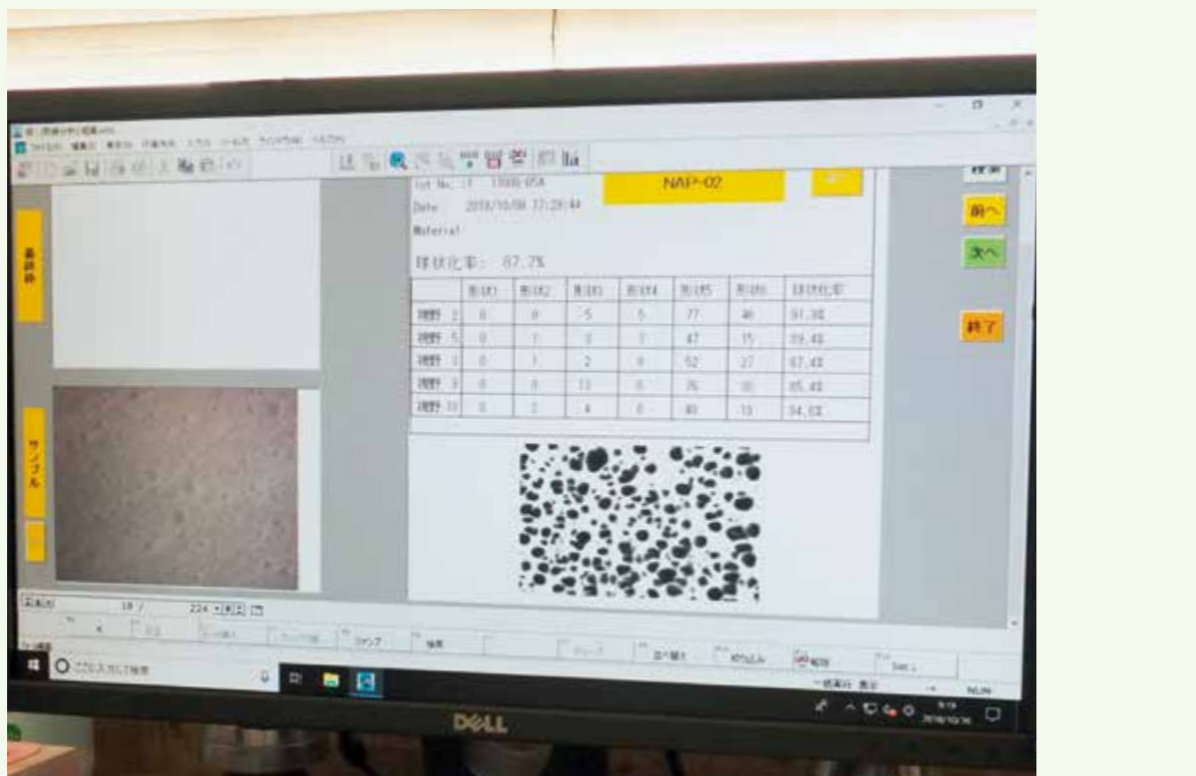


# 吉川化工 株式会社

## テーマ 最先端材質管理体制構築により最高品質の最短納期実現

### 目的

鑄造品の材質検査において、最先端の分析装置と画像解析装置を自動化し、ライン内で検査を完了させ、更に記録をサーバーに集約管理する。これにより、大幅な生産性向上・品質向上・短納期化を実現し、新規顧客獲得を目指す。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社は鑄鉄メーカーであり、10kg以下の製品を主に製造している。特徴は、多様な顧客ニーズに対応できる点であり、同業内でもトップクラスに汎用性の高いメーカーという位置付けであると考えている。近年、エンドユーザーである大手機械メーカーでも発注のロットは細分化され、納期も短期化しているケースが増えており、更に多品種少ロット対応できる同業者も年々増えている。

その中で、更に多品種少ロット対応、短納期対応を強化しなければならないという切迫した課題があった。コストにおいても要求があり、それを回避していくためには、更なる差別化が必要である。

### ■ 実施内容

課題解決のアプローチと具体的な解決策として発光分光

分析装置、画像解析装置を導入した。

- ・生産ライン中に組織検査、成分分析検査を行い、ライン内にてNGロットを隔離できる体制を構築した。
- ・検査結果の記録をデジタル化し、サーバーで集約管理することで記録の手間を削減した。
- ・最新の高精度計測装置を導入し、それを当社の高い技能をもった検査員が、検査結果及び計測機器の状態をサーバーで監視することで、大幅な品質向上を図った。
- ・C値測定精度の向上・検査方法の効率化についてより効果的な方法を追求した。



## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

組織検査に要される研磨工程の全てを機械化し、検査工程数が3工程削減、1日当たり検査時間が0.6時間削減と大幅な改善を図ることができた。また、試作期間中において、1ヶ月当たり材質不良の発生はなかった。

上記の点から、生産コストは不良率の大幅な低減と、検

査コストの大幅な削減により、導入前より▲3.4%削減となり、達成目標をクリアすることができた。不良率の低減による効果が大きく影響していると判断している。納期についても、従来は翌日に実施していた材質検査をライン内で終わらせていくので、ラインから出た時点で出荷することが可能になり、最短納期は▲50%短縮できた。

## にいがた経済新聞の目



### 鉄製品の切削加工など関連事業を拡大

乗用車や建設機械、水道、公園の遊具などに使われる約6000もの鉄の鑄造アイテムを手がける同社。今回新たに補助金を活用して導入した二つの機械のうち、「自動切断・自動研磨及び球状化画像自動解析装置」は導入時、日本で1台目の導入ということもあり、顧客からの期待や信頼の高まりを強く感じるようになったと、取締役業務部長で4代目の吉川宗範氏は肌で感じている。

具体的な機器導入の成果としては、鉄を溶かして製品を作り、翌日に金属組織と成分の検査を行っていたものを、生産しながら検査ができるようになった。結果検査工数は削減され、検査の精度も上がり、納期短縮につながっている。検査のデータは専用のサーバーに蓄積されるので、いつ誰が作ったどんな製品かをいつでも簡単に確認することができる。時代の要請に柔軟に応じながら、今後は自社で生産した製品の切削加工など関連の事業への事業拡大を図る構えだ。



吉川 洋志 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 吉川化工 株式会社

所在地 〒950-1328 新潟県新潟市西蒲区門田25番地

代表者名 代表取締役 吉川 洋志

電話番号 025-375-2736

F A X 025-375-2228

設立年月 昭和35年12月

資本金額 1,280万円

従業員数 31人

業 種 鉄鋼業

U R L <https://kikkawakou.com>

E-mail [m-kikkawa@kikkawakou.co.jp](mailto:m-kikkawa@kikkawakou.co.jp)



# 有限会社 宮村製麩所

## テーマ

### 新発田名産「麩」の高性能設備導入における職人の育成と生産能力拡大

## 目的

近年、健康志向の高まりにより「麩」への関心が高まる一方で、職人の高齢化・設備の老朽化による生産能力の限界により需要に対して供給が間に合わない状況。本事業により「手作業」の自動化を進め生産性の向上を図ると共に労働環境の改善を実現する。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社は明治35年に新潟県新発田市で創業以来、『車麩』や『新発田麩』を看板商品として製造販売している。販売先は新発田、新潟周辺の小売店、観光地、卸問屋、新潟物産展が中心だが、最近では麩が健康食品として脚光を浴びていることもあり、インターネットを通じて全国各地のお客様からの注文も年々増加傾向で、今後更なる拡大が期待できる。しかし、職人の高齢化と設備の老朽化による生産能力の限界から、増加傾向の需要に追いつかない状況。製造工程を自動化することで、生産性の向上を図るとともに労働環境の改善を目指した。

### ■ 実施内容

本事業では3つの機械を導入し、レイアウトの変更により、「手作業」主体の製造工程を自動化することで、生産性の向上を図るとともに労働環境の改善を図った。

1. 職人の勤に頼っていた作業を自動化し作業効率の向上を図るため（手作業からの自動化）焼麩釜用温度調節器を導入した。
2. 切断効率として一度に切断が可能でムラなく高さが均一化でき、加えて労災リスクの低減が図られる車麩切断機を導入した。
3. 大型練り機は期間内には間に合わなかったが、その後導入され車麩と新発田麩を同時に生産できる性能があることから生産効率アップに繋がった。また、以前より衛生管理上も改善され、レイアウト変更も可能となった。  
以上の機械導入により、従来狭かった工場の生産ラインのレイアウトを変更し、車麩と新発田麩の別な日での生産を同日生産するライン変更ができたことから生産能力のアップを図った。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

多枚切車麩切断機および焼麩釜用温度調節器の導入により、新発田名産「麩」の1日の生産個数が10,140個から11,674個へ1.2倍となり、1ヶ月の延べ生産日数も21日から37日に1.8倍となった結果、1ヶ月の生産個数は41,730個から111,404個に2.7倍の生産が可能になった。特に主力の新発田麩（2.3倍）、おしぶ（3.4倍）の生産性が大きく高まった。

また、不良品率は15.0P 75.0%（20.0%→5.0%）、フードロス率も3.0P 60.0%（5.0%→2.0%）各々改善され、品質の向上も達成した。

大型練り機の導入が期間内には間に合わなかった影響を

レイアウトの変更によりカバーしたため、上記のように、生産性が向上し、現在の当社の最大の問題点である、「需要に対して供給が間に合わない状況」が改善された。また、作業時間も現行の11時間から8時間（3時間の短縮）となり、労働環境の改善も図られ、従業員の就労意識の向上が期待でき、職人の育成が可能となった。なお、補助期間後に大型練り機が入り、さらに効率の良い生産が可能となった。



## にいがた経済新聞の目



### レシピ開発などで新規の需要を開拓

当社は従前から県内のスーパーやデパートに販売してきたが現在では県外にも拡大、さらにインターネットによる通信販売で販路を広げている。麩を食べたことはあるが料理の仕方を知らないという若年層もいる。このため麩を使った料理のレシピの開発や形態、容量の見直しを推進し、若年層の利用機会拡大を図っている。

従来、麩はサイズが大きめで、大容量の商品が多かった。そこで水戻し不要のカット済みの20グラムという少容量の「おし麩」などを投入し、みそ汁などに入れて即座に食べられるように工夫している。

パッケージには料理レシピを掲載しメニュー提案している。今後は海外での販売も視野に入れている。生産は手作りの良さを貫くが、一部機械の導入で温度や湿度の見極めなどで従来の方式から脱却した。当面の課題は「包装工程に手間がかかるため、この工程の合理化」（宮村まち子部長）とみており、包装の自動化など省力化にも力を入れたい考えだ。



宮村 孝 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 有限会社 宮村製麩所

所在地 〒957-0356 新潟県新発田市岡田1807番地6

代表者名 代表取締役 宮村 孝

電話番号 0254-22-2950

F A X 0254-26-5415

設立年月 昭和38年10月(創業 明治35年)

資本金額 900万円

従業員数 13人

業 種 食品製造業

U R L <http://yakifu.co.jp/>

E-mail [miyamura-seifu@rainbow.plala.or.jp](mailto:miyamura-seifu@rainbow.plala.or.jp)



# 合資会社 竹田酒造店

## テーマ

ふくよかな味わい・甘み・キレを有する上越産日本酒の  
品質安定化及び販路拡大

## 目的

貯氷水機の導入により、気候に左右されることなく、清酒の品質を一定に管理する。さらに冷蔵庫の導入により熟成をコントロールする。また、当社の清酒にはふくよかな味わい・甘み・キレがあり、肉料理とも相性が良いため国内外への販路の拡大を図る。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

代々醸されてきた「ふくよかな味わい、米の甘い香り及びキレ」を有する日本酒の味わいに自信を持っていた当社も、近年の新潟県における平均気温の上昇に悩まされている。日本酒の醸造で大事なものは、いかに日本酒を醸す微生物の増殖速度の管理をするか、発酵のための温度管理をするかである。平均気温上昇により「温度制御による微生物の増殖速度及び発酵速度の管理」が難しくなっている点を解決し、日本酒の品質管理体制の確立と温度制御可能な日本酒の醸造工程の確立を図る必要がある。

加えて、近年の高級酒の需要が高まっていることから、保存時の雑菌増殖や品質の低下を避けるために貯蔵環境の整備も必要となってきた。

今後日本酒は、海外での需要が高まると予想されるため、海外販路の拡大を視野に入れ、現在よりも安定した酒質で出荷できる体制を目指した。

### ■ 実施内容

近年の温暖化や積雪量減少により、自然に依存した発酵温度管理体制では、微生物の増殖速度をコントロールすることができない事態になっている。そのため、発酵温度をデジタル管理し、正確に温度を維持することで、温度制御可能な醸造工程の確立を図った。

また、近年は日本酒業界において高級酒の需要が高まってきた。しかし、高級酒は非加熱製が多いため、雑菌増殖や、貯蔵環境の悪化により、品質（色、濁り、香り等）の低下が懸念される。貯蔵環境をデジタル管理することで、日本酒の熟成を正確にコントロールし、品質管理体制の確立を図った。

上記を実現するために、酒母及びもろみの温度管理の工程に冷却能率が良く温度制御が可能な貯氷水機と貯蔵工程で1万本程度の貯蔵ができ品質管理も兼ねたプレハブ冷蔵庫の専用設備を導入した。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

- ①貯氷水機の導入により、醸造工程において発酵温度の正確なコントロールと温度制御が可能となり、微生物の増殖及び発酵速度の管理による製品品質の安定化が確立出来た。また、温度管理が可能な冷蔵庫の導入で、貯蔵温度を正確に維持することによる熟成のコントロール管理が可能となり、貯蔵環境の悪化による品質低下の回避を実現した。（高級酒の製造が実現。）
- ②製造コストでは30%の削減を可能にした。冷蔵庫については、13.2%の電気料金削減となった。ストック量でも、従来の一升瓶換算2倍に向上し、貯蔵・熟成に関するランニングコストは、これまでより35%の削減が実現した。更に、長期冷蔵貯蔵量が2倍になることから、生産量の倍増が可能となった。

- ③冷蔵貯蔵した大吟醸酒の官能検査の結果では良好であった。品質への評価でも雑菌汚染のリスクがなくなった。また、アルコールの生成には一定程度温度を下げる必要があり導入後は安定して温度を下げる事ができ、品質の安定化を実現できた。



## にいがた経済新聞の目



### 国内のバイヤーを通じ輸出に注力

温度制御の可能な醸造工程、品質管理体制の確立に加え、貯蔵能力が従来に比べ大幅に増え生産量の増産が図れた。このため、現在は国内外で販路を拡大中だ。国内では積極的な展示会への参加、海外には社長自らが営業を展開し販路を広げている。

国内では新潟市内で行われる地域の優れた食が一堂に介する展示会「フードメッセにいがた」や「にいがた酒の陣」などで展示ブースを確保し試飲を行っている。酒の陣については12-13回の出展を行っている常連組だが、品質の向上、冷蔵での貯蔵能力の向上が図れたことからフードメッセにも出展し、同社の主力銘柄「かたふね」の認知度向上に努めている。

価格競争に巻き込まれないように知名度向上と品質の良さをアピールし、酒販店や専門店での販売に重点を置く。なかでも国内は冷蔵保存が必要な「生原酒」の売り込みを積極化している。

今年の目標は海外展開だ。アメリカやシンガポール、香港に国内のバイヤーを通じ輸出。今後はインバウンド（訪日外国人）が増えているなかでヨーロッパ圏での拡販に注力する。



竹田 成典 代表

### ■ 事業者の概要

事業者名	合資会社 竹田酒造店	
所在地	〒949-3114 新潟県上越市大潟区上小船津浜171番地	
代表者名	代表社員 竹田 成典	
電話番号	025-534-2320	F A X 025-534-4542
設立年月	昭和31年8月(創業 慶応2年)	資本金額 500万円
従業員数	5人	業 種 酒類製造業
U R L	<a href="http://www.katafune.jp/">http://www.katafune.jp/</a>	E-mail <a href="mailto:info@katafune.jp">info@katafune.jp</a>



# 株式会社 スパンギャルド

## テーマ

## 高付加価値の染色技術開発及び生産システムの合理化による生産性向上

## 目的

新潟県内の生地・伝統染色技術を活用したバッグを企画・製造しているが、色や柄を重ねて染める技術を開発し他社との差別化を図るとともに、システムの合理化により生産性を向上させ、百貨店や海外市場での売り上げ増加を図る。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

- ①新しい染色技術を開発し、他者との差別化を図った製品を生産する。  
東急ハンズ銀座店のような観光客が多い地域のバイヤーからは日本製品の需要の高まりを耳にしていた。当社は日本製品を供給しているが独自性に欠けている。そこで素材に着目し新しい染めの技術を開発し他者との差別化を図り、独自性を持たせていく。
- ②生産システムを合理化し納期短縮、コスト削減を目指す。  
取扱店舗から売り逃しを避けるために、短い期間での製品の追加を要求され、さらには消費者が購入しやすい価格設定を求められていた。自社工場では手作業中心による小ロット対応をしていたが、機材を導入することで生産性を上げ、納期短縮、コスト削減を目指す必要があった。

### ■ 実施内容

- ①新潟の伝統的な染色技術であり、かつ他の地域にない技法で染めた生地の開発。  
現在の手法で注染という技法があるが、それを応用し色や柄を重ねて染める技法を確立し、知的財産（特許、実用新案）の申請、取得を目指した。従来の注染では、柄の上に柄を乗せる事が出来ないが、新技法・新生地は、染料の温度をコントロール、色の染みを防ぐことができる。染料を流し込む際に染料の温度を一定の温度に設定し流し込む。さらに上から新たな染料を流し込むと1度目に流し込んだ染料が同じ温度だと滲んでしまう。そこで2度目の染料の温度を変えて流し込む。その際の適温は試作を繰り返し実験する必要がある。
- ②機材導入する事で裁断など外注に委託し、手作業で行っていた業務を社内で円滑に行い合理化する事でコスト削減。  
・現在外注に委託し、手作業で行っていた裁断業務を裁断

機導入で社内にて行い時間短縮を図った。  
・ミシンの台数を増やし作業の工程を細かくライン化する事で効率をアップさせた。

・付属品（カシメなど）の取り付けを手動から自動、またはより専用の機材を導入し生産性を向上させた。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

本事業の目的である試作品は、事業計画通りに重ね染めのトートバッグが完成した。その試作品の成果は下記のとおりとなった。

- ①品質の付加価値のレベルは想定された指数よりも高い数値が測定され、計画比0.5ポイント上回り取引先要求付加価値度の要求を満たす結果となった。
- ②価格については、納期の短縮と共に計画想定目標を上回りコストダウンでき目的を達成した。
- ③染色する生地は強度の高い生地を使用したことにより量産可能な型を作成する事に成功した。また、手彫りで型

を製作する事によりサイズの大きな生地に対応出来るようになった。

- ④染色作業に関しては綺麗に仕上げる事ができ、洗浄作業において色移りの問題を克服した。



## にいがた経済新聞の目



### 今後は足袋など“和”の商品を拡充

バッグや雑貨などのメーカー。メンズは、ストーリーを語る高級路線、レディースはお手頃感を感じることができる商品を中心に製造・販売している。例えば、男性バッグであれば、江戸時代創業の越後亀紺屋 藤岡染工場で作られた伝統の生地を使ったバッグ、和歌山県の梅の種（産業廃棄物）を炭化させ、それを染料に使ったバックなどだ。

製造は東区の本社で行っている。販路は、東急ハンズ、ロフト、雑貨店、百貨店内などのほか、日本の逸品をセレクトして販売するオンラインショップ「藤巻 百貨店」などだ。今年夏には自社のオンラインショップも開設した。

今後は、海外の販路開拓にも力を入れる。大手IT企業で働く米国・ニューヨークの知人を頼り、同国内で代理店を探しているほか、米国版のアマゾンでの販売も目指している。またドイツの知人の人脈を活用し、欧州でも販路開拓にも取り組んでいく。

さらに、和のデザインをプリントした室内用の足袋など商品の拡充にも取り組んでいく計画だ。「新潟から世界を目指していきたい」と残間健太郎取締役プランニングディレクターは話す。



残間 健太郎 取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 スパンギャルド

所在地 〒950-0027 新潟県新潟市東区松和町8番26号

代表者名 代表取締役 残間 静子

電話番号 025-383-6810

F A X 025-383-6809

設立年月 平成18年9月

資本金額 1,000万円

従業員数 9人

業 種 繊維工業

U R L <http://thecanvet.com>

E-mail [info@spangarde.com](mailto:info@spangarde.com)



# 株式会社 スタックス

## テーマ

## 高精度化・増産が求められる航空宇宙・医療機器分野の高度化対応の実現

## 目的

航空宇宙関係の精密板金部分、及び医療機器の躯体は技術要求の高度化とアイテム数の増加が顕著である。今回、当社において最重要なブランク工程にファイバーレーザー加工機を導入して顧客ニーズに応じて、参入障壁を強固ものとする。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社は創業以来一貫して航空機関係や医療機器関係に代表される「厳密な精度が要求される薄板の精密板金加工」を中心に受注活動及び技術の向上に努めてきた。現在では主に「ロケット、人工衛星等航空宇宙関係の部品」「医療機器の筐体」「光学機器関連部品」の分野で顧客からの評価も高く、いずれも当該部品に関してはほぼ独占的に加工を行っている。

更なる精密板金事業の拡大・安定化を図るために、近年の技術革新の流れのなかで顧客から部品において現状より薄型化・精度厳守などといった要求技術の高度化に対応していくことが重要である。当該市場の成長と共に当社への加工集約が進み受注点数が増しているが、品質を落とすことなく納期を厳守する事等の課題に対応していくことが必要と考えた。それらの課題解決に速攻性・有効性があると考えたのは当社加工品の98%が経路する「ブランク工程」の見直しである。本工程に最新型の機械を導入することで製造のスループット向上と精度・品質の向上を同時に図り

上記課題の解決をすることで当社精密板金事業の更なる拡大を目指した。

### ■ 実施内容

本事業のメインとなるのは最新型のファイバーレーザー加工機の導入である。ファイバーレーザー加工機は当社精密板金事業において最重要工程であるブランク工程に使用する機械であり、導入後に期待できる効果のなかでも大きな効果が期待できるものが以下である。

1. レーザを発するヘッド部分の駆動方式がリニア駆動式となる事で寸法精度向上。
2. 1に付随して切断加工スピードがアップすることによる加工時間の短縮。
3. 材料のセッティングを切断加工と同時に出来る事（外段取り化）によるスループットの向上。

また、上記の効果を高めるために従来機を扱っていたオペレーターの再教育を実施すると共に新規オペレーターの

増員を行い万全の加工体制を敷く事とした。

上記の効果以外にも、ファイバーレーザー加工機導入により、従来社内での加工が不可となっていた銅・真鍮等の高反射材と呼ばれる材料の加工が可能となる。導入後はそれら高

反射材の加工検証を速やかに進め、ニーズのある取引先へ新たな加工方法の提案をすることで、従来当社向けの仕事ではなかったはずの新規案件を受注することを目的とした。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

本事業取組みの成果としては以下である。

- ①寸法精度の向上としてはレーザーヘッドがリニア駆動になり緻密な動きが可能となったことなどにより、従来機での許容誤差 $\pm 0.1\text{mm}$ を大きく上回る $\pm 0.01\text{mm}$ が実現出来た。
- ②切断加工スピードのアップの成果は、材料や加工形状により変化があるので定量的な表現は出来ないが従来10ピースあたりの切断工程に50分を要していた加工が8分弱で可能となった事例がある。単純な切断加工のみの削減効果は84%となった。
- ③材料セッティングの外段取り化によるスループットの向上については期待通りであった。従来の材料セッティングは

機械を止めた状態で行わざるをえなかったため機械停止時間が発生していたが、最新型機械の導入により機械を作動させたまま、次の製品の準備が可能となったので機械停止時間を最小にする事が出来た。当社は多品種少量生産がメインのため段取り替えが多い。段取り替えの時間を最小に出来る事でブランク加工工程のスループットが向上した。

②③の効果が合わさり一定の条件下であるがブランク加工工程の時間削減が最大40%となった。

上記のように製品の寸法高精度化と実加工の時間短縮及び間接的な工数削減が本事業において達成された。



## にいがた経済新聞の目

### 暗黙知を蓄積し先行者利得を活用

航空宇宙の精密板金、また医療機器の筐体加工といった分野でファイバーレーザー加工機を活用している。業界では同機器を導入している企業が少なく、今後2、3年程度は先行導入の強みを活かして受注を積極的に獲得していく。とくに、加工が難しいとされてきた銅、真鍮といった素材の加工を獲得していきたい方針だ。

導入した加工機の精度の高さを利用してより精密さが要求される注文を獲得、3、4、5年はそういった仕事の受注を中心に営業展開する。この期間に技術的なノウハウを蓄積する。

昨今では産業機器に対して「製品の外観やバラつきがないように」という要求が高まっている」（星野佳史専務）と言う。

このため、機械の精度だけでは解決できない部分でのノウハウ、つまり材料一つとっても反りがあったり、目の向きが違ったりといった材料の特性に応じて機械の設定値を変えたりという“暗黙知”を蓄積し、先行者利得を活用していく。



星野 佳史 専務

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 スタックス

所在地 本社：〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1750  
十日町事業所：〒948-0044 新潟県十日町市丁60

代表者名 代表取締役 星野 妃世子

電話番号 044-433-1611 (本社) F A X 044-433-2218 (本社)  
0257-61-7731 (十日町) 0257-61-7741 (十日町)

設立年月 昭和28年11月

資本金額 3,300万円

従業員数 56人

業 種 その他製造業

U R L <http://www.stax-tqs.co.jp>

E-mail [info@stax-tqs.co.jp](mailto:info@stax-tqs.co.jp)



# 株式会社 UniBio

## テーマ

## 植物より製造する化粧品原料EGFの工程改善による生産性向上

## 目的

植物より発現した化粧品原料としてのヒトEGF（上皮細胞成長因子）の生産工程の一部を機械化・自動化・効率改善することによる生産能力向上で、製造スピード向上とコスト削減に繋げる。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

当社は、革新的な植物バイオ技術である一過性発現技術を活用し、スキンケア分野や再生医療の現場で必要不可欠な原料である様々な「細胞増殖因子」というタンパク質製品を開発・製造している。製品開発を進めているいくつかの製品のなかで、最初の製品である「植物由来EGF（Epidermal Growth factor、イージーエフと呼ばれる細胞増殖因子の1つで肌を若返らせる効果を持つ）」の試作を終え、サンプル製品の製造、販売を開始してきた。販売計画において、まずは国内本格的販売、その後は欧州、東南アジア各国へ拡販していくことを計画しているが、そのためには生産規模を大幅に向上させる必要があった（現在の生産規模では、国内需要に応えた上での海外展開は非常に難しい）。さらにコスト削減を実現し、顧客が購入しやすい価格に近づけるという課題もあった。

上記の課題を解決するために、大量生産・コスト削減に

よる生産性向上のために早急に機械装置を導入する必要性があり、本事業に申請・実施した。

### ■ 実施内容

既存生産工程に本事業で新たに機械装置を導入し工程改善を行うことで、EGF製品製造の生産性向上、具体的には化粧品原料としてニーズの高まっている植物由来EGF製品の生産能力向上による製造スピード向上、コスト削減を実現し競争力強化を図った。



## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

既存製造工程の一部に本事業対象の機械装置等を導入することにより、下記のような効率化に向けた成果が得られている。それぞれの機械装置を導入することで、一連の製造工程における生産性向上及び効率化の準備が完了したと考える。

**結論：実施した内容により、製品1ロットの処理量が1.5倍に向上し、生産性向上が可能となった。**

#### ①納期・工程の短縮

○条件：EGF製品（10mL小瓶の製品形態）を50本製造した場合の、植物の収穫・青汁作成工程から製品の小瓶への充填工程までの短縮分析

（表-1）

	工程の短縮
導入前（設備投資前）	36工程
実績（設備投資後）	24工程
削減数	▼12工程
削減効果（%）	33.3%

#### ②生産性の向上

○条件：上記①の条件で、1ロット製造当たりの生産性の分析

（表-2）

	生産性（1時間）
導入前（設備投資前）	33本
実績（設備投資後）	50本
増加・削減数	△17本
改善効果（倍率）	1.5倍

#### ③コスト削減（特に人件費面）

○条件：上記①の条件で、削減できた人件費を分析

○条件：従業員の職位により時間給が異なるため、ここでは時間単位で分析

（表-3）

	従事時間
導入前（設備投資前）	160時間・人
実績（設備投資後）	100時間・人
改善割合	▼60時間・人
改善効果（%）	約37.5%

## にいがた経済新聞の目

### 新潟では珍しい「バイオ×先端技術」

日本で承認・上市されている再生医療等製品はまだ4製品に限られており（2018年10月時点）、そこで使用されている原料の殆どが動物・菌由来によるものである。同社が手がけているのは、この再生医療等製品の原料を植物バイオ技術を活用して開発・製造する事業であり、他技術での原料よりも高い安全性の確保が可能である。今回の補助金は、この技術を応用して「植物由来EGF-Uni+」という化粧品原料の量産化に必要な機械装置の購入に充当。「植物由来EGF-Uni+」はこれまでにない製品として、化粧品メーカーやOEM企業などから問い合わせを多数受けている。国内で再生医療等製品の上市がまだまだ少ない状況の中、化粧品原料という形ではあるものの実用化できたことで高い評価を獲得。メイン事業である再生医療分野での研究開発において、共同研究や受託試験の引き合いに貢献している。新潟では珍しい植物バイオ×先端技術をつかったベンチャー企業、ということで県内複数の企業からの出資も受けており、今後の飛躍が期待されている企業の一つである。



結城 洋司 代表取締役社長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 UniBio

所在地 〒959-0597 新潟県新潟市西蒲区新飯田88番地

代表者名 代表取締役 結城 洋司

電話番号 0256-78-8120

F A X 0256-78-8121

設立年月 平成23年3月

資本金額 9,750万円

従業員数 8人

業 種 製造業

U R L <https://unibio-jp.com>

E-mail [info@unibio-jp.com](mailto:info@unibio-jp.com)



# 株式会社 榮技術

## テーマ

### 3次元点群データを活用した測量の効率化と保全マネジメント向けの民間需要拡大

## 目的

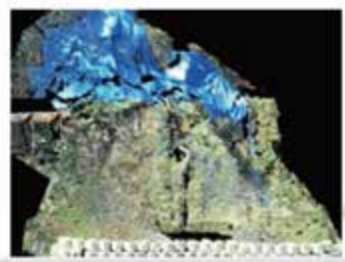
3次元レーザースキャナーの導入によりi-Constructionに対応する測量の効率化・精緻化が可能となる。さらにこれを活用した設備図面の作成で保全マネジメント向けの需要を喚起する。これにより、公共・民間の両面で新たな販路を開拓する。



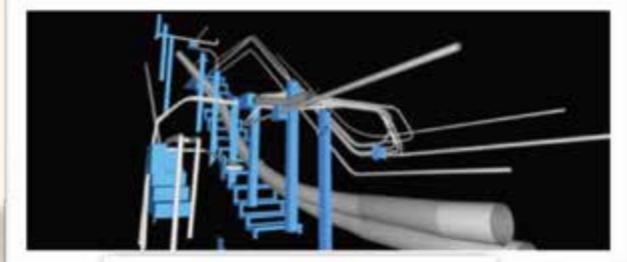
のり面復旧の計測  
※赤枠は3Dデータを取得する範囲



矩形トンネル内にある配管類の3D点群データ



取得した3D点群データ



3D点群データより作成したモデル

## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

測量（土木設計のための測量を含む）は手順が定まっており、品質面でのニーズはなく、所定の納期とコストを遵守することが重要である。しかし最近では将来の予測に直接役立つことのできる調査結果を求められることも多く、従来の単なる調査を超えた付加価値の高い情報の提供が今後ますます求められている。

当社の測量業は公共事業の受注が主体であるため、国や自治体の予算に業績が大きく左右され、予算規模が小さいときは競争入札での価格競争も激しくなる。このため、測量や設計を効率化し、コストを低減することが必要である。公共事業の受注は売上回収の懸念がなく資金繰りに有利である一方、利益が出にくく企業の成長のための原資の蓄積には向かない。そのため、民間事業者向けに付加価値の高いサービスを提供し、利益を上げることも必須となり、当社の新たな事業の方向性として、測量等の効率化・精緻化、高付加価値

サービスの提供に取り組む必要がある。また、i-Constructionの動きを見据えた3次元データ調査・測量への対応、調査結果の見える化も課題となっている。

### ■ 実施内容

i-Constructionへの対応と、地上測量全般、土木設計の業務の効率化・精緻化が可能となるとともに、単なる調査ではない付加価値の高いデータ提供を可能にするため、3次元レーザースキャナーを導入し、レーザースキャナーを用いた調査・測量方法の習得、3次元点群データのデータ処理方法の習得を行った。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

購入した機械装置を活用した結果、測量の効率化、3次元点群データによる精緻化、建物設備図面の3次元化による見える化などが可能となり、付加価値の高い想定どおりのサービスを具現化し、市場（測量・設計・施工事業者など）より高い評価判定を受けた。「既存構造物等の3次元（3D）モデルデータ」の提供により、現場作業の時間短縮化や必要図面の精緻化による幅広い活用効果が期待できる。」との評価を受けた。

特に評価されたのは、「人が近づけない現場」などの3次元（3D）モデルデータであり、安全面から対応が困難であった危険な現場の活用や構造物が立体的に把握できる

ため、熟練技術者でなくとも構造物の交差等を容易に理解できる点が評価される結果となった。

また、i-Constructionに対応する生産性向上による測量の効率化が可能となったことによる革新性と付加価値の高い3次元（3D）モデルデータのサービス提供が可能となった。

以上、公共団体担当者、設計・工事事業者より高い評価を受け、同業者に対して競争力が向上することが見込める結果となった。



3次元レーザースキャナーを活用して構築した立体図

## にいがた経済新聞の目



### 設備関係の測量需要の取り込みを検討

3次元レーザースキャナーの導入で国土交通省が推進するiConstruction（アイ・コンストラクション）へ対応し、3次元データでのやりとりが可能になり測量設計の生産性が向上した。現在は官需がほとんどであるが、今後はこの3次元レーザースキャナーを活用して「設備」関係の測量需要の取り込みに動く方向で検討している。

レーザースキャナーの導入では無人航空機（UAV、通称ドローン）を使用した測量ができるようになり、測量の精緻化、建物や構造物の3次元化でデータの見える化が実現できるようになっている。こうした導入効果を背景に官需ばかりではなく「設備関係への展開も検討」（佐藤敏社長）している。

企業のプラントや工場などでは旧式の測量方法で測量したところが少なくないとみられており、旧図面や図面が存在しない、配管など立体的に測量できていないケースもあるという。今後プラントなどのメンテナンスの際に3次元レーザースキャナーで計測したデータを保存しておくことの有用性を訴え受注獲得につなげる。



佐藤 敏 代表取締役

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 榮技術

所在地 〒945-0044 新潟県柏崎市扇町1番77号

代表者名 代表取締役 佐藤 敏

電話番号 0257-22-6221

F A X 0257-22-6288

設立年月 昭和57年5月

資本金額 1,000万円

従業員数 9人

業 種 技術サービス業

U R L <http://www.sakae-ce.jp>

E-mail [info@sakae-ce.co.jp](mailto:info@sakae-ce.co.jp)



# 株式会社 ファーストイノベーション

## テーマ

## マラソン計測におけるパッシブRFIDタグと世界基準新型記録計測機材の導入

## 目的

東京オリンピックに向けて急成長を続ける日本国内スポーツイベント（マラソン等）に欠かすことのできない記録計測業務において、革新的機材（日本国内稀有）を導入し、加えて革新的サービス提供による競争力強化、地方活性化と雇用確保。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

佐渡は離島であり輸送費が追加コストとなることから製造業などの産業育成が遅れている。佐渡の主力産業である観光業も平成3年の121万人のピークから昨年は50万人台と半数以下になった。佐渡を支えてきた産業は近年深刻度を増しており新事業の展開が急務になっていた。一方で苦戦する外客誘致（観光）のなかで、近年スポーツイベント実施による外客誘致（観光）が佐渡でも大きな集客力と外貨獲得という経済効果をもたらしている。この現象は佐渡だけでなく日本国内においても2020年開催の東京オリンピック以降も当面続く急成長分野といわれ、「日本国内スポーツ総生産額」は増加の一途となっている。その一方で佐渡島内において、多くのスポーツイベントを開催しているが、島内事業者は必要な機材・ノウハウを持ち合わせていないため、企画運営全般に加えて記録計測業務も首都圏業者に委託しており、地元で開催しても、せっかくの外貨獲得による経済波及効果を十分に生

かしきれない要因になっていた。

### ■ 実施内容

マラソン大会等では競技のタイム計測と通過確認に記録計測機材を利用している。国内事業者の大半が使用しているスポーツ記録計測機材は、高価なアクティブタグ（電池内蔵式）を使うが、単価が高価なためマラソン等のイベントでは、ゴール後、そのタグを回収している。この手間は大規模イベントになるほどボランティアスタッフの労力が必要となり、大変煩わしい作業である。また、従来のタグは重量もありマラソン参加者に事前発送することが困難で、大会前日や当日に多くのボランティアスタッフがこの記録計測タグを配付するという手間も発生する。新型RFID機材、パッシブタグは安価であり、軽量でもあるため、従来型の機材に比べて、多くの利点があり、スポーツイベントの運営に革新的なサービスの提供を行うことができる。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

今回の新型機材導入により、日本国内では前例のないサービスが提供できるようになった。

- ①スタッフの省力化：選手装着のタグは小型軽量のため、郵送により案内書・ゼッケン等と共に事前配付が可能となった。また、タグは使い捨てで回収不要なことから、大人数のボランティアスタッフ確保が不要となった。
- ②参加選手の負担軽減：従来のタグと違い、新型計測タグ

は非常に軽量で、マラソンランナーへの負担も軽微となった。また、完走後の回収も不要なため、回収の手間を省くことができ、参加選手にも好評となっている。

- ③主催者の経費軽減：マラソン大会では、回収できないタグが少なからず発生していた。多くは紛失、返却忘れなどであるが、回収の必要がなくなったので、経費の削減にもつながっている。また、タグそのものが安価なため、主催者の経費削減にもつながっている。

## にいがた経済新聞の目



### 県内イベントの運営受託件数を拡大

スポーツイベントの企画・運営会社である同社では、大桃社長が立ち上げて4000人近くが参加する「佐渡ロングライド」や「佐渡トキマラソン」、「佐渡食の陣」、「こいっちゃまつり」、「鉾山祭」、「新潟ロードレース」、「白根ハーフマラソン」など県内を中心に約70のスポーツイベント・地域イベントの運営を請け負っている。強みは、「(マラソン大会などの)参加募集開始から、記録測定、参加者への結果用紙の手渡し、ホームページに掲載するところまで一貫して請け負えること」「県内はもちろん国内にも同様のタグを使っている企業はほとんどないこと」という。

一方、同社が佐渡のイベントの運営に携わる以前は、島内で開催されるイベント予算の内、3分の2以上が首都圏の会社が請け負っていたとみられ、せっかくのイベント収入が県外（島外）に流出していた。また現在でも県内の少なからずイベントを首都圏の会社が請け負っていて、イベントでもたらされるはずの経済波及効果が少なくなってしまうケースもあるという。このため同社では今後、上記の強みを活かし、県内イベントの運営の受託件数を増やすことで、県内経済の活性化に寄与していく計画だ。



大桃 一浩 代表取締役社長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 ファーストイノベーション

所在地 〒952-1558 新潟県佐渡市相川二町目14

代表者名 代表取締役 大桃 一浩

電話番号 0259-74-3515

F A X 0259-74-2130

設立年月 平成26年2月

資本金額 100万円

従業員数 4人

業 種 技術サービス業

U R L —

E-mail oomomo@1st-innovation.jp



# 株式会社 白旺舎

## テーマ

多様化する日本の伝統、寝巻き浴衣独自の発想で、他社との差別化

## 目的

訪日外国人やファミリー旅行客の増加により、浴衣リネン業界では「特殊サイズ」の生産依頼が急増している。既存施設では機械未対応の特殊サイズ生産を本件により機械化し、作業効率の向上・他社との差別化を図る。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

近年では当地（南魚沼市、越後湯沢エリア）を訪れる観光客層が大きく変化しており、それに伴い浴衣市場に新たな需要が発生している。具体的には、外国人観光客やファミリー旅行客の急増に伴う「特殊サイズ（大柄な外国人向けのキングサイズや未就学児用の小型サイズ等）」の注文増加である。既存設備での対応サイズは、一般的なサイズのみへの対応（大人向け大・中・小）であり、特殊サイズの多くは手作業により行っている。非効率で増加している需要に対応しきれない。



### ■ 実施内容

当社では、近年当地を訪れる外国人旅行者で背が高く大柄な欧米人などが浴衣姿で街歩きや、くつろぎの希望が増加し、またファミリー旅行者の増加により未就学児用の要望も高まっている。そのなかで、宿泊客の宿泊施設での満足度向上への一環として「浴衣投入機」と「浴衣畳み機」を導入した。この機械装置を使用して小型サイズからキングサイズまでの幅広いサイズに対応した浴衣を製造する目的で本事業を実施した。



## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

外国人旅行者やファミリー旅行客の増加に伴い、旅館・ホテルの浴衣市場（ホテルリネン）はサイズやデザイン、着心地など幅広い要求に応じていかなければならない。

本事業ではこうした要望に沿った浴衣リネンを提供できたことにより、サイズの合わない浴衣を着るといった不満や、旅館の名入れ浴衣の着用（没個性）を強いられるというストレスから解放され、浴衣という日本文化を堪能することができる。また、ファミリー旅行客にとっては親子で同じ柄を着られるという満足感が得られる。

本事業で導入した機械装置の成果は、いままで特殊サイ

ズ（キングサイズ、未就学児用小型サイズ）の生産では、手流し生産だったために作業員によって、品質にムラができ、不揃いやシワなど納品後のクレームにつながることもあったものが解消された。また導入した機械により、品質・作業時間、作業員への負担も軽減され、併せて他の製品作業に浮いた作業員を振り向けることで、会社全体の生産の安定化・増産、品質向上で顧客に満足してもらうことができた。品質面で不揃いの形での置直しや、手流し作業が皆無となり改善できた。こうしたことから、本事業で全サイズの対応が可能となるとともに、受注での取りこぼしなくなり、営業面においても積極的な営業が可能となった。

## にいがた経済新聞の目



### 受注データを活用し新たな営業展開

「浴衣投入機」や「浴衣畳み機」の導入で、小型サイズからキングサイズまで幅広い浴衣の生産が可能になったため、これまで取り切れていなかった注文にも対応できるようになって生産性が改善した。

例えば従来、手作業に頼っていた工程を含め500枚の浴衣を生産するのに3時間程度かかっていたが、1.5時間程度に短縮し処理能力が向上。投入人員の削減も図れている。今後は旅館やホテルからの受注という、これまで経営の基盤になってきた分野を充実させるとともに、新たに老人ホームなど福祉施設にも展開、経営基盤を強固なものにしていく考えである。

有力な取引先である旅館や民宿、ホテルのオンシーズンに注文が急増するが、その後は注文が減り、年間を通じてオンシーズンとオフシーズンの生産量の変動は激しい。

このため、オフシーズンに福祉施設の生産を差し込めるような生産体制を構築していく。福祉施設の受注ではデータを活用するなどして、新しい形の営業を展開していく考えである。



上田 哲雄 南魚沼営業所所長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 白旺舎

所在地 〒949-6608 新潟県南魚沼市美佐島1611-2

代表者名 代表取締役 上田 健次郎

電話番号 025-770-2552

F A X 025-770-0201

設立年月 昭和50年4月

資本金額 1,000万円

従業員数 45人

業 種 リネンサプライ

U R L —

E-mail whiteking-t20@fine.ocn.ne.jp



# 株式会社 港製菓

## テーマ

## ハラール市場向け包あん商品新規販売と拡販対応の製造ライン構築

## 目的

中東・東南アジア圏では製造過程においてもアルコールの使用が禁止されており、同圏内で販売可能なアルコール未使用の包あん商品（主に大福や洋風大福など）の新規製造を実現し、ハラール市場への新販路拡大を図る。



## 事業の内容

### ■ 事業取組みの経緯

国内消費の減少が今後見込まれるため、将来の活路を見出すべくハラール市場（主に中東・東南アジア圏）での販路拡大を目指す。中東・東南アジア圏では、商品製造過程においてもアルコールの使用が厳しく制限されており、同圏内で販売可能なアルコール未使用の包あん商品（主に洋風（クリーム）大福など）の新規製造を実現し、ハラール市場への新販路拡大を図る。

ハラール市場に対して商品輸出可能とすべく、包あん商品新規販売への製造ラインを構築し、和菓子の商品輸出（供給）を通じ、新潟発の日本食文化を世界に発信する。

### ■ 実施内容

本事業において、ハラール市場向け新規製造ラインを構築し、ハラール認証（アルコール未使用検査他）を受け、同市

場向け輸出を拡大させ、売上増加を目指す。また、ハラール認証を受けることにより、価値や品質を可視化させた。

ハラール認証は製造過程においてアルコール使用に制限があることから、製造ラインはハラール市場向けと既存市場向けとに分離しなければならない。よって、本事業とは既存製造ラインとは別途の製造ラインを構築することとなり、ハラール市場向け専用の異物混入検査機、認証に必要な消毒機器並びに粒あん製造機の最新機械を導入した。

(ア) 新規製造ラインにはアルコールを使用せず、ピュアスター水により衛生度を保つこととした。

(イ) 和菓子の特徴である粒あんをハラール市場に拡販するため、自動化された粒あん製造装置（誰でも品質を保ちながら量産できる）を導入した。

(ウ) 輸出対象商品に対し、最終工程でエックス線異物除去装置を配置し、最終チェックを行った。

## 事業の成果

### ■ 事業取組みの成果

包あん商品のハラール認証取得に向けて、機器等の洗浄時にアルコールを使用しない新たな製造ラインを構築した。微酸性電解水生成装置（ピュアスター MP-1000）を導入しアルコール洗浄方法から電解水による洗浄方法に切り替えた。アルコール未使用による、一般細菌・大腸菌・黄色ブドウ球菌の発生が懸念されたが、いずれの菌についても当社基準値以下の合格数値となった（100%目標達成）。最終工程での中型X線異物検出装置（IX-GE-4044型）導入により異物混入などは皆無であった。

ハラール認証専門機関の審査を受け、製造工程及び試作製品の品質審査を経て、8種の商品について、ローカルハラール認証を取得した。

当社取引先商社等の外部人員20人による試食・品評評価を行い、7項目中5項目で70%以上の高い評価を得、総合評価では80%の高評価となった。

アルコール不使用の製造ラインを構築し、ローカルハラール認証を取得した新商品の開発ができた。この開発商品を国際食品・飲料展（FOODEX JAPAN）等を通じて輸出商社、海外バイヤーへの売込みを展開する。また、将来的なグローバルハラール認証を見据えて包あん商品のハラール圏への販路拡大を進める。



## にいがた経済新聞の目



### 将来的にはグローバルハラールにも挑戦

現在はローカルハラールの市場開拓を推進中。クリーム大福やみたらし団子、水まんじゅうなど8種類の認定を受けている。「ハラール市場は今後大きくなる」（坂場健一取締役管理部長）とみており、当面2020年の東京オリンピック・パラリンピックに照準を定め、ローカルハラールの商品を拡販していく。将来的にはグローバルハラールも挑戦。既存のノンハラール商品を納入しているルートを活用し、中東や東南アジアへの輸出にも取り組みたい意向だ。

年々増加しているインバウンド（訪日外国人）のなかでも、イスラム教徒（ムスリム）の人々は「何を食べていいかわからない」との声が多く、ハラール向け食品の潜在的なニーズは強い。そこで同社では国内のムスリム用に加え、土産物でハラール市場の開拓を進めていく。現在常温で保存できるお土産用のハラール商品の開発を進めており、今後は各地の空港にある免税店などで販売する見通しだ。

製造設備はハラール向けが整備されたが、グローバルハラール商品は、物流や保管まで新たな流通を整備しなければならないなどハードルが多く、腰を据えて取り組む考えだ。



坂場 健一 取締役管理部長

### ■ 事業者の概要

事業者名 株式会社 港製菓

所在地 〒950-0041 新潟県新潟市東区臨港町三丁目4609番地9

代表者名 代表取締役 高橋 裕之

電話番号 025-270-3710

F A X 025-270-3720

設立年月 平成3年3月（創業昭和11年）

資本金額 1,000万円

従業員数 79人

業 種 食料品製造業

U R L <http://www.niigata-minato.co.jp>

E-mail [minato@niigata-minato.co.jp](mailto:minato@niigata-minato.co.jp)



# 平成24年度 採択事業者一覧

※平成24年度採択時の申請内容で掲載しています。

No	申請者名称	事業計画
1	株式会社 青海製作所	医療機器部品の高精度微細化に対応する技術開発
2	株式会社 三条特殊鋳工所	鋳造品の自動外観検査装置の開発
3	株式会社 セブン・セブン	金属触媒を応用した魔法瓶の開発
4	株式会社 山之内製作所	口腔内の縫合に適した歯科用縫合器の開発
5	フジイコーポレーション 株式会社	雪国の除雪作業負担を画的に改善する「スマート除雪機」の開発
6	本間冬治工業 株式会社	大型ステンレス製タンクの絞り加工開発及び製品化
7	株式会社 池田機工	精密板金加工における表面処理膜のある鋼板の、バリ取りについて標準化をおこなうことで品質の安定と加工時間の短縮を図る技術を確認するための試作開発
8	板垣金属 株式会社	長尺建築部材作成用高速省スペースパンチングプレスの導入
9	株式会社 Swing	高速印鑑加工用レーザーシステムの導入
10	有限会社 UWAVE	超音波加工ロボットの開発
11	株式会社 長津製作所	位置決めステップを有効活用した多量の電極加工・放電システム
12	株式会社 北星製作所	レーザー溶接効率化のための高精度部品製作ならびに治具開発等高度化事業
13	新潟潜水興業 株式会社	水中切断ロボットの開発
14	ストーリーオ 株式会社	高付加価値曲げ木製品の生産工程改善と海外市場開拓
15	オノヅカ精工 株式会社	中小企業から訴える「省エネ化」で起こるイノベーションのモデル事業となる設備計画
16	株式会社 諏訪田製作所 <b>p.10</b>	携帯用新型ネイルニッパーの開発
17	株式会社 中津山熱処理	真空熱処理の高度化による大型ベアリング部品用産技術の開発
18	株式会社 森井	ニッチで繊細な電子レンジ使用便利調理具の独自開発販売
19	株式会社 兼古製作所	CNC旋盤を用いたソケットレンチビット及びそれに類する製品の開発
20	高速紙工業 株式会社	サーマルポット印刷の設備
21	株式会社 ナノテム	カバーガラスサファイア及びパワーデバイスSiCの超高速加工ダイヤモンドラップ盤の開発
22	株式会社 田辺製作所	スマートメーター・電気自動車向け超高精度省電力・小型ベベル水晶ブランク開発
23	中村ターネック 株式会社	車体傾斜制御装置向け切削部品の生産プロセス強化
24	株式会社 雲田商会	複合センサを搭載した車両ロボットによる下水道管路の調査システムの開発
25	山崎工業 株式会社	サーボプレス機の導入によるギア部品のプレス加工化
26	株式会社 エステーリンク	ドロス除去ならびにHL仕上げ機能を付加したバリ取り機
27	共栄エンジニアリング 株式会社	ナノインプリントモールド分野参入のための微細切削加工における洗浄技術高度化事業
28	三基物産 株式会社	建築金物小ロット塗装システムの構築
29	有限会社 石田製作所	精密板金加工における、画的かつ均一的なバリ取り方法と品質保証方法の構築
30	三共化成 株式会社	高効率昇温冷却射出成形と微細スルーホール技術による表面実装型電子部品パッケージ用回路基板の開発
31	株式会社 ジャステム	透明体等ウェーハのキズ・パーティクル自動検査装置の試作開発
32	株式会社 野崎プレス	高防水性の業務用はかり向け品（SUS304）の生産性向上によるコスト競争力の強化
33	株式会社 スノーピーク	「焚火台」増産を目的とした溶接ラインの増強計画
34	株式会社 カエリヤマ	農業機械向けユニバーサルジョイントヨークの製造技術開発
35	株式会社 古澤製作所	変種変量生産に対応するためのリードタイム短縮と工程統合による高効率加工の実現
36	株式会社 ハセテック	ステンレス素材に対応した製造工程の確立と自社オリジナル製品の開発
37	コイルスネーク 株式会社	プラント工場における温度センサー用保護管加工の機械導入
38	株式会社 野水機械製作所	タービンブレード自動研磨機の開発
39	ケイセイ医科工業 株式会社	重症患者治療装置の低圧制御に関する組込みソフトウェアの開発
40	ケイセイエンジニアリング 株式会社	難縫合部位対応スキンステプラーの研究開発
41	佐渡精密 株式会社	航空機エンジン部品試作における競争力強化
42	株式会社 新潟セイキ	汎用機能とNC機能を合わせ持つNC旋盤の導入による技能伝承と少量・多品種生産強化計画
43	有限会社 シンエー木型工業	地域の金型・鋳造、両メーカーの3次元データ共有による製造能力強化と品質保証の高度化
44	株式会社 ワンロード	ニッケル基金金鍛造金型製造方法の最適化
45	明和工業 株式会社	複合繊維材料と高精度溶接を用いた空中無人輸送機の軽量高剛性機体の開発
46	根茂織物 株式会社	繊維用接着剤自動塗布装置の開発

No	申請者名称	事業計画
47	越後札紙 株式会社	CTP導入による不良削減で、販路獲得
48	株式会社 トライテック	軟包装印刷向けのインクジェットシステム開発及び製作
49	株式会社 山口製作所	焼結ダイヤモンドを用いた高精度、高耐久性精密金型の開発
50	株式会社 カバサワ	カーブソー製造設備の導入による海外市場への販売拡大
51	株式会社 アルモ	アルミニウムを主な素材とした商品開発
52	株式会社 下条製作所	玄関機能を兼ね備えたオリジナルなデザイン性を追求したレターポスの開発
53	株式会社 大菱計器製作所	製造現場のニーズに合った商品開発が可能な生産管理システムの導入
54	吉田金属工業 株式会社	研磨装置システム導入による担い手不足解消と受注数量拡大の実現
55	株式会社 ワタナベ	溶接用ガン延長化による高難易度溶接の実現
56	ジェイ・ティ・メタル 株式会社	チタン精密鋳造と切削加工によるデザイン性に優れた携帯用葉入れの開発
57	株式会社 新武	金型製造に係わる高難度対応納期短縮計画
58	株式会社 片岡製作所	片面刃物研削盤導入強化による、小口化短納期要求体制構築事業
59	株式会社 大原鉄工所	可搬型ディーゼルエンジン発電機をベースとした90kWバイオガスエンジン発電機の開発事業
60	有限会社 長谷川挽物製作所	海外生産コストと対峙する為の工程改善によるコストダウン
61	株式会社 小林工具製作所	充電ドリル用アタッチメント式ケーブルカッターの開発
62	有限会社 芳賀溶接工業	溶接ロボット導入による溶接技術の信頼性と生産性向上
63	株式会社 有本製作所	工程内製化による納期・コスト競争力強化のためのアウトサート結合（ふち巻き）専用機の設備
64	株式会社 三松製作所	平面研削盤（両面研削加工効率機）の新技術修得と関連設備投資
65	株式会社 タナベ	カーボンナノファイバーの高温連続焼成技術の開発
66	株式会社 科学計器研究所	プログラム対話方式自動型内菌研削盤の開発
67	株式会社 山津電機	画像認識入出力装置の媒体接触部の開発
68	有限会社 今井技巧	精密医療器具及び精密医療要素部品を対象とした形状補修技術の高度化
69	金三鋼業 株式会社	引張りや曲げに対する抵抗性、伸び能力や防水性に特段優れたポリマーと称する合成高分子材料を用いたポリマーコンクリートで成形したU字側溝と狭幅グレーチングを組み合わせた新しい排水システムの開発
70	栄通信工業 株式会社	関数出力対応自動トリミング装置の開発
71	株式会社 フジ機工	高密度実装を実現するプリント基板エッチング装置に関する技術
72	株式会社 川崎合成樹脂 <b>p.8</b>	炊飯器釜を傷つけない御飯シャモジの開発
73	ナシモト工業 株式会社	サーボプレス機導入による先端刃物の生産プロセス強化
74	藤田化成 株式会社	食材固定機能を持つ野菜調理器の開発
75	株式会社 アピコ技術研究所	高剛性ナノ回転テーブルの開発（高硬度素材研削用）
76	日本制御 株式会社	プリント基板へのバラ部品挿入の自動化技術の開発
77	株式会社 三条工機製作所	新しいタイプの「液体酸素充填器」の開発
78	株式会社 悠心	新型逆止弁および生産機の開発
79	ウエノテックス 株式会社	タイヤ破砕機の開発
80	皆川農器製造 株式会社	5軸マシニングセンターによる複雑形状刃物の切削、研削加工の自動化
81	株式会社 中野科学	次世代の品質管理と環境規制に対応する電解砥粒研磨処理プロセスの充実
82	株式会社 コミテック	新工法開発による新規メーカーへの拡販活動強化
83	株式会社 笠原成形所	品質保証システムを付加した生産管理システムの構築
84	新井田鉄工所	熱可塑性炭素繊維強化プラスチック 成形用 加熱・搬送ユニットの開発
85	有限会社 山泰鋳工所	低価格、量産可能、高精度シェルモード砂型鋳造の開発
86	共栄テック 株式会社	超塑性加工法によるチタン合金製ステムの開発
87	尾畑酒造 株式会社	小ロット搾りたて出荷に対応した学校蔵プロジェクト
88	株式会社 シンターランド	「ACサーボ加圧機構を有する中型放電プラズマ焼結（SPS）装置の試作開発」
89	オリンピア照明 株式会社	植物工場用工場事業拡大のための植物工場用照明および植物栽培機器の試作開発
90	株式会社 イシイ精機	精密金型技術を用いた意匠性の高い建築資材を大量生産する金型の試作開発
91	JMR 株式会社	市場ニーズに則した革新的機能を有する白内障用眼科吸引管の試作開発
92	有限会社 柄沢ヤスリ	自動爪ヤスリ目立て機 及び 全自動研削機の導入
93	港屋 株式会社	野獣動物等侵入防止電気柵用、防草通電の機能性繊維（シート）開発実証試験

No	申請者名称	事業計画
94	興和電子工業 株式会社	表面実装用トランス製造の効率化
95	田辺プレス 株式会社	マグネシウム合金製介護歩行車の試作開発
96	株式会社 ATRヤマト	北米向けレジャー用小型航空機 (LSA) の試作1号機の試作開発プロジェクト
97	小片鉄工 株式会社	高効率ボイラの製造、販売
98	長岡スプリング 株式会社	NCフォーミングマシン導入による異形スプリング製造能力強化
99	コネクテックジャパン 株式会社	ソフトパンブ接合による有機基板・次世代半導体パッケージの試作開発
100	株式会社 富田刃物	コンクリート面清掃除草用回転刃の量産用設計・試作及び金型の開発 国際特許の取得
101	株式会社 満日製作所 <b>p.6</b>	3D CAD/CAM導入による製造リードタイム短縮と受注拡大の実現
102	株式会社 ヤマト工業	市場シェア拡大強化に向けた「新構造プレス金型」開発事業
103	株式会社 きものブレイン	獣毛系繊維のピリング抑制の確立
104	株式会社 関川製作所	「プラストマシン改良型」導入による新商品事業
105	N-ルミネセンス 株式会社	リモートフォスファー用高機能蛍光体の試作開発
106	燕シェルサービス 株式会社	製品の品質向上のための発光分析装置導入
107	ウエキハウス 株式会社	システム導入による建築工期短縮と受注拡大の実現
108	株式会社 ハシモト	ステンレス製大型食器洗浄槽の開発
109	モトコマ 株式会社	最先端のワイヤークット放電加工機導入による理美容欲生産量の増加と海外新規販路拡大
110	株式会社 ネット	量産用中型タブリード製造装置の開発
111	株式会社 田中衡機工業所	電子はかり製造における塗装工程改善による短納期化、及び耐久性向上による農業・畜産向け各種計量器開発加速
112	株式会社 北雪酒造	連続高速遠心機（吟醸もろみ上槽システム）の導入による付加価値日本酒の製造
113	株式会社 柄沢製作所	メカ式サーボプレス機導入
114	上越農機 株式会社	自社製ヒューム集塵機製造の開発
115	株式会社 エーシートライ	完全人工光型植物工場の低価格化と自動化を実現するための試作開発
116	東伸洋行 株式会社	適時、適応できるテーラーメイド義歯素材の開発と普及
117	株式会社 青芳製作所	高齢者・障がい者用キッチン用品の開発
118	有限会社 武政製作所	高性能切削機械導入による量産・短納期化の実現
119	YSEC 株式会社	バイオ燃料及び灯油を燃料とした小型発電機の開発
120	下村工業 株式会社	冷却解析による最適な金型製作技術の確立と家庭用りんご皮むき器の試作開発への応用
121	株式会社 ヘルツ	機能向上型スマートコントローラの実用化研究事業
122	藤寅工業 株式会社	海外得意先からの多品種少量受注と短納期に対応する為の自動化設備の導入
123	カネコ総業 株式会社	園芸用木工品の湾曲加工技術開発による差別化戦略
124	株式会社 後藤鉄工所	転造盤を用いた歯車製品の短納期、低コスト化の実現
125	株式会社 佐藤製作所	業務用乾式哺乳瓶加熱装置の商品化
126	株式会社 クボ製作所	合成樹脂試作用の調合設備導入による品質安定化
127	株式会社 シンコーテック	多品種少量生産に対応した短納期による売り上げ拡大のための設備内製法
128	長岡空調工業 株式会社	CAD・TIG溶接機・プレスブレーキ等の導入による提案型企業・脱下請企業への経営革新事業（商売のやり方の革新を目指して）
129	ハル電子 株式会社	積層コアのコア損失改善による事業拡大
130	ケーエスエス 株式会社	コンパクトな複合位置決めアクチュエータの開発と生産方式の確立
131	大島農機 株式会社	自然環境を考慮した建設機械製品の部品塗装の改善による受注拡大
132	株式会社 アオヤギコーポレーション	「自動ロボットライン機能付大型プレス機」導入により生産の効率化および小ロット・短納期への対応を可能とする
133	新潟三吉工業 株式会社	交通信号機用給電筐体の試作開発
134	株式会社 ダイワメカニック	「先進性ある超高压加工容器の軽量化・量産開発加工プロジェクト」
135	小林製作所	ピンセット、毛抜き、骨抜きの新製品開発と生産拡大
136	ホシノ工業 株式会社	産業資材用細巾ベルト拡販のための生産方式
137	株式会社 東京ロストワックス工業	セラミックス粒子分散アルミニウム合金（通称MMC材）を用いた精密鋳造品の開発
138	株式会社 WELCON	拡散接合体の表面加工技術および最適条件の探索
139	バクマ工業 株式会社	コンピュータシステム一元化による住宅設備製品の生産リードタイム短縮、低コスト化の実現
140	株式会社 南雲製作所	超硬材料等 高硬度材料への精密微細切削加工技術の確立

No	申請者名称	事業計画
141	サカエテクノ 株式会社	2色成形機導入による生産能力向上計画
142	株式会社 シーモス	【家庭用・洗浄、エコ便利グッズの開発】深物洗浄 ワニワニ棒（仮名）
143	丸正ニットファクトリー 株式会社	ニット製品の特殊成型編み機とプレス機による、生産工程の短絡化等での生産効率向上によるコスト削減及び、新製品開発での競争力改善計画
144	株式会社 オータニツール	新型ワイヤ放電加工機導入による短納期化と高精度化の実現
145	北越融雪 株式会社	きのご腐菌床ベレット燃焼ボイラー製造事業
146	株式会社 片山抜型製作所 <b>p.4</b>	薄板材を切削加工する超高速小径エンドミル加工機の開発
147	マコー 株式会社	新製品の開発・商品化に伴う生産・業務管理システムの強化
148	島田工場	チタン指輪用直彫り4軸小型加工機の導入
149	井佐鉄工 株式会社	固定5軸加工機導入による多面加工の納期短縮と複雑形状部品への対応力強化計画
150	株式会社 タナカ金型	航空機の高品質化に貢献する小型軽量化製品の鍛造金型
151	株式会社 タケダ	チタニウム製（純チタン、6-4チタン）海洋測定器の長期的な受注確保と安定供給の向上
152	株式会社 テック長沢	産業用印刷機向け高精度側板の開発
153	宇佐美工業 株式会社	短納期、小口化対応による競争力強化のための塗装ロボット導入
154	株式会社 高又製作所	太陽光パネル設置用取付金具の生産数アップと効率化
155	マイテック 株式会社	次世代パワーデバイス用の基材である難削材（GaN、サファイヤ、SiC）ウエーハの切断・研削加工、及び洗浄技術の確立
156	株式会社 シナダ	フレキシブルな設定を可能とする高圧油圧式アップセッタ（据込鍛造機）の開発
157	株式会社 加茂製作所	3Dプリンタ設置と技術導入による下請け体質から開発体質への企業改善
158	株式会社 マルト長谷川工作所	ニッパー類の洗浄ラインの導入
159	第一ニットマーケティング 株式会社	「店舗型アパレルの追加発注に対応する為の生産管理システム導入」
160	株式会社 ヤチダ	電子ビーム溶接をキー工程とした、試作、開発案件の受注量の拡大と、短納期対応強化
161	有限会社 大塚金属工業	小規模農地対応ビニールハウス「元気ハウス」の開発・普及促進による「豊かで美しい農村」再生事業
162	株式会社 北陸製作所	角形鋼管の端部継手形式改善のための試作およびその商品化
163	エヌ・エス・エス 株式会社	大型回転部品における加工精度・幾何公差確保のための計測技術の開発
164	三星工業 株式会社	5軸FW装置の開発
165	瑞穂医科工業 株式会社	患者の骨形状に適合した整形外科インプラントの試作・開発
166	株式会社 川崎製作所	全自動式丸鋸切断面取機による重量測定管理切断
167	株式会社 セライズ	LED高ワットCOB用ソケットの試作から量産への一貫体制の確立
168	株式会社 吉田鉄工所	チタン材・特殊材の高精度加工に伴う計測検査体制の強化
169	株式会社 黒崎鉄工所	自動簡易溶接用治具試作開発による作業効率改善と製品化計画
170	有限会社 小林製作所	ファイバーレーザー溶接機導入による医療機器部品等に使用されるステンレス鋼の高温割れを抑制した精密溶接技術の開発
171	株式会社 共栄鍛工所	ショットブラストによる鍛造品の仕上げ加工の開発
172	株式会社 磯部ハイテック	大型発電用エンジン部品の試作開発
173	株式会社 サカタ製作所	地上設置型ソーラー架台及び基礎の開発
174	株式会社 外山製作所	炭素繊維と熱可塑性樹脂を含浸、組み合わせた複合材料（CFRTP）のロール成形技術の開発
175	イオカ精密工業 株式会社	スマートフォンタッチパネル基板反り検査装置
176	株式会社 関鉄工所	生産管理システム導入による1) 迅速な見積・納期回答、2) 小ロット・短納期化対応、3) 原価管理による収益性改善計画
177	株式会社 ルミナスジャパン	硝子封止した植物育成用のLED補光光源開発と実証
178	株式会社 大善	マグネシウム合金を利用した、軽量かつ高精度単軸テーブルの試作開発
179	株式会社 テクノアイ	耐プラズマ性フッ化物焼結体の大型化開発に関する加工機器の設備投資
180	株式会社 大興製作所	大型光学部品製作用のレンズ研磨機の設備投資とその市場参入
181	株式会社 ヤマキウ	カーボンUDプリプレグの量産化対応
182	ハガセイコー 株式会社	鉄筋結束工具の生産システムの合理化
183	有限会社 貫木産業	WPC薄板の製法および加工方法の改善による生産合理化
184	燕物産 株式会社	小口化・短納期化への対応し、障害者の雇用増に資する新型洗浄機の導入計画
185	株式会社 スリーピークス技研	ニッパ類刃付作業の刃研機導入による生産プロセス
186	高橋ニット 株式会社	超編目の細かいエレガントで最も美しいニット製品の開発と販路開拓事業

No	申請者名称	事業計画
187	株式会社 ケイヒン	バルブ構造部品の一体化設計による医療・食品工場における配管バルブ作動不良の改善
188	長谷川酒造 株式会社	サーマルタンク増設による搾りたて風味そのままの生酒の通年提供
189	株式会社 吉崎製作所	自動車部品の高精度化・短納期化に対応する為の技術開発
190	株式会社 直江津油脂	新商品開発に係る急冷凍と省エネルギー実現化事業計画
191	株式会社 環境科学	短納期、多品種小ロットに対応した入浴剤包材開発と充填包装システムの導入
192	株式会社 マシンプロセスィング	石油・天然ガスプラント向けバルブ・ポンプ鋳造品の精密切削加工技術の確立
193	株式会社 渡辺工作所	プレス打ち抜き金型の精度向上によるコスト低減と製品精度向上の実現
194	株式会社 中央製版	打抜・窓貼工程における短納期対応力および小ロット対応力の強化
195	ライン精工 有限会社	新規設備導入による多品種少量短納期生産対応と試作開発強化による事業強化
196	有限会社 井出計器	自動機・ロボット対応型電動ドライバーの開発
197	株式会社 セキヤ	小ロット・短納期、及び高精度要求に対応するプレス加工体制の構築
198	株式会社 長岡金型	高強度厚肉樹脂成形品の自動生産システムの開発
199	新潟精密鋳造 株式会社	耐蝕耐熱鋳造合金とガラス質材との複合素材品の開発
200	有限会社 ランドマーク	スチールドアの板金加工における24時間無人対応の自動化ラインの開発
201	オチヤセイキ 株式会社	CNCねじ研削盤の導入による特殊ねじゲージの工数削減による短納期化
202	株式会社 タケコシ	抗菌ステンレスの新規加工法およびそれに伴う新製品の開発
203	新井工業 株式会社	熱間鍛造工法を生かした改善活動による製造原価低減プラン
204	株式会社 加藤製作所	小口化・短納期化により競争力強化を実現するためのバーコード生産管理システム導入
205	星野金型 株式会社	電力送電機器カバー成形用絞り金型の試作開発
206	株式会社 田中鉄工所	「ガイドポストの高精度切削の確立と建設機械部品の試作対応力強化」
207	株式会社 星野製作所	「LNG等陸揚げ装置の基幹部品の高精度曲げ加工技術の確立」
208	ヒムエレクトロ 株式会社	ニッチ分野特化型 自動供給装置付き竹燃料ロケットストーブの試作開発
209	株式会社 フーゲツ	段ボールパレットの接着プレス装置開発による量産技術の確立
210	協和シール工業 株式会社	切断精度・作業効率向上のための超音波カッター搭載ゴム切断機の開発・導入
211	株式会社 青柳	新商品開発のための、高度な再現性を備えた染料調合システム導入による染色工程管理の効率化
212	有限会社 日承テクニカル	高機能機械を利用した直線運動用レールの試作品開発
213	サンメタル工業 株式会社	地球環境および周辺環境に充分配慮した環境共生型の一貫生産板金加工のワンストップ化の実現
214	有限会社 小林鐵工所	大口径長尺合金の内径テーパ加工の自動化による小口短納期対応体制構築事業
215	株式会社 エレックス新潟	3次元 CAD/CAMシステムと、表面を傷つけない糸面取りシステムの開発
216	株式会社 サッシサービスセンター	多品種・小ロット・短サイクル化に適応するアルミサッシ型材加工システムの構築
217	杉山金属 株式会社	高熱効率鍋「エコライン」の普及を促進する低価格モデルの開発
218	アイテックス 株式会社	3次元CAD導入による提案型開発プロセスの構築、自動機導入による生産性の向上
219	株式会社 マイクロビジョン	現場に1台！加工精度向上のための三次元形状測定装置の開発
220	共栄電工 株式会社	特殊研磨工法の高高度化と品質保証データ作成の迅速化
221	有限会社 倉茂プレス金型製作所	成形シミュレーションソフト及びマシニング導入による3次元加工の開発及び製品化
222	有限会社 宮川工業	雪崩・落石防護柵の簡易加工機の開発
223	株式会社 浅田精機	高精度部品加工の短納期化・コストダウンによる競争力強化のための新生産管理システム導入
224	有限会社 フィロソフィー	次世代型ヘッドアップディスプレイに対応した超精密光学部品製造技術の開発
225	ウルシヤマ金属工業 株式会社	アルミキャスト製品の鋳造技術高度化による生産プロセス向上で製品競争力強化
226	株式会社 栗山百造	中・大規模木造建築木質ラーメン構造用の規格接合金物の開発
227	有限会社 斎藤精機	新興国向製品の高品质・低コストなものづくり生産システムの構築
228	株式会社 タカトニット	ワイドゲージニッティング機導入による高度化、新商品試作開発事業
229	株式会社 NSPM	特殊形状硝子等の仕上げ加工に対応する高品质・高付加価値な加工プロセスの開発
230	株式会社 第一測範製作所	マンモグラフィの作動音と振動を50%低減するボールねじの開発
231	セキ技研 株式会社	高速で安定稼働が可能な小型電子部品組立装置用搬送技術の確立
232	合同会社 新コスモ	冷凍しても食品の品質を保てる液体凍結機の小型化事業。
233	有限会社 石坂工業	既存設備のNC機化による低価格でコンパクトなボールねじの開発計画
234	株式会社 ソリマチ技研	POS決済システム向け国際セキュリティ基準に準拠したアプリケーション開発

No	申請者名称	事業計画
235	株式会社 向陽製作所	評定取得住宅基礎ユニット鉄筋の普及を図るための全自動丸鋼切断機の新設導入
236	株式会社 丸菱電子	航空機産業への参入にあたっての工程管理システムの開発
237	ニイガタ製販 株式会社	デジタル電動サーボプレス機導入による太陽光パネル取付金具等の競争力の強化
238	株式会社 長岡歯車製作所	高精度スパイラルベベルギヤの製造技術の高度化
239	株式会社 徳利	デュアルサーボドライブプレスブレイキによる内燃機配管部品の生産性向上と高精度化による生産システム開発
240	株式会社 シンテック	ワイヤ放電加工によるバルブボディー加工治具の試作開発
241	株式会社 和田製作所	排気ガスのエネルギー化装置部品の試作開発
242	株式会社 アズコーティング	塗装の洗浄ライン設備導入（改善）による品質向上と作業効率化による受注拡大の実現
243	有限会社 幸和工業	精密メスネジ加工技術確立によるマイクログ面取り測定器の試作開発
244	株式会社 三雄工芸 <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">p.12</span>	3Dプリンター造型機導入とダイレクト鋳造の実現による精密鋳造品の開発
245	株式会社 三尾プレジジョン	油圧シリンダー部品「ピストンロット」の二分割加工から一体加工への挑戦
246	株式会社 柴山機械	高性能形マシニングセンタ導入による新分野受注拡大事業
247	パールライト工業 株式会社	スターリングエンジンの吸熱装置の組み立てに手動タイブレーザ溶接機の導入
248	有限会社 笠原パーツ工業	角のある形状を作るための絞りによるプレス金型の試作開発
249	藤木鉄工 株式会社	大型自動プラストマシンの導入による塗装の生産プロセス強化
250	株式会社 アスコテック	特性インピーダンスコントロール要求への対応と顧客の獲得
251	旭金属工業 株式会社	遊星歯車機構を利用した小型・軽量な手動型大出力倍力レンチの試作開発
252	株式会社 清和モールド	マグネットチャックを使用した金型製作の大幅な時間短縮化
253	株式会社 田辺金具	自動真空マシン設備導入による品質・生産性の向上
254	株式会社 布施鉄工所	高性能精密中空形状加工旋盤設備を活用した特殊加工技術の向上
255	株式会社 アンドウ	新素材の高付加価値加工体制の構築に向けたチャレンジ
256	渡辺刃物製作所	密閉炉による鍛接、熱処理、圧着技術の開発
257	日本ベアリング 株式会社	直線往復運動製品群におけるミニチュアガイドのコストダウンと新規試作開発
258	第一食品 株式会社	自社オリジナル果肉入りアイスクリームの製造に伴う設備の導入
259	ウエカツエンジニアリング 株式会社	高速加工技術とバリレス加工技術の確立
260	株式会社 加藤研削工業	「不等ピッチメタルソーの製造及び再研削サービス」の小口短納期対応の実現」
261	株式会社 羽生田製作所	医療機器の試作開発時間及び小ロット製品の製造時間短縮の実現
262	株式会社 オダジマ	「デジタル電動サーボプレス機」導入による新商品事業
263	サンアロー化成 株式会社	3次元曲面を有する製品に適用可能なタッチセンサ付外観部品の開発
264	古川機工 株式会社	パン類・菓子類に於ける焼成食品等の天板プレートからの新移載方法の開発
265	有限会社 小林鐵工所	パレットチェンジ搭載マシニングセンター導入によるエアニーパーの試作開発
266	株式会社 齋鐵	表面処理鋼板を安定してスポット溶接結合する量産化技術確立と市場の拡大
267	株式会社 丸勝	炭素繊維織物の熱可塑性樹脂ラミネートシートの開発
268	株式会社 津南油圧	ナローミグで熔接作業の効率化とコスト低減に挑戦
269	有限会社 田辺工業	通信機器向け超高精度・高安定SCカット水晶ウェハ開発
270	有限会社 平原製作所	厚板高精度加工化のためのレーザー加工機の導入
271	ササゲ工業 株式会社	海外市場開拓 新たな「SAKE」「器」のブランディング開発プロジェクト
272	株式会社 初台製作所	蛍光灯用R17d口金製造に於ける、バリ取工程、カシメ工程（中国生産）の自社工場内製法
273	佐野合成 株式会社	大規模植物工場用プラスチック容器類のハイサイクル成形による生産能力の強化と品質確保の確立に向けた開発
274	中村精工 株式会社	女性の感性を活かした医療滅菌箱等の開発
275	栃尾ニット 株式会社	高級健康肌着用編地の絶滅を防ぎ未来に繋げる為に 機能糸の改良、編機改造による生産プロセスの再構築
276	ダイトゴム 株式会社	自動車用ゴム部品試作開発のワンストップ化による顧客への短納期回答
277	飯塚精工 株式会社	バリ、バスター計画【バリ…金属加工において主に切断面に発生するノコギリ状の鋭いエッジ】
278	吉新織物 有限会社	小千谷縮、上布の原材料の糊付加工機を導入した多彩な糸製造
279	株式会社 内山溶接工業	次世代エネルギー・省エネルギー分野における受注拡大
280	株式会社 田辺製作所	最先端水晶振動子向け超低消費電力32.768kHz水晶ブランク開発
281	関川鋼板 株式会社	海外製品との価格競争強化の為の複合自動カシメ機導入と当社独自性を活かしたオリジナル商品の開発
282	株式会社 パルメソ	世界初 MSE試験の普及を目指した受託試験サービスの拡大

No	申請者名称	事業計画
283	株式会社 佐文工業所	眼科用手術用器具の開発
284	株式会社 ケーワンクリエート	「無線式音声ナースコール（電話連動型）システム」の機能向上開発
285	株式会社 栄工舎	生産管理情報システムの導入により、大幅な短納期化や他のサービス向上を目指す。
286	有限会社 ミッド	デザイナーズテーブルの開発でシリーズ商品の強化を狙う
287	有限会社 吉武鉄工所	NC外周加工機導入によるリング状材料の外周加工高精度化及び生産性向上
288	株式会社 和商	「十日町からむし」素材を利用したクールビズシャツの縫製加工体制の確立
289	米山工業 株式会社	「3Dプリンターを活用した精度確認用検査治具の作製方法の確立」
290	新潟精機 株式会社	日本で2社しか製造していない製品である「ピングージ」の加工方法改善によるコスト削減
291	山田精工 株式会社	次世代型スマホ・タブレット向け高精度成形品の試作開発
292	株式会社 タカハシキカイ	コストパフォーマンスに優れたワーク搬送ロボット付全自動2頭式旋盤の開発
293	株式会社 エビス	海外仕様の気泡管作成と気泡管・基準線の自動印刷ライン
294	株式会社 本間製作所	角型容器のスピンニング加工による高付加価値化
295	シマト工業 株式会社	表面処理ラインの効率化に向けた生産システムの再構築および治具の試作・開発
296	株式会社 MPT	アルミ箔基材を用いた超低消費電力型極薄フレキシブルヒーターの開発と製造
297	株式会社 フジレメック	5軸制御マシニングセンタ導入
298	有限会社 ナジラータ	超小型サイネージ機器用ファームウェアの開発
299	有限会社 コアテックニイガタ	残留塩素除去と溶存酸素増加装置の小型汎用機の開発
300	有限会社 上原製麺所	金型成形技術を活用した一口麺の挑戦開発事業
301	有限会社 坂井金型製作所	高精度、高品質測定による鍛造金型作製の新しい効果
302	有限会社 マルフジ剣山製作所	繰り返し使える花留め具の量産自動化設備の開発
303	株式会社 サンシン	特殊テープ方式によるインライン型セル板表面クリーナー装置の試作開発
304	株式会社 サイシン	高速高精度加工技術の応用による難削材加工の短納期化
305	株式会社 プロテックエンジニアリング	ワイヤロープ製品の肉製化による品質の向上を目指した斜面防災製品の試作及び製品化
306	株式会社 外山刃物	「ヨーロッパ向け果樹剪定用電動はさみの試作開発」
307	協立工業 株式会社	CFRTP（炭素繊維熱可塑性複合材料）の低コストプリプレグとプレス成形技術の開発
308	有限会社 新潟大成	プラスチック部品の成形不良を防ぐ「ウェルドレス金型」の試作開発
309	株式会社 結	「トップスイマー用 競泳トレーニングマシンの開発」
310	株式会社 フクエ精機	NC平面研削盤導入による高精度曲面精密パネ金型の試作開発
311	株式会社 日研工作	3D CAE導入による金型製作のコストダウン及び短納期化の実現と受注先への提案力強化についての導入事業計画
312	株式会社 酒井鉄工所	自動車機能部品の加工における工程集約化と量産化生産技術の研究
313	有限会社 長沢熔接	新型ロボットによる高度な溶接法の確立・信頼・品質安定向上
314	シンワ測定 株式会社	高齢化する磨き職人の技を、ロボットを使って継承
315	有限会社 霜龍器物	スポット溶接機ハイマックスの導入によるフッ素加工製品の溶接
316	宮本警報器 株式会社	自動車用ホーンの音圧UP品の開発及び低コスト化・量産化のための半自動化生産ラインの確立
317	株式会社 和田助製作所	力覚センサー付きパフ研磨機の開発による金属器物の研磨技術の高度化
318	タカハシダイカスト 株式会社	薄肉胴長形状のダイカスト製品の開発
319	バンブートライ 株式会社	車載メーターヘッドアップディスプレイに使用する肉厚レンズの成形条件の試作開発
320	三宝産業 株式会社	レーザー溶接機の導入によるステンレス器物の高品位化
321	有限会社 エムアイ技研	「金型設計・試作一体化による海外市場等への提案型供給強化事業」
322	株式会社 トーエイ	製缶・筐体等の生産プロセスにおける機械加工部門の強化と生産性向上
323	田上化工 株式会社	プラスチック射出成形の短納期化を実現する生産管理システムの構築
324	有限会社 ユー・アイ	工程数を減らし、より高気密で安全性が高い新型ガスコックの試作
325	株式会社 犀潟鉄工所	熱交換機用配管材の軽量化、高機能化を目的としたアルミニウム精密異形管の開発
326	株式会社 常盤製作所	耐摩耗性強化型クラッチドラムの試作開発
327	山崎醸造 株式会社	米こうじを使用した新規甘味調味料の開発
328	有限会社 テクノプレート	マシニングセンターによる新生産システムの構築
329	株式会社 エトーメッシュ	異形線を用いた野球審判用及び捕手用の頭部保護マスクの開発

No	申請者名称	事業計画
330	株式会社 セキネ	3Dプリンタ導入による新規事業への参入
331	ナカヤマ紙工 株式会社	紙器の打抜き技術を標準化し、地域の印刷・紙器加工・デザイン・防災関連業界に貢献する
332	新潟中央水産市場 株式会社	新潟特産の魚及び未利用雑魚等を使用した魚醤油の効率的生産と、この魚醤油を利用する水産加工品の開発
333	マッシュトレディング 株式会社	量産型発酵ミキサーの導入と生産工程の改善による「茸栽培用菌床の高効率・低コスト生産」の実現
334	アドバンエンジ 株式会社	流体解析を用いた新型焼成炉の開発
335	株式会社 天朝閣	新潟県産コシヒカリを使用しビール発酵技術を活用したクラフトビール製造販売の拡大化
336	熊倉シャーリング 有限会社	ユニットハウスフレームの短納期化による全工程内製化の実現
337	越後製菓 株式会社	-22℃までの低温域における生体材料の保存に特化した高圧装置の開発
338	株式会社 玉川堂	銅へら絞り技法を活かした銅製ワイングラス開発事業
339	株式会社 ニシヒロ	介護用リラクゼーション入浴装置の、板金接合技術改革による開発・試作
340	株式会社 大泉物産	3Dプリンターとステンレス加工技術を合わせ、臓器外科手術器具を試作開発
341	昭栄印刷 株式会社	速乾印刷技術の確立による出版印刷物の短納期化

# 平成25年度 採択事業者一覧

※平成25年度採択時の申請内容で掲載しています。

No	申請者名称	事業計画
1	株式会社 足立製作所	小ロット多品種生産に対応したハイブリッドドライブベンダーの導入
2	株式会社 野水機械製作所	タービンブレード研磨機の製品化のための加工機導入
3	株式会社 三好	CNC立旋盤導入による生産性向上と作業環境の改善
4	株式会社 中央製版	抜型製作の内製化による、「超」短納期対応の実現
5	株式会社 有本製作所	金型温度調整による絞り成型の安定化と省工程化
6	トップ工業 株式会社	最先端ワイヤー放電加工機導入による医療用工具の開発
7	ウエノテックス 株式会社	最新式大型三次元測定機の導入による航空・宇宙産業に向けた品質保証体制の確立
8	田中工業 株式会社	鋼構造物施工の工期超短縮化を目的とした、製品内製化システムの開発
9	宮本警報器 株式会社	自動車用電子ブザーのチップ化および鉛フリー化品を実現するための量産ラインの確立
10	株式会社 スリーピークス技研	ベンチ類の精密加工による品質安定化及び生産コストの削減
11	明和工業 株式会社	橋梁・水管橋の耐震化部品の生産能力向上事業
12	八千穂	Y軸CNC旋盤導入と技能者養成による複雑形状への精密加工対応力と事業基盤の強化
13	丸正ニットファクトリー 株式会社	ニット業界専門の3D機能搭載の最新アプリケーションソフト「APEX3」でのシュミレーションと立体画像活用による、生産効率及び、新製品開発力の向上計画
14	有限会社 カトウウエルド	ステンレス製業務用厨房機器の溶接加工生産プロセスの合理化
15	有限会社 小林鐵工所	NC横中くり機を用いた横中くり切削加工の高度化事業
16	新和メッキ工業 株式会社	環境配慮型非鉄金属洗浄プロセスの導入
17	イオカ電子 株式会社	異物監視装置
18	株式会社 ミツワ	業務用大型連続式洗濯機の運用コストを削減する粉洗剤投入機の開発
19	丸越工業 株式会社	端曲げ機構付3本ロール加工機とR曲げ用特殊金型導入等による曲面加工の高精度・高効率化の実現
20	株式会社 エビス	気泡管の内面スクリーンインキ充填
21	株式会社 オーシーエス	“日帰り温泉”の利便性を追求し、温浴市場活性化と事業拡大のためのソフト開発
22	株式会社 カドクラ	高能率5軸複合加工機によるチタン製医療用部材の精度向上と合理化を目指す
23	シンコー 株式会社	高機能血液検査装置向けサファイア光学セル部品の製造技術開発
24	株式会社 トライトック	木工内装材向け加飾用途のためのインクジェット印刷装置の開発
25	ミズボ 株式会社	高効率研削技術を応用したカスタムメイド人工股関節手術用器械の試作・開発
26	柏陽鋼機 株式会社	加工技術・作業効率向上と短納期による顧客満足を図る複合機導入事業
27	株式会社 田邊	三次元測定スキャナーの導入による手作業では不可能な複雑で精密な図面と製品の開発
28	株式会社 ヘルツ	福祉・セキュリティに有効な画像処理式人感センサーの開発とその応用
29	株式会社 シンドー	トンネル工事に於けるあと施工を可能にするアンカーの開発・製造
30	株式会社 アイ・シイ・エス	熱処理前洗浄工程の効率化による新分野製品の受注拡大
31	株式会社 小林精密	注射液など液体医薬品製造用バルブの開発
32	新生電子 株式会社	防災対応、雨量測定データロガーシステムの開発
33	藤中工業 株式会社	「5面加工門形マシニングセンタ」の導入による高品質・低コストな大型形状部品加工の内製化及び新発想フレームの製品化
34	ダイトゴム 株式会社	防振ゴム動特性試験機導入による品質保証体制強化と信頼性の向上による販路拡大
35	株式会社 渡邊製作所	蒸気タービンに使用するタービンブレードの加工高効率化（バフ研磨の効率化）に伴う試作開発・短納期のニーズに対応可能な体制を構築する。
36	佐渡精密 株式会社	医療用内視鏡の機能向上に対応する同先端部品加工体制の革新
37	株式会社 清水金型製作所	医療・新エネルギー・新素材への挑戦 ～新しい金型生産システムの構築～
38	野水金型製作所	自動車エンジンピストン金型の工期短縮・高品質化製造技術の開発
39	株式会社 サイカワ	医療用ワイヤー伸線加工技術開発
40	株式会社 品銀鉄工所	収益性改善および受注力拡大を目的とした、レーザー加工機導入による生産性向上化事業
41	吉川化工 株式会社	低コスト・高精度・短納期対応を実現する鋳造模型の開発
42	有限会社 毛利製作所	立体加工部品のコスト削減による生産を実施し、航空・医療産業の販路拡大を図る
43	株式会社 河井工業	最先端サーボプレス機導入による太陽光パネル取付け金具の試作開発
44	有限会社 野村木工所	NCポーリングマシン導入による低コスト化、短納期化対応可能な高精度な加工システムの構築
45	株式会社 吉崎製作所	最先端小型マシニングセンター導入による自動車部品の試作開発

No	申請者名称	事業計画
46	株式会社 青海製作所	次世代自動車部品の試作開発における高度化と低コスト化
47	外山工業 株式会社	中型収納庫を開発するため最先端材料自動供給機を導入
48	有限会社 石田製作所	板バネ材料特有のスプリングバックをミクロンで調整し、曲げの角度の調整レスの実現
49	フジコーポレーション 株式会社	日本初の革新的プレス工法で、環境機器の効率を向上し、世界へ事業展開
50	株式会社 犀潟鉄工所	OA機器市場向け次世代型高精度ローラー材の開発と生産システムの構築
51	株式会社 A-TRAD	自動車用難削材ダイカスト金型の高速加工及び納期短縮の実現
52	株式会社 テクノアイ	フッ化物焼結体の新たな用途開発に関わる設備投資と試作試験
53	新潟潜水興業 株式会社	水中溶接・切断における潜水士安全支援システムの開発
54	株式会社 高秋化学	オリジナル抗菌インクで印刷加工した抗菌繊維製品の開発
55	和田ステンレス工業 株式会社	高精度サーボ油圧プレスを導入し、血液分析装置の保冷用容器を試作開発する
56	株式会社 明精工業	NC円筒研削盤の導入による長尺シャフト研削加工の高精度化
57	JASPA 株式会社	航空機部品の効率的な一貫生産を実現するためのシステム導入
58	有限会社 樹谷鉄工所	ポータブル3次元測定器導入による新規受注の獲得と品質管理の向上
59	光正 株式会社	マイクロームホルダーの開発と生産工程の合理化
60	株式会社 アサヒ	異素材を融合させた新商品開発及び、自動研磨装置開発・導入による受注数量拡大と、新規雇用による研磨技術継承
61	株式会社 三島屋楽器店	和楽器製造工程の高度化事業
62	株式会社 カエリヤマ	複雑形状成型品（海外製）を少量切削にて生産代替する体制の確立
63	スワロー工業 株式会社	太陽光パネル架台金具の増産と傾斜架台の開発試作
64	ジェイ・ティ・メタル 株式会社	レーザー溶接機導入による顧客満足度向上及びデザイン性に優れたオリジナルチタンチェーン開発
65	株式会社 共栄鍛工所	医療用インプラント骨端プレートの開発
66	株式会社 ウチダ和漢薬	健康食品の原料素材の供給による新分野への販路拡大
67	サンアロー化成 株式会社	デザイン性の改善による人との親和性の高い革新的な部品の開発
68	ナシモト工業 株式会社	ワイヤー放電加工機導入による健康・医療分野向け新機構精密ハンドツール及び遠隔操作ハンドルの複合精密加工コンパクト製造ラインの構築
69	株式会社 石鋸工業	鋸ユーザーニーズの多様化に応える、自動目立て機導入によるシリーズ開発推進
70	高山工業 株式会社	地ビール製造業者用の小型で耐久性に優れたタンクの開発事業
71	有限会社 村山鍛造所	効率化・材料費削減をめざして。密閉鍛造に挑戦！
72	新潟クオリティサプライ 株式会社	車載用プリント基板HV・PHV・FCVに求められる高電圧大電流対応永久絶縁塗膜の形成試作事業
73	株式会社 サンカ	3Dプリンタ導入による、製品開発期間の短縮および新機構製品の開発強化
74	石山味噌醤油 株式会社	無塩大豆発酵食品（無塩味噌）の量産を実現する為の設備投資計画
75	株式会社 山幸鉄工	高精度角度（傾斜）切断機を導入して、切断精度と生産性を向上させる
76	株式会社 大成	切断過納寸法の延長及び寸法精度向上のためのアルミ削材高速切断機導入
77	株式会社 小林硝子	多機能・短サイクル化に適応する建築用ガラスフィルム施工システムの構築
78	株式会社 テーエム	研磨機導入による高級黒染めステンレスピアカップの開発
79	株式会社 オグロ	複雑化する部品形状に対応するための生産技術の確立
80	株式会社 エスシービー	ファイバーレーザー複合マシンの導入にて新規事業参入・大量受注の実現
81	三條金属 株式会社	超高速留り・高生産性の次世代型消失模型鋳造法の開発
82	株式会社 栄工舎	航空機製造に用いる複合形状工具（多段パイロットリマー）の円筒研磨作業を迅速化する
83	株式会社 石高精工	次世代型高精度CNC旋盤の導入による多品種小ロット品の受注拡大
84	有限会社 高坂鉄工所	最新式高性能NC旋盤の導入による増産・短納期対応の強化
85	株式会社 ヤマテック	工作機械（マシニングセンタ）と3次元測定器導入による曲面等多角度方向への加工の効率化と高精度化
86	株式会社 WINPRO	パーティカル型の小型（20Kw級）風力発電機の開発・実証試験の実施
87	有限会社 トライワーク	3次元CAD/CAMを駆使したモーター巻線機向け曲面加工の合理化と高精度化
88	株式会社 サンシン	ボールネジ軸ボール溝の面精度向上を図るテーブ研磨試作装置
89	有限会社 山崎抜型	高精度マシニングセンター導入による抜型の高精度・高寿命化の確立
90	有限会社 木原製作所	テール付き機械導入で精密・安全なシャンク付き角取製品技術の強化
91	株式会社 ミウラ	原発設備等での仕様基準を満たす高品質鋳物の製作に挑戦し新市場開拓を図る
92	柏崎ユーエステック 株式会社	ペット医療市場向け高機能（洗浄/脱臭/除菌）オゾン水発生ユニットの開発

No	申請者名称	事業計画
93	株式会社 ヤマキ食品	従来の黄色い沢庵との差別化を実現する為、大型冷凍機導入による白色沢庵の開発
94	株式会社 青芳製作所	特殊印刷による名入れやデザイン加工付加価値を加えた福祉用商品開発
95	株式会社 山泰製作所	5軸加工機によるコージェネレーションシステム部品の高精度化
96	株式会社 大原鉄工所	下水汚泥との混合嫌気性消化における多種バイオマスの前処理技術開発事業
97	株式会社 セブン・セブン <b>p.14</b>	水筒の内瓶等を製造する液圧プレス機とネッキングマシンの導入による新工法の確立
98	株式会社 レリエンス	乳がん患者さんの生活の質向上を目指した安価で長時間装着も快適な人工乳房開発
99	株式会社 エヌエスアイ	コンビニ向けデジタルサイネージと、そのコンテンツ表示プログラムの開発・提供
100	有限会社 新潟電機製作所	基板工程の自動化による、検査工程の向上、生産工程の省力化、競争力の強化の推進
101	株式会社 エステー工事	液状化対策を重視した砕石工法を用いた、住宅全体の環境対応サービスの提供
102	株式会社 ティーケーネットサービス	ワークライフバランス実現のための通信基盤統合ソリューション開発
103	株式会社 諸長	低温・低圧精米機導入による精米製品の向上と販路拡大
104	株式会社 MILLS	高齢化社会に対応したCRMシステムの導入による顧客維持活動の展開について
105	株式会社 ソリマチ技研サポートセンター	介護ヘルパーサービスの質的向上を支援するモバイル端末アプリの試作開発
106	株式会社 三雄工芸	ブライダルジュエリーの販売を全国展開するための三次元データを活用した革新的デザイン提案の開発
107	有限会社 銀座堂	高齢者ひとりひとりに寄り添ったクラウド型の生活見守り支援事業
108	株式会社 セキュリティリサイクル研究所	契約書管理業務を革新する、クラウド&サービス連動型契約書管理ソリューション
109	株式会社 ウイング	素人でも業務システムが生成できるソフトウェアの開発
110	株式会社 ジェー・シー・エスコンピュータ・サービス <b>p.20</b>	システム構築のカスタマイズを低コスト・短納期で実現する「販売管理システム」の開発
111	有限会社 ナガオカ工販	ライフライン自立型水洗式トイレシステムの開発
112	株式会社 飯塚鉄工所	シェール液化ガス用クライオポンプ重要部品の低コスト高精度化生産
113	株式会社 ハセテック	パイプ加工ライン自動化による新しい生産工程の確立
114	株式会社 青柳	特許技法『櫛引織り』を活用した新商品の開発及び、社内ワンストップ化への設備投資
115	有限会社 RK	洋食器の仕上げ業者の激減に対処する回転式自動研磨システムの開発
116	株式会社 カワイ精工	水処理用FRP圧力容器に使用する熱可塑樹脂製補助部材の開発と事業展開の改革
117	株式会社 タカトニット	超細糸用最新鋭編機導入による、薄く軽い配色柄立体柄新商品開発事業
118	株式会社 大倉製作所	薄板のステンレス溶接における高精度・高速・安定供給システムの開発
119	有限会社 アイエスマック	膨張式緊急脱出シュート用の圧縮気体供給装置の開発
120	株式会社 山之内製作所	医療機器の低侵襲化に対応するための設備導入及び試作
121	栄通信工業 株式会社	特殊操作レバーツマミ付ジョイスティックコントローラの高効率切削加工
122	株式会社 アクアデザインアmano	水草の温室における生産環境調整技術の導入による生産効率化事業
123	株式会社 阿部製作所	ワンタッチ接合可能な高性能配管継手の試作開発
124	下村企販 株式会社	3Dプリンター導入による安全な家庭用調理器開発データの蓄積と試作開発体制の強化
125	株式会社 ツノダ	次世代型爪切りの製作
126	株式会社 松浦製作所	高品質な曲げ加工を変種変量短納期対応で実現する高性能ベンディングマシンの導入
127	有限会社 阿部鐵工所	難削材等の「複雑精密加工」に対応する効率的生産方法の確立
128	株式会社 エステーリンク	バリ取り加工における面形状解析プロセスの構築
129	有限会社 今井技巧	ラッピングマシン新型ユニット導入による大型金属鏡面加工の高度化
130	株式会社 ナンバ	フロン漏えいの現状に歯止めをかけるフロン液面管理技術の開発
131	新潟三吉工業 株式会社	プレス加工による燃料電池用シール箔膜板の試作開発
132	株式会社 シンターランド	放電プラズマ焼結技術（SPS）用新素材焼結金型の開発
133	有限会社 テクノラバー	低摩擦抵抗の特殊ゴム材料による超精密パッキンの製造と品質向上
134	下村工業 株式会社	包丁加工に於ける目通し加工の手作業から機械化による品質向上とコストダウン
135	株式会社 野島製作所	プレス成型シミュレーションソフトによる原価低減
136	株式会社 サンエコー	航空機内装品増産計画達成の為に高精度・高速度ネットワーク対応の機械導入による製造プロセスの強化
137	大東産業 株式会社	YAGレーザー溶接機の導入による、ステンレス材の薄板溶接とコスト削減
138	東洋シャフト 株式会社	半導体製造装置向け小型複雑形状部品の測定迅速化かつ高精度測定技術の確立
139	株式会社 メデック	ブレードレス・ミキサーの試験装置 及び応用攪拌装置の試作開発

No	申請者名称	事業計画
140	有限会社 斎藤精機	切削加工技術を活用したニッチ市場（粉末冶金用金型の修理）への新規参入
141	株式会社 松平鋳工所	フラン自硬性砂回収設備更新による生産環境の改善及び廃棄ロス削減
142	株式会社 ASABA	高融点合金（Ni、Co、Pt等の合金）の連続鋳造技術開発
143	株式会社 磯部ハイテック	大型ロータリーテーブルの開発によるガスタービンエンジン部品の試作開発
144	シマト工業 株式会社	小型風力発電から他の再生可能エネルギー分野への展開
145	hakkai 株式会社	世界初の材料乾燥機レスの量産成形現場の構築
146	有限会社 フィロソフィー	金型製作における高精度技術・短納期化の為に測定装置導入
147	サトウ産業 株式会社	在庫及びロス低減と食の安心安全を実現する為の生産システムの導入
148	有限会社 かんずり	かんずり製造の生産プロセス強化による高品質商品の製造
149	株式会社 欧州ぶどう栽培研究所	脱酸素充填によるフレッシュワイン製造
150	株式会社 長谷川工業所	サーボプレス機導入による非住宅屋根金物部材の高性能製品の生産及び製品コストの削減
151	株式会社 矢島鉄工所	最新型先加工機導入による建築鉄骨・耐震補強鉄骨の生産効率化
152	株式会社 三条工機製作所	デジタル電動サーボプレスによるプレス製品の高精度加工と生産工程の合理化
153	株式会社 小嶋屋総本店	そば殻由来の燃料「バイオコークス」の開発販売による地域資源循環型ビジネスモデルの確立
154	株式会社 加藤製作所	高速高精度マシニングセンター導入による部品加工市場におけるニーズの対応強化
155	株式会社 オオヤマテック	高性能マシニングセンタ導入による熱交換器部品の難削材加工技術の向上とチタンによる成長戦略の実現
156	相久塗装 株式会社	静電塗装機器の導入による低コスト化、処理能力向上、塗装の品質向上の実現
157	オチヤセイキ 株式会社	CNC精密自動旋盤の導入による生産能力アップ及びコストダウンによる製品競争力の強化
158	株式会社 山本製作所	建築物の耐震・免震構造化に適応する鉄骨製作システムの構築
159	株式会社 サンバックシステム	多品種・小ロット生産の生産性向上を目的とする汎用性を高めた特注包装機の開発
160	株式会社 プレテック・エヌ	3次元CAD/CAM導入による生産効率の向上及び新加工技術習得
161	協和工業 株式会社	選別機製造に精密加工技術を最大限に活用する為の専用3次元CAD/CAM導入計画
162	有限会社 萩野鉄工所	中国に負けないものづくりのための研削工程の高精度・高能率化
163	株式会社 坂爪製作所	生産工程の見直しと自動ライン導入による、労働生産性及び労働環境の改善を目指す
164	株式会社 石坂木工所	自動位置決め切断加工機導入による切断作業の高度化
165	有限会社 田沢製作所	次世代オーラルケア製品開発の為に射出成型技術の確立
166	株式会社 笠原成形所	医療用内視鏡部品に特化した生産体制の構築
167	有限会社 ランドマーク	精密部品の品質向上と立体加工への挑戦
168	小柳機工 株式会社	多工程同時加工機導入による難削材加工技術の確立と同業界参入
169	ハル電子 株式会社	磁気シールドシート貼り合せ機の開発及び量産化
170	株式会社 大菱計器製作所	プロセスイノベーションを実現する新設備の導入
171	有限会社 井出計器	PCタブレットを用いた医療機器製造向けネジ締めロボットの開発
172	有限会社 エーデルワイス工芸社	節句市場での業界に先駆けた短期サンプル開発方式の導入によるシェア拡大
173	株式会社 新和測量設計事務所	橋台・橋脚・堤防の基部における洗掘状況調査システムの試作開発
174	有限会社 上野鉄工所	主軸移動型五軸複合自動旋盤による金型部品の高精度化と工程削減を行う
175	株式会社 澁木プレス	「サーボ油圧プレス機」導入による技術応用力確立、量産・短納期化の実現
176	有限会社 フナックス	ワイヤー放電加工機導入による社内一体生産方式の確立と事業拡大
177	株式会社 新和製作所	高速切削加工による、耐環境性に優れた低価格精密薄肉ケースの試作品の開発
178	株式会社 北星製作所	レーザ複合加工機によるコストダウンと非鉄素材切断加工の取組み
179	株式会社 イイキ	光学式自動外観検査装置の導入による高レベル検査工程の確立
180	高桑金属 株式会社	3次元レーザーマーカ導入による洋食器への高難度模様・印字加工の実現
181	株式会社 モリチュウ	造型ラインと接種の自動化による小ロット・短納期・不良率低減技術の開発
182	株式会社 ワタナベ	高難度折曲加工を可能にするプレスブレーキ導入による生産能力倍増計画
183	株式会社 三和工機	CNC旋盤とCAD/CAM導入によるソーラーパネル向けRVベアリングケースの開発とライン化
184	株式会社 ミューテック	CNC三次元座標測定機の導入に伴う短納期・高品質・低コスト化への対応
185	株式会社 山忠	顧客満足度の高度化を促す国産初の編機開発と新商品開発
186	株式会社 阿部プリント基板	自然エネルギー、次世代自動車、及びパワーエレクトロニクス分野へ進出の為に、新規工法を導入し生産プロセスの改善を図る

No	申請者名称	事業計画
187	株式会社 ウチヤマ	スノーボード生産における海外メーカーとの競争力強化
188	有限会社 関根鉄工所	精密微細加工による医療機器の製造技術開発
189	株式会社 島田溶接	TIG自動溶接機を活用した大型パイプ溶接の高精度化・高速化・見える化事業
190	三星工業 株式会社	炭素繊維複合材料向けの高機能高精度なパイプ切断機の開発
191	株式会社 バイオテックジャパン	高含水米飯製造技術を応用した低カロリー・低GI包装米飯の試作開発
192	有限会社 ユー・アイ工業	真鍮小型サイズの内径六角ボルト品の試作から量産化へ市場開拓を。
193	ケイセイ医科工業 株式会社	MPCポリマーを用いた外科用縫合材料の開発
194	株式会社 ワタヨ	表面粗さ測定機能付きの形状測定器導入計画
195	有限会社 中越キカイ	横中ぐりフライス盤導入による小物加工から大物加工までのワンストップ対応
196	タンレイ工業 株式会社	高品質連続調質設備の導入による油井管継手の加工精度向上及び生産コスト削減
197	ハイブリッドシステム 株式会社	高齢者向けのカメラ付き見守り用ウェアラブル端末の開発
198	株式会社 アサヒプレジジョン	CNC精密自動旋盤を用いて医療機器部品の短納期、低コスト化の実現。
199	川上工業 株式会社	発展途上国の自動車用電球市場を獲得するため、自動キャッピング機導入による製造効率改善に伴う短納期化の実現
200	ストーリーオ 株式会社	簡易CNCマシンを並列制御することによる低コスト切削加工システムの開発
201	株式会社 越のむらさき	高付加価値製品「品質劣化を防ぎ鮮度保持できるボトルを使った醤油」の製造。
202	株式会社 プランニング瑞穂	日本製縫製品を対象とした高速印刷による企業名等の実装技術の開発
203	株式会社 三進製作所	自社専用生産管理システム導入によるリードタイム短縮及び原価低減
204	合資会社 福島木型製作所	3Dスキャナ導入による計測技術の高度化と高精度木型の試作開発
205	有限会社 桑野工業	大型重量物の溶接自動化を目指すための設備複合運用システム確立
206	株式会社 中野科学	医療分野の需要に合致するチタン電解研磨の実用化
207	株式会社 IPM	自動車用LEDヘッドライトレンズ金型の高精度加工及び納期短縮の実現
208	有限会社 南条精機	薬液輸送ポンプ部品の高効率切削加工技術の確立
209	株式会社 ハシモト	細胞培養装置CO <sub>2</sub> インキュベータの内装抗菌パネルの開発
210	株式会社 城川道路	循環型バイオマス資源再生事業計画《伐採木の再利用により、木質ペレットを成形し、バイオマスエネルギーを創出する。》
211	株式会社 佐野金型製作所	精密放電加工機導入による短納期・低コストでの微細精密金型の開発
212	有限会社 西山工機	ツールプリセッタ導入による医薬品フィルム包装機械向け部品加工の効率化
213	株式会社 タカハシ	板金曲げ加工における熟練技術を数値化し多品種少量生産を合理化する取り組み
214	興和電子 工業株式会社	トランス巻線におけるボビン自動供給設備の導入
215	有限会社 ストカ	材料自動供給機導入によるコンパクター部品の工程集約計画
216	株式会社 クリエイティブ・エンジニアリング	ロボット溶接機導入による高品位な製品の提供及び諸外国に負けない競争力の確保。
217	株式会社 シンワ歯研	デジタル技術活用による安心安全なインプラント治療の支援事業
218	エフ・ピー・パッケージ 株式会社	紙パッケージ製作におけるワンストップサービス実現のためのグルアー加工設備計画
219	株式会社 関芳	洋装服地プリントと、伝統的な和装友禅染めを主体とする染色製造ラインの新たな高品位、高効率染色法の開発
220	株式会社 有本電器製作所	CNC三次元測定機の導入による船舶用エンジン流体継手の高精度測定
221	ニイガタ機械 株式会社	シングル段取りが出来る、画期的な鍛造金型固定用コッターの開発
222	相栄産業 株式会社	高精度解析ソフトと3次元CAD/CAM導入によるプレス金型製作工程の合理化
223	共栄テック 株式会社	光学素子金型に対する回折（虹目）を抑制するハンドラップ工法の機器開発
224	株式会社 桑野製作所	NCハイブリッドドライブベンダーの導入による板金加工工程の合理化
225	株式会社 第一印刷所	安価で使い勝手のよい情報秘匿シールの汎用化（小ロット対応）事業
226	株式会社 吉則螺子製作所	CNC旋盤加工による冷間圧造用工具の製作プロセス刷新
227	株式会社 宇都宮製作所	航空機用刃具・三ツ溝コアドリルの高精度自動化製造技術の確立
228	有限会社 佐藤ネジ製作所	住宅用新型耐震接合金具開発に伴う特殊部品の開発および量産化
229	株式会社 片貝製作所	鋳物仕上げの機械化によるコスト削減・品質向上・作業環境改善
230	株式会社 増子	消費者ニーズに対応した薄切り沢庵真空パック製品の開発
231	株式会社 高儀	カーブソー加工機の導入による国内外向けのカーブソーの開発・製造販売
232	株式会社 小林製作所	特殊刃物の内製化による省力化と加工精度向上の為のワイヤ放電加工機の導入

No	申請者名称	事業計画
233	株式会社 ライン放電	新鋭放電加工機の導入による高品質、高精度、高速加工の実現
234	タカハシダイカスト 株式会社	多面加工ダイカスト製品製作における高能率化および作業平準化の実現
235	三基物産 株式会社	試作開発品塗装の色調合短納期化
236	有限会社 サイフク	異ゲージ風ニット作成の技術開発による販路拡大事業
237	株式会社 大泉物産	手術用医療機器をカスタマイズする事と小ロット生産技術の確立を図る。
238	株式会社 エヌプラス	遊休施設と温泉とバイオマスボイラーを活用した県内初の陸上トラフグ養殖・加工・販売事業の開発
239	山信織物 株式会社	エアジェットルーム織機の導入、活用による新規高付加価値織物の製造
240	株式会社 内野精工	医療機器向け精密加工部品のフレキシブル販売生産管理システム構築による即納体制とトレーサビリティ管理 体制の確立
241	有限会社 イワセ	切削液腐敗防止装置を改良し他分野への転用を可能とする為の試作開発
242	株式会社 テクノスコープ	非破壊検査に必要なトンネル内等の巨大画像用記録装置と省エネ照明装置の開発
243	株式会社 川崎製作所	最先端形彫放電加工機導入による自動車部品用の冷間鍛造金型の試作開発
244	有限会社 オーエム精機	医療機器部品の試作開発・加工における高精度・高能率化体制の構築
245	藤寅工業 株式会社	庖丁の切れ味数値化システムの開発
246	株式会社 イートラスト	完全独立クラウド型カメラ監視システムサービスの開発、試作。
247	共栄エンジニアリング 株式会社	自動車向け大型ポジションランプ導光体金型の生産システム開発
248	株式会社 オオフチ	高速円周（パイプ）溶接の実現による信頼・品質向上への躍進
249	株式会社 殿島	金属プレス加工における「曲げ加工」を利用した新商品開発
250	阿部酒造 株式会社	リキュール商品開発・製造・販売事業
251	開進工業 株式会社	高精度円筒研削盤の活用による、高精度ばね用ステンレス鋼の技術開発。
252	ウインテクノロジー 株式会社	最新ワイヤ放電加工機導入による、アルミ缶搬送装置製造の納期短縮及び低コスト化の実現
253	株式会社 あさひ測量設計事務所	3Dレーザースキャナーの導入による受注拡大と省力化
254	株式会社 山村製作所	設備増設による量産型理美容鏡の開発
255	株式会社 イデアル	微生物による赤身肉熟成を施した新たな新潟ブランド牛の展開事業
256	セイデンテクノ 株式会社	宇宙機器向け、インバータ向け、高精度な電流検出用抵抗器開発プロセスの改善
257	株式会社 プレスメディア	顧客への情報発信支援のための印刷サプライチェーン情報共有システムの構築
258	株式会社 マツウラセイキ	医療内視鏡検査装置用処置具挿入部部品の高速加工及び高効率化による納期短縮の実現
259	IMTエンジニアリング 株式会社	市場のニーズに対応可能な凍結機の導入による販路拡大
260	株式会社 浅野製作所	高精度・高剛性マシニングセンター導入による、ダイカスト金型製作の高効率化
261	プリンス工業 株式会社	サーボプレス技術を駆使したNニッパーの開発
262	有限会社 TGテクニカ	災害時救命物資配布に関するソーラー発電街路灯の応用とシステム開発
263	株式会社 新野屋	新型蒸練機導入による市場ニーズに応える商品づくり。
264	株式会社 津南油圧	『既存の高層ビル』の耐震化に伴う制震ダンパ需要増への対応
265	株式会社 三尾プレジジョン	制震ダンパ用ピストンロット需要増への対応
266	有限会社 長沢溶接	2軸ポジションナーユニット導入で複雑形状薄肉部品の低歪溶接技術開発
267	有限会社 新興運輸	ディーゼルエンジンへの燃焼促進効果を持つ混合気体噴流装置の開発
268	株式会社 エリート	電話やネットが使え、画像認識が装備されたバーコードリーダとRFIDリーダライタの開発
269	株式会社 木戸製本所	小ロット多品種生産に対応するデジタル印刷対応デジタル製本ラインの導入
270	株式会社 アヅマテクノス	高精度・高機能CNC画像測定機の精度点検業務（現地校正）にチャレンジ
271	株式会社 GreatCompany	新潟県産畜産物を活用した中食向け商品開発及び販路拡大
272	株式会社 コーベック	クラウド*による製品カタログ管理と受発注管理システムの構築 ※クラウドとはインターネット上のデータサーバーのこと
273	株式会社 ホソヤマ	農業機械販売・修理業の取引農家との連携による農産品加工・販売分野への新規事業展開
274	taneCREATIVE 株式会社	ホワイトハットSEOとクラウド技術による、地域共生型マッチングサービスの開発
275	新潟メタリコン工業 株式会社	航空機産業参入に際しての品質向上のための表面及び断面の観察強化
276	株式会社 リバージエレクト	サーバーデータ編集ソフト導入によるプリント基板短納期試作サービスの開発
277	燕三条イタリアンBit	新潟・燕三条が世界に誇る 食材・食器・調理器具を連携させた体験型産業観光サービスの開発
278	有限会社 藤次郎	地場産農産物の一次加工と小ロットでの缶詰・レトルト加工設備の導入
279	株式会社 中越加工	高付加価値型家具の設計にCAD/CAMソフトを導入し納期の大幅短縮と提案形態の革新を図る

No	申請者名称	事業計画
280	株式会社 宮野食品工業所	急速冷凍による新しい餅菓子製造技術の確立と普及拡大
281	株式会社 北雪酒造	ジェット気泡洗米システムの新規導入により究極の洗米から高品質な日本酒の製造
282	本間冬治工業 株式会社	エアブラスト機の導入による食品加工メーカー向けステンレス製大型タンクの開発及び量産化
283	株式会社 シンテック	革新的生産管理システムの構築による、進捗把握と事務の合理化
284	皆川農器製造 株式会社	大型NC施盤の導入によりGPS仕様の先端農業機械分野への参入
285	ヤナドリ鋼鉄 株式会社	立体的薄肉スモールパイプ溶接のロボット化・医療用架台への取組
286	株式会社 柿崎機械	難削材チタン合金、インコネル加工による「航空 宇宙」分野参入
287	株式会社 シーキューブ	3次元スキャニング・データ作成・立体造形の画期的複合サービスの確立計画
288	株式会社 東海鉄工所	難切削材金型の大型化・複雑化対応に伴う高精度高速加工の実現
289	有限会社 奈良工房	高精度板部材加工機導入による高級かつ低コスト家具製造システムの開発
290	株式会社 ウィザップ	印刷物の原稿入稿や校正作業をITにより効率化し、印刷物提供納期を短縮する事業
291	マコー 株式会社	ウェットプラストによる超高張力鋼板酸化皮膜除去需要の創出
292	株式会社 加藤研削工業	「切削工具・機械刃物の表面処理による工具性能の向上」
293	株式会社 オスカーク技研	5面6軸マシニングセンター導入による特殊ゴム金型製作の高度化
294	斎藤樹脂工業 株式会社	電動サーボ式射出成型機導入と成型技術の高度化によるPBT製品生産体制の構築
295	新アンシ 株式会社	高精度画像寸法測定器導入によるコイル巻線の品質向上・短納期化・生産性向上の実現
296	株式会社 サトウレーヌ	頭からつま先までの、全身をファッションブルにする商品提案力の開発
297	東商技研工業 株式会社	特殊バレル研磨機開発によるストッピング先端バリ除去の効率アップとコストダウンの実現
298	株式会社 東京ロストワックス工業	航空機及び発電用ガスタービン用高精度大型精密鋳造品の製造
299	株式会社 アセック	新しい研磨工程導入による航空機エンジン用微細部品生産の競争力強化
300	有限会社 藤巻製作所	NC円筒研削盤の導入による長尺スピンドルシャフトの高精度化及び生産性の向上
301	丸慶精機工業 株式会社	大型円筒研削盤導入と高精度・高品質安定供給のための試作研究開発による競争力強化
302	片山食品 株式会社	味の数値化技術による漬物の開発の高度化（高品質化）
303	有限会社 新潟バック	非石油系プラスチックを使用した環境配慮型シート成形品の量産化計画
304	株式会社 シナノ精機	小口径用枚葉式ウェハー洗浄装置の開発及びテモルームの設置
305	株式会社 ルーブラ	航空機および次世代自動車部品向け金型の技術課題の解決と高品位化による競争力の強化
306	株式会社 遠藤製作所	新熱処理技術を用いた疲労強度増加による薄肉チタン合金製クリップ鉗子の開発。
307	有限会社 澁木プレス工業所	チタン製2重マグカップの開発
308	株式会社 飛鳥フーズ	イカ肝の新商品開発による廃棄物の有効利用の事業化
309	木原精機 株式会社	高精度研削部品加工分野への新規参入にて競争力アップを狙う。
310	有限会社 若月鉄工所	最新設備導入による旋盤品2次加工の生産能力向上と競争力の強化
311	株式会社 ナノテム	ラッピング作業の3K（汚い・危険・きつい）改善のための自動化システムの開発
312	株式会社 マツイフーズ	堅型袋詰真空包装機導入による小量包装製品の開発と生産ラインの構築
313	ハガセイコー 株式会社	伝統工芸品の高級断ち切りバサミ部品の属人的作業からNC自動化への継承計画
314	株式会社 浅田精機	高精度三次元測定機の導入による超精密部品加工の品質保証体制の確立と受注獲得
315	有限会社 中村鉄工所	設備導入によるエネルギープラント向け金属製品の生産能力向上事業
316	サーモ技研 株式会社	工場等からの低温排熱利用可能なスターリング発電機の開発
317	有限会社 三井鉄工所	最新式横中線りフライス盤導入による大物部品加工の一貫生産体制強化
318	ゴトー工業 株式会社	複雑形状の天幕加工が可能な3D自動立体裁断システムの開発
319	株式会社 日本容器工業長岡事業所	大・小清酒ビン対応のマルチ型リユースビン製造ライン構築による空ビンリユース率の向上
320	有限会社 イイオカ	三次元測定機の導入による短納期・高精度旋盤加工の実現及び事業拡大
321	旭金属工業 株式会社	製品の競争力の強化及び研磨作業の加工能力増強のための研磨作業の機械化
322	プロスパー 株式会社	医療機器製造販売業への新規参入を目的とした切削加工能力拡大化事業
323	鮎正宗酒造 株式会社	市場拡大に向けての微発泡清酒の製造方法と発酵方法の確立
324	国上精機工業 株式会社	窒素塗装装置と不具合低減システムによる、高意匠塗装品の品質向上と環境負荷低減
325	坂井精機 株式会社	MIM金型磨きレス技術の確立
326	株式会社 アイエムケー	高機能金型製造における低コスト・短納期化への挑戦
327	ナウエス精工 株式会社	医療・食品業界への品質対応と、弊社ボトルネックの改善で短納期化を実現できる設備の導入

No	申請者名称	事業計画
328	YSEC 株式会社	新型航空機エンジン部品の生産効率化に向けた設備導入
329	株式会社 トーエイ	サーバークライアント方式の生産管理システム導入による製造リードタイム短縮とコストダウン、受注拡大の実現
330	株式会社 新潟造形	最新鋭のポリウレタン成形機導入による内照式造形物の新製作工程の確立と受注拡大
331	三宝産業 株式会社	パンチプレスによる"金属ネット"製造の技術向上とその応用新製品の開発
332	山田精工 株式会社	小型ハイブリッド式成形機を活用し、高精度成形品での売上拡大
333	株式会社 小林	諸外国に負けない安定した鋳物製造のための電源装置導入事業
334	高速紙工業 株式会社	印刷装置の印刷色調整の自動制御による小ロット化、短納期化対応
335	土田溶接工業 株式会社	最先端一軸制御装置付溶接ロボット導入による三次元溶接加工技術の構築
336	株式会社 テック・エンジニアリング	製造装置の加工精度向上・製造コスト削減のための大型加工機導入
337	長谷川酒造 株式会社	適性な吸水を実現し高度な原料米処理による上質な吟醸酒の製造
338	相場産業 株式会社	トルクレンチ製造工程における手作業研磨から自動研磨工程への転換計画
339	株式会社 スター精密	高精度・高品質なデジタルカメラ交換レンズ部品製造の製造プロセスの確立。
340	西巻印刷 株式会社	紙器類の精密加工による「形状実現力向上」「高品質安定化」「短納期」「低価格」の実現
341	エヌ・エス・エス 株式会社	高剛性NC旋盤導入によるハードターニング加工で生産性向上を図る。
342	小林樹脂工業 株式会社	縦型射出成形機を導入し「舌ブラシ」の生産効率を高め業績拡大を図る
343	株式会社 SE工業	競争力および収益力強化を目的とした、CNC旋盤導入による旋削加工能力の向上
344	株式会社 オオギ産業	外壁資材成形機投入による新製品の市場確保
345	株式会社 野崎忠五郎商店	薄板鋼板の新切断技術の導入による「ねじれ問題」解決
346	有限会社 遠藤家具	越後杉を使用した学童家具商品化のためのNCボーリングマシン導入
347	株式会社 ダイワメカニック	金属加工製品の多機構ロボット導入による仕上工程自動化の実現
348	有限会社 カトウ鉄工	CNC旋盤導入による、多品種・小ロット化する新型フォークリフト向け鍛造型の試作開発
349	有限会社 カスタムセレクト	高齢者・障がい者の症状の診断に基づいた、後付け介護車両装置取付の施工及び簡略化
350	株式会社 山浦製作	大型CNC旋盤導入による大型バルブへの加工対応と短納期化
351	株式会社 UniBio	「植物由来有用タンパク質生産システム」の開発
352	長岡パワーエレクトロニクス 株式会社	安価な断熱材チャンバーを使用した高精度損失測定装置の開発
353	株式会社 曙産業	中空体成形可能なDSI成形技術を利用したものづくり
354	株式会社 オオイ	クリーンルーム導入によるワンストップ生産体制の更なる強化
355	JPC 株式会社	ハードディスク装置に要求される高品質且つ高精度の部品加工の生産性の向上を図る。
356	株式会社 悠心	汎用性を高めた鮮度保持容器および生産機の開発
357	株式会社 武田金型製作所	マグネシウム成型用順送金型及び、マグネシウム製筐体製品群の開発
358	杉山金属 株式会社	自動ブラストマシン導入による小ロット塗装下地加工省力化
359	カミタルク 株式会社	軽量で高強度のポリプロピレン樹脂に最適なタルク製品化のための設備投資・試作事業
360	富士印刷 株式会社	高付加価値パッケージ受注拡大のための木型製作工程の最適化
361	株式会社 サンアント	CAD/CAMと自動研磨機による歯科補綴物の品質向上、制作時間短縮及び新素材加工実現化
362	株式会社 星野製作所	折曲げ工程における作業の安全性向上と効率化のための追従装置の設備計画
363	田辺プレス 株式会社	金属プレス加工でのサーボプレス機械導入による超精密打抜き技術の開発
364	株式会社 赤堀鉄工所	産業車両市場参入に向けたNC円筒研削盤導入による高精度・短納期化の実現
365	株式会社 高賢	新提案により作業効率がアップするオリジナル溶接用ヘルメットの開発
366	株式会社 オーエムバック	段ボール裁断時の紙粉極少化と精密加工高品質段ボール製品の開発
367	小熊アルゴン	長尺対応溶接ロボットの導入等を通じた社内体制強化による生産性向上
368	長澤精機 株式会社	医療機器部品の量産加工における工程集約の合理化及び低コスト化の実現
369	株式会社 西山カートン	デジタルカッター機と小口製作内製化の為に特注プログラム導入
370	有限会社 グローバル	ELを3Dソフトや設備を使い防犯、防災製品などに組み込み製造し世界市場へ販売する事業
371	株式会社 伊藤金属工業所	多関節3次元測定器導入による品質管理の向上と新規大型部品の獲得
372	有限会社 八子金型工業	金型の高精度化と低コスト化に加え、短納期対応を実現するための高精度加工機の導入
373	ニイガタ製販 株式会社	太陽光パネル取付金具試作開発の為に3Dプリンター導入による競争力の強化
374	福顔酒造 株式会社	酒造仕込み作業の迅速化と社内体制の強化による品質向上を通じた競争力強化

No	申請者名称	事業計画
375	清水工業 株式会社	ステンレス鋼板の段付きシゴキ絞りのCNC三次元測定機による測定の高速度、合理化
376	オーエム機械工業所	太物加工の夜間無人運転における生産倍増・低コスト化による競争力向上
377	株式会社 山崎研磨工業	レーザー溶接機導入による医療機器加工の不良率及びコスト低減の実現
378	有限会社 パートナー	自動縫製機械導入による作業の効率化及び納期短縮の実現
379	第一ニットマーケティング 株式会社	インレー編機の導入によるファクトリーブランドの構築と販路拡大
380	魚沼整染 株式会社	小中ロット対応デジタルプリント用前処理生地の提供
381	有限会社 竹田鉄工所	利益率改善および売上高拡大を目的とした、レーザ加工機導入による生産性向上。
382	光新産業 株式会社	車輛固定用締め機具シャフトの製造工程の合理化、高能率加工の実現
383	藤木鉄工 株式会社	60キロ以上高強度鋼を用いた建築鉄骨加工に向けた鋼板自動開先加工機の導入
384	丸田工業 株式会社	テーバー管成形機の開発による円筒加工の高度化と効率化
385	有限会社 西鉄工所	3Dプリンター導入による製粉機開発の期間短縮及び低コスト化
386	佐藤金属興業 株式会社	新商品の企画・開発スピード向上を目的とした3Dプリンター導入による競争力強化
387	株式会社 サンライズテック	トラック部品の品質向上・低コスト・短納期対応を実現するバリ取り技術の確立
388	渋木精工 株式会社	高速高精度模型マシニングセンタ導入による 【複雑複合加工】の効率的生産方式の確立
389	株式会社 サイトウ	新型プレス機導入による「高防犯性能・低価格な鍵」の試作開発と量産化
390	株式会社 横山製作所	金型材料の革新による金型製品の高精度化と長寿命化を実現する為の最新研磨機の導入
391	株式会社 アンドウ製作所	曲面加工の高度化によるアルマイト加工一貫生産製品の開発と販売強化
392	株式会社 きものブレイン	シルク向け不燃性有機溶剤型撥水加工の技術確立
393	株式会社 WELCON	水素ステーション向け高耐圧熱交換器の材料評価と圧力試験
394	株式会社 田辺製作所	4K、8Kテレビ向け、大口径水晶ウエハを使用した薄板水晶チップ量産化開発
395	バクマ工業 株式会社	CNC精密旋盤導入による配管継手製造ラインの全自動化と製造能力増強
396	株式会社 フジ商事	最新CAD/CAMシステム導入による、金型加工精度の向上及び低コスト化
397	株式会社 フジハラウインテック	1台で重切削からサブミクロンまでの超精度加工への挑戦
398	有限会社 加藤酒造店	佐産産米100%の『金鶴 吟醸生酒』開発と通年販売による 新市場獲得
399	株式会社 本間製作所	角型を含めた全製品の研磨を機械化し研磨職人激減の地域環境に対応する
400	株式会社 佐野鉄工スプリング製作所	CNCワイヤーフォーマーの導入による生産技術の高度化と三次元空間パネ分野への展開
401	株式会社 メイケン	金型の大型化により生産性向上を実現するエンボスキャリアテープ高速自動成形機の開発
402	有限会社 タガミ工機	図面レス特殊部品等の同一製品製作、リバースエンジニアリング事業の立上げ
403	株式会社 佐文工業所	医療機器向け小径深穴加工技術の開発
404	株式会社 ナカムラ	中小建物におけるエネルギー管理支援システムの開発
405	岩橋印刷 株式会社	高性能オンデマンド印刷機および後加工機の導入による新規需要開拓及び川上事業への進出
406	有限会社 野村製作所	短時間で「蒸し製品加工」を可能とする自動攪拌装置/自動反転装置の試作開発
407	東光 株式会社	次世代型自発光式メーターに対応した精密光学部品製造技術の開発
408	柏崎エコクリエイティブ	有機栽培普及に向けた生ゴミリサイクル特殊有機肥料の粒状・ペレット製造機導入。
409	株式会社 タチカワ	プライベートEコマースによる美容サロン用品類の物販拡大計画
410	金井度量衡 株式会社 <b>p.18</b>	3Dレーザースキャナ搭載マルチコプターの試作開発による新サービスと業種拡大
411	株式会社 室岡林業	大型化丸太杭加工設備の導入による地盤補強工事向け丸太杭提供サービスの実現
412	株式会社 和饅	新たなオリジナル餅製品の開発・生産のための設備投資
413	株式会社 オルエ	タブレット端末を利用した介護施設向け知的記録管理クラウドシステムの試作開発
414	有限会社 ワイズスクウェア	「ハイブリット車の燃費改善に利くメンテナンス方法」の商品化
415	Honda Vineyards and Winery 株式会社	ネックフリーズ方式の澱抜きによる日本初の品種の瓶内二次発酵スパークリングワイン商品化
416	有限会社 アサップ	食用ほおずき水耕栽培技術および魅力ある商品開発
417	株式会社 内山肉店	にいがた地鶏1羽丸ごと高付加価値商品の開発・販売
418	アイマーク環境 株式会社	エコアイランド佐渡島発！クラウドによる清掃・点検支援システムの開発と全国展開
419	株式会社 ニットク	建設仮設材「敷き鋼板」の整備・改修技術 および 整備・レンタル事業の開発
420	有限会社 にこにこけあ	認知症の人と家族地域住民等誰もが参加できる認知症カフェの設立

## 平成26年度 採択事業者一覧

※平成26年度採択時の申請内容で掲載しています。

No	申請者名称	事業計画
1	新潟精密鑄造 株式会社	精密鑄造製法による人体関節用人工骨の製造方法の開発
2	株式会社 タカトニット	所有特許技術の応用と無縫製横編機導入による高級保温性肌着試作開発事業
3	高橋ニット 株式会社	織物のようなハリ・コシとシルエットを実現する洋服仕立てのニット製品の開発
4	有限会社 西川ベンダー	新型CNCパイプベンダー導入によるパイプ部品の複雑化・高精度化への対応と新分野進出
5	株式会社 有本電器製作所	サーボプレスを用いた温間絞り加工技術の開発
6	パルス電子 株式会社	薄型平角を使用した革新的で高効率な平面型トランスの試作開発
7	有限会社 朝日精工	チタン合金製医療器具の高精度切削加工技術の開発
8	新潟染工 株式会社	競泳水着の国内外アパレルに対し生地の開発・改良及び品質の安定化
9	佐渡精密 株式会社	バリレス加工技術の革新による医療用脊椎インプラントの製造力強化
10	五十嵐刃物工業 株式会社	ステンレス積層鋼（クラッド材）を用いた洋食器ナイフの量産技術の開発と製品化
11	株式会社 ブラケン	軽量薄型汚染検出器の開発
12	有限会社 野島刺繍	ビーズコード刺繍機等を使用した新しい刺繍加工技術・刺繍デザインを創作する試作開発
13	有限会社 山谷製作所 <b>p.30</b>	新しいライフスタイルを提案する卓上型軽節削り器の開発
14	株式会社 山谷産業	鍛造ベグ（テント用杭）用打ち込みハンマーの開発・商品化およびベグ含めたキャンプ用品の海外販売
15	有限会社 小出設計	プレス成形シミュレーションソフト導入による金型の高精度成形解析と短納期化の実現
16	株式会社 新潟プレジジョン	微細機能部品分野への参入を加速させる微細電極切削加工技術の開発
17	ミズホ 株式会社	複雑曲面を有する整形外科用インプラントの試作・開発
18	株式会社 長谷川工機	立型複合加工機導入による生産性向上と大物加工分野への本格参入
19	ケイセイエンジニアリング 株式会社	国外への輸出を目的としたスキンステープラーについての研究開発
20	サンアロー 株式会社	内視鏡手術トレーニング用 生体質感模擬臓器開発
21	有限会社 土田印刷紙器	高速検査カメラ装置で印刷箱の自主廃棄による資源の無駄の防止と品質の安定確保
22	株式会社 中屋	マルチ方式鋸自動目立機の開発
23	有限会社 ジェイエフ総業	製造ライン（孔明け）の効率化と高精度化による生産性向上と競争力強化
24	ジェイベック 株式会社	「高性能・低価格機械換気システムの試作開発と自社製造体制の構築」
25	株式会社 イチカワ	薪ストーブ用煙突の製造工程の機械化による高精度製品の安定供給体制の確立
26	株式会社 山幸鉄工	生産管理システムを新たに導入して、生産工程の改善と生産プロセスの革新を図る
27	株式会社 F・S・エンジニアリング	最新複合旋盤導入による高機能樹脂複合精密部品の短納期化と高精度化への実現
28	新和メッキ工業 株式会社	低コスト・高付加価値を実現するための部分金めっきプロセスの開発
29	株式会社 丸菱電子	長尺難度品及び宇宙用部品の焼入れ後の経年変化防止の為の冷却装置の設置
30	株式会社 本宏製作所	ロボット溶接機導入による生産プロセス革新と主力製品の耐久性向上の実現
31	株式会社 鳥部製作所	鉄の刃部自動研削（自研）工程を内製化する事による安定した生産体制の確立
32	株式会社 セキ	最新型複合旋盤導入による板金工作機械用部品加工の高精度化及び生産性の向上
33	越後札紙 株式会社	大判ウォールステッカー等の自社内企画製造販売と新規市場獲得
34	株式会社 クリエゾン	ウェアラブル端末内蔵用極小型電子部品の電極形成プロセス開発事業
35	株式会社 中津山熱処理	焼入れ処理におけるガス冷却の性能向上による金属熱処理技術の高度化
36	有限会社 田辺工業	水晶ウエハの超薄型スライシング技術開発による高精度・省プロセスの確立
37	サイエンス 株式会社	陸上における超高密度育成を可能とする新型養殖システムの試作開発
38	株式会社 テクノフレックス	高性能バルジ成形油圧プレス導入による安定した成形及び生産性の向上
39	株式会社 エーコーン・ジェム	多彩な指輪刻印ニーズを実現する為レーザー刻印機を導入する新市場開拓
40	株式会社 ニューワタナベ	クリーニング事故防止と作業効率改善のための工場管理システムの導入
41	有限会社 石動木工所	曲面加工機の導入＝工程の革新と高品位製品の加工、それにとまなう新規雇用
42	株式会社 ヤチダ	自動車部品試作開発受注の為の加工設備強化
43	柏都電機工業 株式会社	高精度複合加工機・三次元形状測定機による高精度釣具部品の安定生産プロセス構築
44	バクマ工業 株式会社	光輝焼純炉によるステンレスフレキ管の光沢向上とランニングコストの削減
45	藤寅工業 株式会社	高品質な包丁製造と販売の高効率化を実現する製販一体化システムの導入
46	株式会社 小田原オートメーション長岡	最新鋭ワイヤー放電加工機による治具部品加工の高品質・高精度・高速化の実現

No	申請者名称	事業計画
47	有限会社 萩野鉄工所	最新型センタ穴研削盤導入による工作機械部品の高精度化への対応
48	株式会社 グローウィル	トランス検査工程の自動検査装置導入
49	株式会社 アズサ	マシニングセンター導入による既存事業の競争力強化とオリジナル製品の内製化の実現
50	株式会社 Swing	「浸透印面自動レーザー加工システム」の導入
51	株式会社 l'escargot	新潟高級果実、ルレクチェを使用したワイン製造
52	山本ねじ工販 株式会社	超高精度な薄肉締結部品の試作開発
53	ニイガタ製販 株式会社	大型精密万能試験機導入による試験開発の迅速化及び体制の強化
54	株式会社 米谷製作所	エコカー向け、低燃費エンジン鑄造金型加工に用いる、最新工作機導入事業
55	株式会社 反町鉄工業	最新型溶接ロボット導入による鉄骨加工新工法への対応と製造力強化
56	エヌ・エス・エス 株式会社	三次元CAD/CAMシステム導入による生産性向上とCAE解析による製品開発力の向上
57	有限会社 フィロソフィー	磨き工程のミニマム化による車載用光学部品金型の研究開発
58	株式会社 アダマス	砥粒保持力強化による長寿命レジンボンド砥石の開発
59	株式会社 シンターランド	放電プラズマ焼結法（SPS法）による助剤無添加TiB2およびTiNの量産技術の開発
60	株式会社 大菱計器製作所	刻印加工も可能な新設備導入による生産プロセスの革新
61	宮本警報器 株式会社	基板リレーユニットの品質向上、生産能力増強のための量産ライン構築
62	株式会社 清和モールド	最新レーザー溶接装置の導入により新規に金型メンテナンス事業を展開
63	株式会社 新エレクトロ	「検査装置」導入で品質向上、競争力強化による新規受注拡大を実現
64	株式会社 フタバ	味の視覚化技術を活用した新分野・魚介類エキス調味料の市場拡販への挑戦
65	株式会社 アンドーツール	航空・宇宙関連部品加工における生産性向上と高付加価値加工分野への進出
66	株式会社 紫雲寺記念館	温泉熱を活用した熱交換システム開発によるトラフグ養殖と地域活性化
67	合資会社 福島木型製作所	製造プロセス技術の高度化と分業化により、生産性向上と競争力強化を実現
68	F.Dentalart	患者の健康と美しさを実現する歯科補綴物製作、歯科用3D CAD/CAMを用いた新素材加工と効率化
69	株式会社 犀湯鉄工所	ステンレス建築用鋼材の高精度化と生産性の向上を目的とした高度生産システムの開発
70	株式会社 三雄工芸	精密鑄造工程の革新による高品位・個性化ジュエリー類の製品競争力強化
71	有限会社 山甚	柔らかな空間活用を目的とした角型収納ボックスのR型形状への移行
72	株式会社 田原鉄工所	高精度角度切断機の導入をつうじた形鋼切断精度と生産性向上の達成
73	共栄エンジニアリング 株式会社	射出成形における液状発砲成形法と圧空成形法の技術開発
74	フジイコーポレーション 株式会社	塑性疲労を抑えた新加工技術で、安全の実現とインフラ輸出を促進
75	アルビクス 株式会社	放送事業者向けに4K放送に対応した自動監視を実現するための映像・音声エラー検出装置の開発
76	株式会社 高秋化学	日本初の抗菌アルマイト処理の製品化技術開発と製造設備構築
77	株式会社 エイブル	新製法バリ取り技術開発による短納期と安定化の実現
78	越つかの酒造 株式会社	清酒（日本酒）分野での地産米による微炭酸性純米清酒の開発及び製造
79	小林精工	対向主軸旋盤と給材機の導入によるトラックのシャフト部品の加工精度向上及び短納期化
80	有限会社 稲田製作所	高効率モーター向け巻線機の需要拡大に伴う旋盤加工の生産体制強化
81	新潟メタリコン工業 株式会社	航空機部品共同工場における厳格な特殊工程薬品分析管理システムの導入
82	丸越工業 株式会社	ステンレス材精密加工に係る技術を用いた穀物搬送用昇降機の農業6次産業化向け製品技術開発
83	株式会社 東京口ストワックス工業	精密鑄造法による航空機用ガスタービンエンジン部品の製造
84	株式会社 イイキ	特性インピーダンスコントロール基板製造における回路形成技術の確立
85	一菱金属 株式会社	フチに隙間のない【玉ぶち形状ボウル】の開発
86	有限会社 オープ・コーポレーション	高速自動裁断機導入による高品質衣料品の小ロット多品種の生産性向上事業
87	有限会社 樋口工作所	3次元CAD/CAMシステム導入によるプレス金型製造の高精度、高効率化。
88	ジョイントファーム 株式会社	高度玄米粉および複数栄養素を混合した完全栄養新製品開発
89	岩橋印刷 株式会社	特産品のブランド化に向けた「お洒落な」化粧箱製作工程内製化のための新型加工機の導入
90	株式会社 ミツヒデ	門型クレーン増設による、ストックヤード作業効率の改善と生産性の向上計画
91	セイデンテクノ 株式会社	カレントセンサー製造工程の自動化による生産効率化事業
92	宇佐美工業 株式会社	YAGレーザー溶接機導入で、小ロット対応のための生産性向上と低コスト化
93	有限会社 河田工機	難削物に対するフライス加工技術の確立と一貫生産体制の構築
94	株式会社 CLOVERJAPAN	世界初の試みとなる圧力を利用した移動式小型炭酸泉生成装置の開発

No	申請者名称	事業計画
95	イケダ・デンタルクリエート	新規雇用、事業拡大のための歯科用CAD/CAMシステムを用いたハイブリッドレジンプロック加工技術の導入
96	原酒造 株式会社	高度な熱処理による高香気性清酒の開発と料飲店市場開拓
97	株式会社 原田製作所 <b>p.28</b>	自動車エンジンの吸気可変速弁制御モーターに使用する、薄型整流子の量産化体制の確立。
98	株式会社 青海製作所	高級腕時計用部品の高度化と高効率な生産方式の確立
99	株式会社 オーヒラ	超精密加工機導入による安価で検出速度が速い毒素・菌検出機器の製品化
100	株式会社 テック長沢	長尺ローラーの超高精度加工技術の開発
101	株式会社 丸五鉄工所	難削材を使用したターボチャージャー部品等への高精度化及び短納期対応強化
102	株式会社 テック・エンジニアリング	三次元画像処理を用いたカムシャフトの表面傷検査装置の開発
103	株式会社 えびすや	複雑・多様化した建具・家具制作ニーズに対応するための5軸加工機を使用した製品開発
104	頸城酒造 株式会社	搾りたての高い品質を保持した清酒を本格展開するための最新機械設備導入
105	熊倉シャーリング 有限会社	高精度高効率タレットパンチプレスの導入による医療機分野の拡大と高付加価値化の実現
106	有限会社 小林製作所	CNC3次元測定機導入による航空機器部品の信頼性向上と測定作業の効率化
107	株式会社 ウメダニット	多機能編み機導入による高付加価値ニットテキスタイル&商品開発
108	株式会社 シーモス	高精度レーザー溶接システム導入による金型製造プロセスの生産性向上
109	山崎工業 株式会社	超精密プロファイル研削で興す順送プレス用金型の製造プロセス革新化
110	株式会社 北陸ジオテック	水熱処理装置を用いた汚染土壌の革新的浄化技術の開発
111	株式会社 明間印刷所	特許取得のレーザー加工技術を活用した観光客向け立体造形商品の開発
112	有限会社 ストカ	高精度マシニングセンター導入によるトラクター部品の一貫製造工程の確立と品質保証の強化
113	有限会社 利金型製作所	金型製造のスピード化および高精度化による高品位金型の生産体制確立
114	株式会社 山上スクリーン印刷	ガラス・陶器プリントの生産能力拡充及びフルカラーオンデマンドシステム導入による潜在市場ニーズの掘り起こし
115	株式会社 諏訪田製作所	職人技のマシニングセンタへの品質保持置換と生産性向上の確立
116	久須美酒造 株式会社	吟醸酒の長期熟成における異味異臭発生の防止対策
117	株式会社 スノーピーク	高性能レーザー加工装置の導入による自然保護と障がい者雇用の実現
118	SHIKIEN 株式会社 <b>p.26</b>	舌（シタ）ブラシの毛材製造のため超音波溶着機を導入し自動ラインを開発
119	福顔酒造 株式会社	繊細な香りを活かし、均質で質の高い「三条の日本酒」醸造のための自動醗機の導入
120	株式会社 矢部製作所	主業である溶接分野の技術革新
121	中越工業 株式会社	低比速度地点への適用を実現するガイドリングポンプ逆転水車の開発
122	株式会社 カイセ工業	新素材フェライト材のパイプ極小R曲げ及び端末部一体化成型技術の開発
123	アイウッド 株式会社	モルダール導入による作業効率化と、知的障がい社員の活躍の場を増やす。
124	株式会社 池田機工	衛星受信端末向け板金加工部品において、高精度曲げ加工技術の確立による付加価値の向上
125	有限会社 野本桐園製作	伝統の技とNC複合加工機導入により多品種小ロットの短納期生産の実現
126	岩野デンタルラボ	先進医療歯科用CAD/CAMシステムによる金属を用いない歯冠修復物製作のデジタル化事業
127	サンアロー化成 株式会社	医療機器に向けたラバー成型技術のプロセス開発
128	株式会社 丸山製作所	ロータリー平面研削盤による、金型治具の高精度化及び短納期化事業
129	株式会社 スミック長岡硝子	県内唯一の精密加工が可能な生産ライン構築による高度化
130	株式会社 加藤精工	自動車産業及び光学産業向け超硬切削工具の品質向上、安定供給の実現へ向けた最新研削盤導入による高精度加工技術の確立
131	有限会社 エス・ケー・エス	高周波誘導加熱焼入装置部品の口ウ付け作業における効率的生産方法の確立
132	有限会社 ケイ・エスデンタル・ラボラトリー	審美性と耐久性を兼ね備えたこれからの義歯の作成
133	東光 株式会社	自動車部品向け射出成形金型の鏡面仕上げ磨き技術の確立
134	株式会社 エステーリンク	溶接ロボットシステム導入による大型建造物の高品質化および生産性向上
135	株式会社 ユーアンドエム	長尺品鋼管のローコスト製造化を目指した転造盤の導入
136	株式会社 三松製作所	高精度切削加工部品（焼結部品）の生産ライン革新による量産体制の構築
137	株式会社 エレックス新潟	溶接工程の生産性向上および溶接見積りシステムの開発
138	ケイセイ医科工業 株式会社	ハイコストパフォーマンス市場マッチ型高周波電気メスの開発
139	株式会社 ヨコヤマ鉄工	CNC旋盤の自動化による大型スライドプッシュ生産の低コスト化の実現
140	株式会社 三国東洋	トヨタ純正リモートスタートカナダ向けモデル生産ラインの構築
141	株式会社 東和製作所	3次元測定器の導入による高性能船舶用エンジン部品の開発と新規受注獲得

No	申請者名称	事業計画
142	株式会社 きものブレイン	耐久性・加工安全性に優れたシルク向け撥水加工の技術確立
143	アイテックス 株式会社	光処理技術の導入による新たな食品乾燥機の開発
144	有限会社 ナジラテ	アルファー化米粉による麴発酵食品の新工程開発と新商品試作開発
145	ハル電子 株式会社	アモルファス磁性材切断の高寿命刃の開発
146	TODA 株式会社	極薄のマグネシウム材を用いたスピーカー振動板向けプレス加工及び表面処理
147	株式会社 南雲製作所	高精度ワイヤ放電加工による高品位金型部品加工方法の確立
148	シマト工業 株式会社	インサート成形品の品質向上に向けた設備投資
149	越後製菓 株式会社	丸餅専用検査機の導入による生産性の向上
150	株式会社 カドクラ	コパルト製医療用部材に要求される高品質且つ高精度加工の実現により生産性向上を図る
151	株式会社 シーエスレポーターズ	O2O対策向けにスマートフォンの対応率が高い音響透かしを使用した屋内位置情報検索スピーカーの開発
152	株式会社 アクアシガータ	スイミングスクールにおける欠席・振替のWeb受付ソフトの導入
153	IMTエンジニアリング 株式会社	エビの品質向上、生産量増加につながるリモートセンシングシステムの構築
154	株式会社 パルメソ	サステナブル社会ニーズに貢献する表面劣化・損傷度合の診断法開発
155	三条リネンサプライ 株式会社	病院・介護施設向け「ウイルスブロックを施した布おしぼりレンタル」の提供。
156	有限会社 上越給食センター	新潟県上越市産食品のブランド化及び普及促進事業
157	東西運輸 株式会社	機械加工場・発電所の使用済み油液のその場清浄化サービス
158	有限会社 笹川流れ観光汽船	新商品の開発による観光客の満足度及び当社と地域ブランド向上
159	モリパワー 株式会社	教育業における検定対策用オンライン問題配信サービスの構築
160	山田ガレージ	自動車钣金塗装の「高品質・効率化・見える化・IT活用」による下請け体質からの脱却を目指す
161	株式会社 野上米穀	市場の変化に呼応した高付加価値装置の導入による事業拡大
162	株式会社 五十嵐	現場アルミニウム溶接の確立・薄板から厚板、様々な材質まで各現場での溶接加工の挑戦。
163	田代歯科クリニック	保険診療でスピーディーかつ丈夫な審美的歯冠修復治療ができるセレクトシステムの導入
164	株式会社 長岡小嶋屋	へぎそばの価値向上のため生ふのりを使った高付加価値商品の開発
165	株式会社 クリエイトサービス新潟	規格外品として廃棄処分される地元農産物を有効活用して循環させる
166	株式会社 たかの	高圧蒸気装置でお米を加工し、電子レンジで早炊きできる炊き込みご飯の開発
167	株式会社 弘新機工	特殊車両専門多機能工制度を活用したオンライン整備システムの実用化
168	株式会社 トラステック	営業活動の記録を自動化し受注増大に繋がる仕組みを提供
169	ヘアサロンいがらし	団塊・団塊ジュニア世代の髪・頭皮の悩みと要望に対応したサービスの提供
170	有限会社 大協青果	新鮮・安心を保証する水耕栽培及び保冷ボックスを活用した新事業
171	新潟住宅ネットワーク協同組合	匠の技とデジタル技術の融合で、リフォーム再生事業の推進
172	株式会社 アサヒプレート	3D-CAD/CAMシステムによる樹脂カバー類のワンストップサービスの実現
173	株式会社 第一情報サービス	貸衣裳業に特化した総合的レンタル管理ソフトの試作開発と販路開拓
174	有限会社 たちばな	新感覚風味付け【甘酒】の試作開発と商品バリエーション展開、及び必要な設備投資
175	合資会社 小林醤油店 <b>p.32</b>	地元新潟産小麦を原料とし、消費者が原料生産者を知ることが出来る醤油の開発
176	株式会社 シンボ企画	自社純粋培養酵母と魚沼産コシヒカリを原料とした究極の高品質な地ビールの製造販売
177	シュターブ 株式会社	現状の商流、物流を活用した新規事業としての惣菜品「半熟卵のスコッチエッグ」の開発・製造・販売
178	株式会社 不二産業	食品産業より排出されるプラスチックのリアルリサイクル化技術革新事業
179	株式会社 イートラスト	スマートデバイス対応仮想オフィス空間サービスの開発
180	有希化学 株式会社	多品種少ロット生産に対応可能な液体洗剤充填設備の開発・導入
181	株式会社 お米のたかさか	新潟で初の最新型無洗米精製設備を導入し、日本一美味しい無洗米の提供を目指す
182	サンエス 株式会社	厚板鋼材の高精度レーザー切断サービスを開始し、産機・建機市場の開拓を実現
183	株式会社 真友社	発達障害児童の学力格差を是正する教育型放課後等デイサービス事業
184	有限会社 又作商店	高齢者向け『やわらかステーキ』『健康レトルト』の開発とレストランメニューへの取組み
185	五十嵐溶接工業	高度円周溶接の実現で安定した生産、供給、信頼性の確立
186	有限会社 ウェブナック	ネットショップ運営代行のための業務システムとショッピングモールの開発
187	株式会社 内山肉店	にいがた和牛を活用した寿司業界向けの新しい商品開発
188	有限会社 星ニット	にいがた絵写真館Tシャツで世界に進出する革新的サービスの開発
189	株式会社 大谷	商談及び納期、また在庫管理方法の革新による高い顧客サービスの実現

No	申請者名称	事業計画
190	渡辺建設 株式会社	既設消雪用井戸を活用する地中熱利用空調システムの提案による工事受注拡大
191	時田シーブイディーシステムズ 株式会社	配管内面の腐食を防ぐセラミックコーティング装置の開発
192	高の井酒造 株式会社	高精度な温度制御設備導入による洋食にもあう香味豊かな新しい清酒造りの確立
193	有限会社 桜井メリヤス工場	ニット製造産業における革新的デザイン製品開発及び新規市場開拓
194	麒麟山酒造 株式会社	清酒製造における、小容量タンク毎の品温制御による多品種新商品開発及び酒質の安定
195	有限会社 山口製作所	最新加工設備の導入により5軸制御切削加工の先進企業を目指す
196	有限会社 小林鐵工所	自社改造NC旋盤による超長尺丸物の旋削・研磨加工一体化技術の確立
197	ニューロング精密工業 株式会社	高精細電子部品の生産を可能とする高精度スクリーン印刷機の開発
198	株式会社 富田刃物	NC制御型研削機の導入
199	下村企販 株式会社	NCフォーミングマシン導入によるハウスイエア部品の製造コスト削減と商品開発力の強化
200	株式会社 アクトギア	NCルーター導入による競技用スノーボードの開発・製造及び製品全般の不良率の改善
201	株式会社 アセック	精密機械加工及び精密金型製作の取込みによる航空機エンジン部品生産の国際競争力強化
202	株式会社 ヨネヤマシール印刷	個別情報ラベルの品質保証を目的とした画像検査装置の導入計画
203	株式会社 藤原商店	最新溶接機導入によるステンレス製容器製造体制の強化と新規事業展開
204	藤田金属 株式会社	高性能丸鋸切断機の導入と品質管理体制構築により高精度鍛造向け切断ビレット供給
205	西巻印刷 株式会社	特殊形状実現のため、紙器製造の要「抜き工程」の加工設備強化
206	株式会社 タケダ	生産スケジューラにより企業規模を超えた生産体制への革新と収益拡大を図る。
207	有限会社 ユー・アイ工業	ガス製品の自由化に伴い加工技術革新により、高品質、高性能の製品を開発。試作から量産へ。
208	株式会社 中條製作所	革新的な技術導入における生産性の向上
209	原山化成工業 株式会社	エコキュート用保温断熱部材の断熱性能向上とコストダウン
210	株式会社 タキザワ	高性能プレスブレーキ導入による生産体制の変革と高付加価値化を図る
211	有限会社 森山精器製作所	最先端マシニングセンター導入による製品の生産性向上と販売強化
212	株式会社 A-TRAD	車載ヘッドライト・ドアライン照明金型部品の磨きレス化の推進
213	株式会社 川島	最新のホールガーメント機導入によるニット製品の新商品開発及び市場拡大
214	金城繊維 株式会社	高感度センサーによる品質管理と短納期生産による追加発注市場獲得
215	株式会社 常盤製作所	顧客ニーズ対応と競争力強化のための専用複合NC旋盤開発導入
216	株式会社 タカイ	高精度部品洗浄真空乾燥装置を用いた付加価値向上プロジェクト
217	株式会社 クリエイティブ・エンジニアリング	IT導入により生産管理プロセスを革新し収益の大幅な拡大を図る。
218	有限会社 渡明製作所	介護用マグネシウム部品の軽量化とマグネシウム切屑火災防止対策による製造工程の見直しと量産化計画
219	光陽産業 株式会社	一定荷重で締付けができる医療用トルクリミット付ルアーコネクタの開発
220	ダイトゴム 株式会社	新分野参入に向けたバリ除去技術向上による仕上げ工程の革新
221	ライン精工 有限会社	産業機械用長尺リングの加工技術開発と設備導入による差別化と新規市場開拓
222	新潟煙火工業 株式会社	花火職人xIT導入による「生産効率向上」及び「自社ブランド力強化」事業
223	長岡パワーエレクトロニクス 株式会社	PCB基板への磁性材料埋め込みによる超薄型リアクトル基板回路の開発
224	清水工業 株式会社	段付きシゴキ絞り加工法による、切削加工、熱処理、研削加工品の商品化
225	株式会社 スリーピークス技研	特殊ニッパ量産化に向けた自動切削加工機の導入
226	株式会社 トーダイ	業界初のレーザーマーキングを活用した厨房用品の開発による販路拡大
227	三友工業 株式会社	航空機内装部品デコラパネルの社内一貫生産による短工期の確立
228	有限会社 須佐金型製作所	ワイヤーカット放電加工機を活用した、厚手素材を裁断できる新型ハサミの試作開発
229	株式会社 長岡金型	業界初の新素材ジルコニア系セラミック製ゲートブッシュの開発による新市場開拓
230	株式会社 清水金型製作所	最新加工機導入により熟練技術依存の低減に挑む取り組み
231	吉乃川 株式会社	酵母の特性を生かした低アルコール清酒の商品化と市場開拓
232	株式会社 長岡歯車製作所	非円形歯車の製造技術の高度化と販売拡大
233	株式会社 坂爪製作所	NC研削機を導入し、後継者無き職人技の形式知化を目指す。
234	株式会社 安達コンクリート工業	軽量かつエコなコンクリート製ケーブルトラフの試作開発と増産体制の確立
235	坂井精機 株式会社	電極加工の革新的な自動化による高効率化
236	株式会社 北雪酒造	完全チルド貯蔵・配送管理された超フレッシュな生酒を海外市場へ供給することで新たな需要を開拓する
237	皆川農器製造 株式会社	大型農業機械加工用に、NCパンチプレス機を導入し、長尺刃物の歪みレス加工技術を確立

No	申請者名称	事業計画
238	株式会社 シンコーテック	給湯・床暖房機器受注拡大を実現するため、機械加工自動化の推進。
239	ナシモト工業 株式会社	高精度5軸CNC工具研削盤導入による、三次元刃物造形技術の向上と国際競争力強化の実現
240	株式会社 バイオテックジャパン	微粉碎技術・乳酸菌発酵を利用した高い乳化性を有した米磨砕液の開発
241	株式会社 遠藤製作所	医療用インプラント製品の品質評価システムの確立
242	レジエ 株式会社	日本初のチタン精密鍛造によるデザイン性に優れたバックル開発及び生産性向上
243	株式会社 中央製作所	新製品開発における精巧模型作製技術の確立
244	株式会社 アドワン	可動型レーザー溶接機導入による金型修理精度向上及び納期短縮化の確立
245	共栄テック 株式会社	多品種少ロットに対応可能な安価な自動ラップ盤の開発
246	株式会社 滝口製作所	超微細ショットブラスト導入による医療用ニッパの鍛造加工から仕上げ加工までの工程見直し計画
247	山崎金属工業 株式会社	「刃物研削盤」の導入による錆にくいディナーナイフの商品開発
248	株式会社 WINPRO	風況等に応じた羽向き制御を可能とする高効率の風力発電機の開発
249	株式会社 藤田製作所	キャリアパー内製化の実現による自社完結生産プロセスの確立
250	有限会社 木原製作所	CNC円テーブル導入によるシャフト多角度穴あけ品質技術の確立
251	山田精工 株式会社	超高応答ハイブリット射出成形機導入による樹脂製微細針の成形技術の確立
252	新潟三吉工業 株式会社	燃料電池用インターコネクタの量産化に向けた加工設備の強化
253	株式会社 カネコ工業	量産型製造工程までのすり合わせ工数及びNCの待機時間削減による短納期実現
254	株式会社 小林工具製作所	高精度金属加工設備による、緑化施設の土壌改良機具製造能力の強化
255	柏精機 株式会社	0.01mmの加工技術を実現するプレス機導入による製品の品質向上
256	有限会社 加藤酒造店	無農薬米の酒「拓」の品質向上と省エネシステム構築のための「清酒火入急冷ユニット」の導入
257	株式会社 織原塗化工場	高性能塗装ブースの導入による塗膜品質向上・製造コスト削減
258	株式会社 泰和製作所	医療分野進出における高効率加工の実現
259	株式会社 ジャステム	新規設備、システム導入の相乗効果で社内の総合的な生産性向上を図る。
260	株式会社 悠心	詰め替え可能な新型鮮度保持容器の開発
261	相場産業 株式会社	特殊ロータリー研削盤導入による、研削工程の高精度化と量産化計画
262	株式会社 片岡製作所	溶接ロボット装置導入による生産工程の改善と生産プロセスの革新
263	田中工業 株式会社	工事実施プロセスにおける管理システム導入による、業務効率化と品質向上によるサービスの差別化
264	株式会社 越のむらさき	充填設備更新による安全・安心な製品づくりとコスト競争力の強化
265	株式会社 アピコ技術研究所	CNC円テーブルの基幹部品の改良化と内製化
266	有限会社 サンボウ	高速自動裁断機（CAM）の導入による生産性改善と多能工化による生産システム革新への取り組み
267	藤中工業 株式会社	航空機部品加工参入のための革新的板金加工技術の開発
268	株式会社 NSPM	超音波援用技術の応用により高硬度脆性材料の鏡面切削加工等を実現する
269	オノヅカ精工 株式会社	完全無人自動加工システムの構築による異形鍛造品加工の生産性向上と新規分野参入
270	有限会社 シマダ	地域資源のおからを主原料とした発酵味噌食品の生産設備導入と試作
271	プリンス工業 株式会社	オンリーワンキッチン用品開発の為の射出成形技術の開発
272	ワンネス 株式会社	UAV等ロボット制御モジュール及びフライトレコーダーの開発
273	白井産業 株式会社	鋸の目立て工程の設備革新による生産性及び品質、安定性の向上
274	ハートランドエンジニアリング 株式会社	商業施設用等向けガラス建具用建築金物類の一貫生産体制確立
275	株式会社 柿崎機械	航空機体部品加工計測による品質力強化
276	株式会社 モリチュウ	自動バリ取り機による仕上げ作業の生産性向上と効率化技術の開発
277	有限会社 イワセ	板材削出加工による高級メガネケース製造を通じた付加価値製品の創出
278	サトウ産業 株式会社	環境対策における食品残渣量の削減事業
279	加賀工業 株式会社	チェーン品質検査における外観検査自動化装置のプロトタイプ開発
280	金徳シヤリング 株式会社	生産性向上・短納期化を目指した精密切断、加工体制の確立
281	株式会社 ケーナール	日本文化の魅力を引き出すキャラクター関連の立体広告・商品の製造
282	大洋酒造 株式会社	麹（こうじ）の製造工程改善による日本酒の品質向上と販売増進、および醸造設備の有効利用
283	ホリカフーズ 株式会社	高度測定機器導入による天然農産物を主原料とした介護用濃厚流動食品の感性価値向上と高品質安定化
284	株式会社 横山製作所	油加工液仕様のワイヤ放電加工機導入による、超硬金型の高精度加工と研磨工程短縮の実現
285	木原精機 株式会社	高精度対向主軸CNC複合旋盤導入による生産性向上と他社との競争力強化の実現

No	申請者名称	事業計画
286	アルバネクス 株式会社	新調理システムに対応可能な新型急速液体凍結機の開発事業
287	株式会社 宮島化学工業	再生原料を使用したエコマーク認定プラスチック製品の品質向上と製造プロセス拡充
288	有限会社 本甲金型	高精度CNC3次元測定器導入によるプレス金型のトライ数削減と測定プロセスの効率化
289	株式会社 浅田精機	精密内面研削盤導入による深孔内面研削の高精度化と加工の合理化
290	株式会社 フクエ精機	複合旋盤導入による高精度、高効率加工の実現と競争力の強化
291	株式会社 島田溶接	自動溶接機導入による業務効率向上及び人材の有効活用事業
292	ホクリク精機 有限会社	多品種少量及び混流生産（異種材・異種形状）での生産性アップに挑戦
293	有限会社 高野金型製作所	高精度マシニングセンタ導入による短納期金型対応生産プロセスの確立
294	株式会社 タカハシ	板金加工におけるレーザー切断とパンチ打抜きの高効率統合複合加工実現の取組
295	株式会社 ツノダ	次世代型替え刃式アルティメットカッターの開発
296	株式会社 リキマエダ	サーボプレス機導入によるリジッドラックのコストダウンと短納期化の実現。
297	株式会社 大坪土建	木質バイオマス自製化による温泉旅館事業のコスト削減と省エネ化。
298	株式会社 山泰製作所	高機能CAD・CAM導入による三次元形状加工の確立
299	株式会社 阿部プリント基板	基板印刷精度の可視化や定量化による、微細基板印刷技術の高度化
300	株式会社 トリト	シャーリング加工に於けるキズや加工歪等の不良防止技術の開発
301	株式会社 ワールドラボ	CAD/CAM設備導入による歯科技工物の新素材加工と生産効率化、高品質化
302	株式会社 谷野製作所	金属ギア生産工程における自動噛合い試験機の導入による増産体制の確立
303	株式会社 川崎合成樹脂	セラミック刃体ピーラーの生産プロセスにおける自動化
304	株式会社 五十嵐電機製作所	世界シェアNo.1カスタムメイドモーターの商品ユニット化試作開発
305	株式会社 ライン放電	ワイヤー放電と研削の一貫加工体制構築による高品位部品加工の超短納期化
306	株式会社 新武	精密大型プレス金型製造の短納期化&高精度化計画
307	有限会社 佐藤工業所	ポジショナー付ロボット溶接機導入による工数削減・受注拡大と職人技術継承
308	ヤナドリ鋼鉄 株式会社	小径鋼管の立体的高難度曲げ加工及び多様なデザイン製品への取組
309	新潟県醤油協業組合	超高圧によりタンパク質、リン、カリウムを低減した機能性だしわりしょうゆの開発
310	新潟高周波工業 株式会社	新鋭のインバーター式電気炉新規導入による生産プロセスの刷新計画
311	株式会社 オオスギテック	消防設備点検に関する調査から修理までの一貫業務の確立
312	有限会社 井出計器	ゴミを吹き飛ばし吸引する静電気制御管理付き小型塵取機の試作開発
313	有限会社 関野鋳工業所	訪問福祉美容・美容サービス（寝たきりの方）向けの専用ハサミの試作・開発
314	A'vi	「美しさ＝健康美」をコンセプトにしたエイジングケアサービスの開発
315	信越工業 株式会社 <b>p.24</b>	減圧平衡発熱乾燥機、粉碎機導入による「ひげにんにく」パウダーの試作・商品開発
316	株式会社 わたや	複数の太さのへぎそばの提供を、革新的製麺設備導入による生産能力向上と品質安定により実現
317	企業組合しおざわ異業種研究会	魚沼産コシヒカリ発祥の地でお米の選別、食味、検査を見学・試食体験事業
318	有限会社 田中刺繍	ビーズ刺繍による新企画商品の試作開発と国内・外販路開拓
319	株式会社 システムスクエア	顧客商品の安全性と品質管理をサポートする検査装置の顧客支援システム構築
320	株式会社 SnowCast	降雪・降雨量予測のための高度化技術
321	有限会社 志田塗料店	塗料調色作業のデジタル化による精度向上と短納期化
322	株式会社 堀口繊維工業	CAD/CAM導入による多品種少ロット生産の実現及び多能工の育成
323	株式会社 キントラ	新築した弊社「陽圧工場」の生産能力向上と、異物混入のリスクを抑えたポリ袋の開発
324	アイビーリサーチ 株式会社	中国市場開拓に向けた、中国語版・特許業務支援ソフトの研究開発
325	株式会社 イチカラ畑	蕎麦原料と加工原料の徹底選別による魚沼産蕎麦製品の高級ブランド化計画
326	越銘醸 株式会社	地元栃尾産の希少米を使用した芳醇型の低アルコール純米原酒の開発
327	株式会社 皆建	管理性と施工性を高めた低価格な防草緑化一体化シートの開発
328	有限会社 蔵良	真空調理法による越後もち豚レア肉の開発、ギフト販売化の実現
329	株式会社 ナカノアイシステム	降雪地域の自治体の除雪管理を支援する除雪情報提供システムの導入
330	株式会社 ビーワーススタイル	デザイン性と機能性に配慮した女性が輝く「キッチンツール」開発
331	有限会社 まきば	サービスエリア向け名物グルメ「リゾットコロッケ」の開発

## 平成27年度 採択事業者一覧

※平成27年度採択時の申請内容で掲載しています。

No	申請者名称	事業計画
1	小片鉄工 株式会社	一貫した生産プロセスの構築によるバイオマスボイラ事業の推進
2	株式会社 アサヒプレジジョン	手術支援ロボット用アーム錘部（関節）の加工技術で日本の医療ロボット開発に貢献する
3	シゲル工業 株式会社	最新モデルの4mベンダー機導入による新製品開発と生産性向上
4	田代精工 株式会社	CFRP、ハニカム材、非鉄金属切削用新形状エンドミル製品の商品化による事業拡大
5	有限会社 シンエー木型工業	発泡スチロール型製造における材料切断工程改善による生産リードタイム削減事業
6	第一合織 株式会社	新型レピア織機導入による高難度織物の生産性向上と適用分野の拡大
7	株式会社 エクシード	一枚裁ち高速裁断機一式（CAD-CAM）の導入による作業の効率化・製品の均一化と、雇用拡大の実現
8	明和工業 株式会社	大型CNC旋盤導入による産業機械用長尺シャフトの高精度加工体制確立と受注増計画
9	株式会社 桑原建具工業	オリジナルプレカットマシン導入による、生産性向上及び新市場開拓
10	株式会社 加藤研削工業	金属加工用丸鋸刃研削の自動化による生産革新
11	株式会社 ヒカリ	磨き部門の機械化による生産の向上と繊細な彫刻を磨く技術の導入
12	皆川農器製造 株式会社	省エネ・高速・高精度レーザー加工機の導入により、大型農業機械用刃物の自動化技術の確立
13	石塚酒造 株式会社	もち米四段仕込みによる清酒の低アルコール化商品の開発
14	住乃井酒造 株式会社	海外向けの3Lバッグインボックス用の日本酒商品の試作品開発
15	ニューロング精機 株式会社	最新型工作機械導入による、革新的な生産体制の改善事業
16	株式会社 松平鋳工所	鋳造型ラインの再構築による生産プロセスの改善と作業環境の向上
17	株式会社 高口又四郎商店	高温高圧調理殺菌装置を用いた国産青大豆製品の市場拡大と海外展開
18	株式会社 ハイサーブウエノ	YAGレーザー加工機の導入によるステンレスの溶接加工の高度化とステンレス筐体の新製品開発
19	株式会社 ホーネンアグリ	連続投入ラインによる培養土製造の品質・生産性の向上と多品目製造
20	株式会社 富士屋	新潟県産小麦と米粉を原料とした自社製自然酵母の培養技術の確立と新商品開発
21	有限会社 三協塗装	長期耐久性塗装技術の「粉体塗装」への応用開発
22	株式会社 高見工業所	最新高性能マシニングセンター導入により自社でできなかった加工工程の内製化を図る
23	株式会社 スリーピークス技研	外観品質向上によるブランド力強化を目指した自動研磨機の開発・導入
24	有限会社 町永木型製作所	鋳造用木型・発泡型生産において最新式大型NC加工機導入を通じた加工リードタイム短縮と増産対応
25	高野鉄工所	船舶用トランスミッション部品加工の革新化及び納期短縮化
26	有限会社 熊倉製作所	最新式複合加工機の導入による、ポリゴン加工技術の革新と、医療機器市場への新展開
27	有限会社 共栄産業	立形マシニングセンタ導入による極小ロット・短納期ニーズの受注拡大
28	有限会社 ホクヨ一製作所	大型天井クレーン導入による大型鉄道車両の製造実現と市場拡大
29	株式会社 片貝製作所	鋳物砂性状コントロールシステム導入による砂の安定・生産性向上事業
30	株式会社 オーダー・オブ・メリット・プランニング	全自動裁断機・自動延反機導入による、小ロット、高品質を低コストに実現する生産プロセスの革新
31	株式会社 ルクス・エナジー	360°全天球型カメラ用高輝度LED照明の製品化
32	有限会社 フナックス	新型レーザー溶接機導入による大型金型の出張修理・メンテナンス事業の確立
33	菊田溶接	ロボットを用いた最新溶接プロセスによる高品質化事業
34	株式会社 ベスト	高速自動裁断機導入による小ロット・高品質を低コストに実現する生産プロセスの革新
35	入澤製麺 株式会社	新型包装機導入による生麺の賞味期限の大幅アップと乾麺の商品魅力度アップを図る
36	株式会社 山口製作所	プレス製造IoTシステムによる測定技術高度化と不良撲滅、生産性向上
37	株式会社 トーダイ	ロール技術応用によるカトラリーの高級化とホテル業界への販売拡大
38	フジイコーポレーション 株式会社	同一設備で試作品から量産まで対応できる革新的な生産システム
39	永井コンクリート工業 株式会社	スマートダイナミックコンクリートを利用したコンクリート製品の製造
40	今井建具店	最新パネルソー導入による加工技術の高精度化と自社内製法の向上
41	株式会社 アセック	航空機ギヤードターボファンエンジン部品の量産対応による生産性向上の改善
42	アルバ 株式会社	中小企業特化の新規顧客開拓システムとノウハウ提供
43	ウエタックス 株式会社	世界市場に向け量産を実現する為の防水マイクの開発と設備導入
44	ネーム・マークかたやま	刺繍ソフトと刺繍ミシン導入による新分野の開拓
45	有限会社 佐久間工業	ファイバーレーザー加工機での高反射材切断と切断の自動化での工法改革
46	Kプロダクト	生産性向上を目的とした、最新型自動バリ取り機械の導入事業

No	申請者名称	事業計画
47	革工房アパッリ	反射革メッセンジャーバッグ開発事業、およびそれに伴う生産効率向上計画
48	株式会社 イイキ	高精度LED搭載用基板のレジスト形成技術の確立
49	有限会社 夢宇来	NCルーター導入による職人技術の数値化及び短納期実現と多様化する要望の対応
50	東商技研工業 株式会社	計測プロセス改善によるバレル処理のデータ化
51	株式会社 ジェック	ドローンを利用した水路トンネル内部の状態調査機器の開発・製作
52	イオカ電子 株式会社	異物モニタリングシステム
53	株式会社 長岡金型	精密プラ型生産における加工の高速・高精度化と検査精度の向上
54	東陽レック 株式会社	2色成形用の金型に関する、革新的な生産ラインの研究開発
55	株式会社 津南油圧	長尺油圧シリンダーチューブの経済的内径加工への挑戦と受注拡大
56	田三金属 株式会社	洋食器製造技術の高度化による生産システムの革新
57	丸正ニットファクトリー 株式会社	ホールガーメント無縫製編機を活用しての、独自性且つ、魅力的製品開発による、海外及び国内新規市場開拓プロジェクト
58	株式会社 三愛マクセル	超精密光学機器用金型製造への本格的参入に向けた最新型マシニングセンター導入による生産能力強化
59	株式会社 山津電機	レンズ形状の精密測定実現をするための、三次元測定器の設備投資
60	宮本警報器 株式会社	レーザ半田と組立て自動化による品質と生産性の向上
61	有限会社 トライワーク	複合加工機の導入による高精度加工及び生産体制の変革からなる受注拡大
62	株式会社 イーティー工業	最新式ロボット溶接による生産体制の改善と新分野への挑戦
63	株式会社 スタックス <b>p.42</b>	高精度化・増産が求められる航空宇宙・医療機器分野の高度化対応の実現
64	株式会社 アオヤマテックス	2.5次元CAD/CAMシステムによる納期短縮と複雑形状加工への挑戦事業
65	栃尾ニット 株式会社	ダブルニット丸編み生地の特産品小ロット生産における短納期化と高品質化
66	藤屋段ボール 株式会社	印刷ずれ補正機能強化の打抜き機による高効率な段ボールケース製作ラインの構築
67	日本ベアリング 株式会社	工作機械の大型化・高精度化に対応したスピンドル生産工程の大幅改善
68	有限会社 フィロソフィー	マイクロレンズアレイに特化した革新的加工法の確立
69	株式会社 フジ商事	最新高速加工機導入による金型加工精度向上及び短納期化
70	株式会社 山之内製作所	航空機部品製作に係る設備導入及び試作
71	佐渡精密 株式会社	IOTを用いた生産マネージメントシステム導入によるスライドベアリング部品の製造力強化
72	株式会社 スパングャルド <b>p.40</b>	高付加価値の染色技術開発及び生産システムの合理化による生産性向上
73	塩川酒造 株式会社	日本酒の新たな販路開拓（輸出）のためのラベラー機の導入
74	株式会社 バイオデンタルラボラトリー	CAD/CAMを用いた保険適用、高耐久性を実現する歯冠修復物の作成
75	坂井精機 株式会社	最新のワイヤ放電技術による革新的加工方法の確立による競争力強化
76	エヌ・エス・エス 株式会社	小ロット生産性向上IoTシステムの構築
77	笹川産業 株式会社	抜き工程の効率化、高精度化による、自動倉庫部品の受注拡大計画
78	逸見酒造 株式会社	蒸米工程の革新により、新市場向け清酒の高品質化を図り競争力強化を実現する
79	株式会社 サトル工業所	「成型品に傷をつけない金型製作」の短納期実現
80	ジャバナクラフト 株式会社	日本古来の素材を最新技術で染色～世界に発信できる高付加価値商品の開発～
81	合資会社 竹田酒造店 <b>p.38</b>	ふくよかな味わい・甘み・キレを有する上越産日本酒の品質安定化及び販路拡大
82	ミヤモト・トミックス 株式会社	最新鋭・極小チップ搭載機導入による車載カメラモジュールの量産ライン構築
83	株式会社 エヌデーイナダ	クリーンルームの自動化による高精度・美粧塗装加工の生産性向上事業
84	有限会社 北越金型	最先端サーボプレス機導入による異形状プレス金型の開発と高付加価値化の実現
85	新潟精機 株式会社	1μ以下の精度を追求した内径加工の高効率化
86	株式会社 バイオテックジャパン	糸状菌の低酸素発酵を利用した高栄養機能性食品の開発
87	株式会社 サンカ	最新複合加工機を導入し新次元高効率段取りとデジタル化の融合による新分野への進出
88	株式会社 シンテック	最新設計支援ソフトを活用した、機械・ソフト設計の効率化による事業基盤強化
89	吉川化工 株式会社 <b>p.34</b>	最先端材質管理体制構築により最高品質の最短納期実現
90	太陽丸互シリンダ 株式会社	特殊差動四爪チャック付NC旋盤導入による異形状製品の新生産体制構築
91	株式会社 長谷川工機	横型マシニングセンター導入を通じた短納期化対応
92	有限会社 マルセンクラフト	高品質CFRP部品製造の為の成形装置導入と新分野進出
93	株式会社 エトーメッシュ	チタン製円筒アノードバスケットの開発と永続的な加工技術の習得

No	申請者名称	事業計画
94	プロスパー 株式会社	体内固定用インプラント部品の高能率・高信頼性製造技術の開発
95	尾畑酒造 株式会社	瓶詰工程のクリーン化と新機能付加による高品質清酒製造で輸出拡大
96	中一工業	最先端ワイヤー放電加工機導入による金型製作の高精度化と短納期対応
97	有限会社 湯本建設工業	製造ライン（孔明け）の効率化と高精度化による生産性向上と競争力強化
98	ケイセイ医科工業 株式会社	TPP対応医療縫合材の包装システムの開発
99	株式会社 アルティスタインターナショナル	既存客受注強化、海外等新規開拓の為に最新機導入による画期的製品開発
100	ミツワ金属 株式会社	工程数削減とコスト低減による受注拡大のためのプレス加工技術の習得
101	株式会社 テクノスコープ	USB3.0インターフェース対応の超高速画像処理システム製品群の強化
102	株式会社 テクノフレックス	大口径ペロース形伸縮管継手の技術革新によるリードタイム短縮及び品質、生産性の向上
103	株式会社 越後鶴亀	ワイン酵母仕込み清酒におけるパストライザー導入での高品質化
104	株式会社 大滝鉄工所	最新型のレーザーマーカによる、ステンレスへのカラー発色技術の開発
105	有限会社 藤次郎	缶詰用真空巻締め機の導入による生産性向上と液汁の少ない新商品開発と新市場への展開
106	中村精工 株式会社	医療用洗浄・滅菌箱の「可視化」に伴う非金属加工への取組
107	有限会社 TGテクニカ	自動溶接機と研磨機導入によるコスト削減化と品質の安定化
108	株式会社 栄工舎	航空機や自動車部品の高精度化に寄与する、球面カッターの内製化と高度化
109	有限会社 バラズファクトリー	高機能水性カラーシステムと高機能ブース導入による移動販売車製造プロセスの改良・確立
110	株式会社 田辺製作所	次世代半導体装置用・高精度レンズ研磨加工
111	株式会社 倉持鐵工所	曲尺自動溶接機による接合生産性の向上と度器の国内生産基盤継
112	株式会社 オダジマ	最新表面加工機導入による新しい表面加工技術の確立・生産性向上と新規事業展開
113	株式会社 外山刃物	高付加価値鍛造刃物の革新的品質管理体制の構築
114	株式会社 G.F.G.S.	海外での販促事業に向けた受注生産システム構築と新定番アイテム制作
115	加茂錦酒造 株式会社	日本酒の麹製造工程の環境改善による「四季醸造の確立」と「酒質の向上」及び新市場への展開
116	株式会社 アダマス	砥石表面整流用溝付高精度・高品質切断加工用薄型ダイヤモンド砥石の開発
117	株式会社 アイプリント	高性能印刷機導入による特殊素材ラベルの製造と生産性向上の実現
118	株式会社 TMC	高精度画像寸法測定器の導入によるエンボステープ製造の精度品質と生産性の向上
119	株式会社 FineTech	FRP製品製造のマスター（基になる形状）製作における3Dプリンタの活用
120	株式会社 佐善	レベラーフィード機導入による瓦屋根用雪止め金具等の生産性、品質の向上及び生産コスト削減
121	株式会社 片岡製作所	レーザーマーカ導入による生産ライン最適化の実現
122	株式会社 ハシモト	金型加工設備の導入とチタン製マグカップの温間絞り加工技術の開発
123	有限会社 大塚木型製作所	最新大型NC工作機械による超大型木型の高精度化と革新的な生産プロセスの改善
124	切り文字屋オッケイ	装飾キット開発、提供による小規模中小企業の展示会展促進事業
125	株式会社 吉原商店	堆肥製造の作業効率の改善と生産性を高める設備の導入
126	有限会社 遠藤家具	自動位置決め切断加工機導入による家具製造の生産性・効率化の向上
127	三仏生繊維 株式会社	最新編機導入による靴下生産の効率化及びラインナップの拡充
128	関川木工所	小型NCルーター導入による高品質製品の製造と生産性の向上
129	新潟メタリコン工業 株式会社	航空機業界の高度な顧客要求に応える材料～製品トータル評価システムの構築
130	有限会社 宮村製麩所 <b>p.36</b>	新発田名産「麩」の高性能設備導入における職人の育成と生産能力拡大
131	株式会社 オフダイアゴナル	大面積磁気イメージングプレート量産条件確立のための設備導入計画
132	メタルクラフト田村	自動化やマニュアル化困難な複雑・多工程・少量生産製品への短納期対応及び競争力強化
133	有限会社 藤田鉄工所	4軸制御のMC導入による牽引手術台の生産工程の再構築と加工技術の研究開発
134	トップ工業 株式会社	最新型高精度・高剛性マシニングセンタ導入による工程集約
135	MATSマツグチアートティースサービス	先進医療歯科用CAD/CAMシステムによる、金属を用いない 保険適用の『白い歯』の製作・普及
136	株式会社 中越	より広い色域を再現し鮮やかな仕上がりの高付加価値印刷技術の確立
137	高野酒造 株式会社	充填機及びクリーンブース導入による品質管理改革
138	株式会社 早川器物	熔射技術導入による電磁対応「湯沸」の開発
139	共栄エンジニアリング 株式会社	医療・介護ロボット向け多品種少ロット部品の工程集約型高効率生産システム構築
140	鮭物産 株式会社	電気厨房機と急速冷却冷凍装置の導入による鮭加工品の安心・安全な生産体制の確立
141	株式会社 オリエンタル	自社ブランド製品の構築

No	申請者名称	事業計画
142	有限会社 石塚技研	センターレス研削盤の半自動化による「革新的な生産方法」の確立
143	株式会社 シーアイシー	衣類プリントの生産性向上と多品種への展開
144	有限会社 なかよしミート	米を主原料とした発酵調味酵素液を含浸させた熟成肉の開発
145	TODA 株式会社	マグネシウムと樹脂の一体成型によりアッセイ時の効率化を図る
146	あおき味噌 株式会社	麹菌による穀類からの糖類生産とその利用
147	三条印刷 株式会社	本社と印刷工場で、実用度重視の印刷検査システム構築を行い、印刷検査状況を遠隔にある本社にてモニタリングする
148	株式会社 グレヌ	チョコレートコーティング機導入による生産性向上及び新商品開発事業
149	株式会社 越後一	乳酸菌発酵等による抗酸化機能を付与した高機能性麹糖の試作開発
150	株式会社 足立測量設計事務所	建造物等の健全度診断をUAVと赤外線カメラを利用し3次元モデルでの可視化サービスの提供
151	有限会社 白子田工業	重量物据え付け工事における作業期間の大幅な短縮と特殊作業への対応
152	株式会社 太田材木店	建築製材品トレーサビリティ導入事業
153	株式会社 マトー	住宅屋根板金用折曲機導入による納期短縮と工事コストの抑制
154	有限会社 中原農園	野菜皮むき作業の機械化による加工野菜製造の効率化と経営体質の強化
155	株式会社 長岡計器	安全、環境まで意識した除雪費集計システムの構築、販売
156	斑鳩建築	県産杉特殊加工床材の製造・提供体制の確立による競争力強化
157	株式会社 青芳	VINTAGEテーブルウェアの海外販路拡大のための受注～出荷管理システムの導入
158	株式会社 小竹製菓	昭和の香りをとどめた“ご当地パンブランド”強化のための設備導入
159	有限会社 美寄車体	超高張力鋼板に対応したスポット溶接機導入により安全性向上と短納期化の実現
160	田中商事株式会社	多品種化と差別化ニーズに向け、卸と酒造メーカーによる生販一体のシステム構築
161	株式会社 サンニード	日本酒メーカー向け醸造設備メンテナンスのサービス提供力の強化
162	株式会社 渋谷建築設計事務所	赤外線サーモグラフィによる建物維持管理のワンストップサービスの提供
163	桐沢精肉店	冷蔵ショーウィンドーと真空包装機の導入により、地域のお客様と全国のおふるさと納税者に「にいがた和牛新発田市産」を毎日、提供する
164	株式会社 日乃出輸送	尿素水自家製造によるディーゼル車排気ガスの浄化推進と運送事業の経費節減の両立
165	品田産業 株式会社	発光分光分析器導入による高品位鑄造原料の発掘と鑄造原料供給事業の拡大
166	いちごカンパニー 株式会社	イチゴの周年栽培で、苗のクラウド管理システムによる収益の向上と安定
167	JamSessionPeople 株式会社	新潟産キューブ型「高級ライスコロッケ」の開発で「食づくりブランド」を日本から世界へ
168	株式会社 今井技巧	4.8tホイスト式天井クレーン導入による超大型金型の受注損失の回避
169	越後味噌醸造 株式会社	販路拡大に向けた【発酵テーマパーク】のサービス開発事業
170	有限会社 いたがきアグリ・サービス	氷感技術によりスプレーマムの開花時期を調整し付加価値を向上する
171	越銘醸 株式会社	飲酒若年世代 向けに保存性を高めた炭酸飲料の開発
172	有限会社 ワイズ	強アルカリイオン電解水を使った人と環境に優しい床清掃
173	株式会社 粋ブランニング	超簡単名刺作成アプリ（スマートフォン名刺作成アプリによる名刺印刷受注システムの革新）
174	有限会社 ハイน์ズワーク	金属表面処理見本帳【新潟規格】の開発
175	有限会社 クリアーデンタルセラミック	地域の通院弱者への訪問歯科医療に対応する最新歯科技工技術の提供
176	株式会社 美松	アレルギー対応のデザート菓子の開発・販売
177	フジカラーニコット	新しい写真の残し方を提案することによる従来の写真店からの変革
178	有限会社 もみの木	蕎麦打ちの機械化による蕎麦食へ放題業態の拡大
179	株式会社 ツインズ	着脱簡単、身体にフィットし快適なウェア用「結ばない紐」の開発と輸出
180	株式会社 布施鉄工所	CAM導入による生産リードタイムの短縮と難削材加工技術の高度化、技術の標準化
181	株式会社 紅屋重正	米粉凍結により保水性機能を付加した小麦粉不使用の100%地場産酒饅頭の試作開発
182	齋藤工業 株式会社	口内清掃の介護用使い捨てスポンジブラシの自社製品開発、販売
183	有限会社 柄沢ヤスリ	精密平面研磨装置と双手（モロテ）ヤスリ掛け装置
184	株式会社 青海製作所	最先端の眼科用治療部品への挑戦とオペレーション機器の生産性向上

# 平成28年度 採択事業者一覧

※平成28年度採択時の申請内容で掲載しています。

No	申請者名称	事業計画
1	株式会社 ニシデン	カメラセンサー向け超極小部品実装基板の試作開発
2	平置店	最新量縫着機導入による生産性の向上と新製品開発で受注拡大
3	有限会社 樋口鉄工所	ステンレス切断機の設定導入とステンレス溶接技術の高度化
4	株式会社 ホンマ製作所	組立・溶接ロボットによる生産技術の向上とIoTを活用した生産管理の高度化
5	株式会社 シーモス	生産プロセスのIoT化による画期的な生産体制の確立
6	有限会社 木原製作所	パレットチェンジャー式機械導入による高効率品質技術の確立
7	有限会社 源屋	胡麻とらふ製造ラインにおける包装技術向上にむけた設備導入計画
8	有限会社 小林製作所	高生産性5軸加工機とIoTの融合による航空機部品の第四次産業革命への挑戦
9	株式会社 山縣製作所	プレス成形シミュレーションソフト導入による金型の高精度成形解析と短納期化の実現
10	アルマイト理研 株式会社	ピールサーバー用ディスパンスヘッドの生産技術の確立
11	小林金型彫刻	半導体検査装置部品向けリレースイッチ部品の放電加工技術開発及び生産の効率化
12	わたべシート 株式会社	最新式ウェルダの導入による生産性向上と高付加価値製品の提案
13	株式会社 アセック	最新の主軸台移動型CNC自動旋盤導入による航空機エンジン部品製作の国際競争力強化
14	平仁工業 株式会社	最新洗浄機導入による環境負荷低減洗浄の確立と効率的生産ラインの構築
15	株式会社 ツボエ	「研磨バリ取り機」導入による「おろし金」の品質向上と日本食文化の下支え
16	一菱金属 株式会社	オイルポット生産の省工程化と小型商品投入によるシェア拡大計画
17	木村綿業 株式会社	新潟のお米（篩下米）を使った純日本製ご当地寝具の開発
18	株式会社 吉崎製作所	三次元形状測定器導入による焼結金属製自動車歯車部品製造技術の革新
19	テラノ精工 株式会社	最先端複合加工機導入による丸型部品加工の工程削減と高精度化の実現
20	株式会社 滝口製作所	「高効率誘導加熱装置」導入による、トルネード膨張アンカーの鍛造加工の变革
21	株式会社 新潟涌井	第2世代X線異物検査装置と半自動薄膜・皮スキナー導入による高品質製品の生産体制の実現
22	桜本工業 株式会社	生産プロセス管理のIT化による多品種少量プレス製品の生産性向上
23	株式会社 北雪酒造	最新鋭のステンレス製洗ビン機の導入により鉄のリスク排除から高品質な清酒製造を実現する
24	シングル工業 株式会社	加温機能付クランプ装置の導入による裏貼工程の改善と生産性向上
25	株式会社 富田刃物	角形波刃加工機の開発導入
26	株式会社 永島工機	最新平面研削盤導入による生産プロセス改善と競争力強化
27	株式会社 ヤマテック	複合旋盤導入による新加工方法確立・品質向上・納期対応
28	皆川農器製造 株式会社	ターボチャージャー用ステンレス製精密遮熱板の応力軽減プレス加工技術の開発
29	トップ工業 株式会社	高効率誘導加熱装置導入により熟練工の技術を数値化し、商品製造・開発の強化を実施する
30	石川製作所	刃物用自動研削機の更新及び生産数増加計画
31	山崎醸造 株式会社	小麦・大豆を使わない、米を主原料とした醤油の開発
32	株式会社 橋本金属	短納期量産体制の強化に伴うプレス工程の革新
33	有限会社 エンドー	光学機械向け金属部品の超精密な試作と量産体制の確立
34	山田精工 株式会社	高速取出口ロボットを導入したクリーン環境対応高効率・省エネ生産システムの構築
35	有限会社 上村製作所	競技スポーツ用部品の高精度・高効率加工で生産性向上の実現
36	帆苅ブロック工業 株式会社	最新型ブロック製造設備導入による生産性の向上と競争力の強化
37	株式会社 青海製作所	最新鋭のハイグレードマシンにロボットとAIとIoTを連携させ、高効率な生産体制で航空機部品の新規受注を目指す。
38	株式会社 アサヒプレート	大判平面および円筒面彫刻部門の拡充とテータ構造の標準化による生産効率の向上
39	株式会社 UniBio <small>p.44</small>	植物より製造する化粧品原料EGFの工程改善による生産性向上
40	株式会社 佐野鉄工スプリング製作所	生産プロセス改善と試作体制強化による顧客対応力の向上と新規顧客開拓
41	株式会社 カサイ	溶接を必要としない最新フレア加工装置の導入による短納期、品質改善、及び生産性向上の実現
42	佐渡精密 株式会社	最新NC自動旋盤と高圧クーラント導入によるエネファーム関連部品の生産力強化
43	株式会社 中越加工	家具を対象とした木口材貼り工程の機械化による生産性向上と製品の高機能化
44	株式会社 トーエイ	ファイバーレーザー溶接機ロボット導入によるIoT生産プロセスの革新
45	株式会社 アサヒプレジジョン	ターニングセンターを導入し、電子顕微鏡の真空装置部品の受注拡大を図る。

No	申請者名称	事業計画
46	株式会社 滝田	ウイルス感染対策を行った異物検査装置用AVC筐体の開発
47	有限会社 阿部精工	医療機器等で使用する極小バネ加工体制の構築
48	株式会社 カエリヤマ	5軸複合切削機を中核としたロボット付きNC加工機群のネットワーク構築
49	株式会社 マックスニット	最新型縫製機械によるアパレル製品の多効率生産と多能工員の育成
50	ナカヤマ紙工 株式会社	高周波接着機導入により木箱の量産体制を強化する事業
51	株式会社 柳製作所	精密小型部品に対する旋盤加工技術の開発により一貫生産体制を構築する
52	有限会社 島村木工	デザイン性が高い複雑形状の店舗什器製造にかかるリードタイム削減事業
53	恵比寿屋興業 株式会社	木材縁貼りシステム導入による家具製造の生産性・効率化の向上
54	有限会社 須戸精工	最新モデルの5軸制御複合加工機導入を通じた高精度・短納期化の実現事業
55	有限会社 丸山鉄工所	ゴムキャタピラ式クローラーローダーの大型化と生産性向上を実現する溶接技術の確立
56	株式会社 外山刃物	園芸刃物の大規模市場への対応と高精度化体制の開発
57	株式会社 丸尚	簡易型茶碗蒸しの生産ライン導入による生産性の向上
58	有限会社 日承テクニカル	加工素材の抜本的改革に対応する複合加工機導入により収益性向上
59	弥彦酒造 株式会社	Alc11°低アルコール無殺菌生酒通年販売への挑戦
60	有限会社 山田製作所	最新マシニングセンタ導入による加工の高精度化と生産性の向上
61	株式会社 笠原成形所	プラスチック射出成形業におけるIoT技術を用いたスマートファクトリーモデルラインの構築
62	株式会社 松田鍛工所	足踏みメダル自動制御装置の導入による安定した成型及び生産向上
63	ミズホ 株式会社	動物用成形外科インプラント向けチタン等の難削材料の超微細加工技術開発事業
64	株式会社 オーヒラ	レーザー光凝固法を用いた眼科治療機器ユニットの製造
65	株式会社 田辺製作所	世界初・超薄板水晶ウエハの生産体制の構築
66	株式会社 長谷川	新分野加工事業への進出と高精度無人加工の構築
67	有限会社 風間鉄工所	革新的な特殊治具製作技術の確立による競争力の強化
68	阪新鍛造 株式会社	新型サーボプレス機導入による生産性向上と多品種小ロット化の展開
69	株式会社 サイトメ	高強度パイプの曲げ加工とパイプ間隔最適化による革新的かつ自社オリジナルの農業用ハウスの開発、販売
70	株式会社 ナカシマ	製造能力と生産効率向上による事業活性化
71	有限会社 白倉製作所	マシニング導入による納期短縮と2次元加工から3次元加工への挑戦
72	株式会社 葵製作所	門型5面加工機の導入による高生産性工場の構築と高精度加工の高効率化
73	ダイトゴム 株式会社	独自の金具表面処理技術の構築による新たな製品分野への挑戦
74	藤次郎 株式会社	レーザー加工機導入による小ロット・短納期ニーズの受注拡大と新分野への挑戦
75	株式会社 北越時報社	オフセット印刷工程の刷新による短納期化と高品質化の実現事業
76	藤木鉄工 株式会社	一次加工の内製化による顧客満足度向上のためのファイバーレーザー切断機の導入
77	共栄エンジニアリング 株式会社	マイクロ流体デバイス金型生産における超高精度・高効率微細加工システムの構築
78	株式会社 栄工舎	工作機械工具の世界一の高精度を更に向上させる生産体制の構築
79	株式会社 ルック	極細素材を使用した新しいニット分野への進出と生産性向上
80	有限会社 フナックス	卓上型三次元測定器導入による金型の生涯における精度管理体制の構築
81	株式会社 ピーコック	新規原材料処理技術開発による品質強化・生産能力増強と新規受注の拡大
82	サトウ産業 株式会社	味の数値化技術活用による惣菜の商品開発高度化（高品質化・低コスト化）
83	関川鋼販 株式会社	ハイブリッド式型射出成形機の導入による自社製品のさらなる付加価値向上
84	有限会社 若月鉄工所	最新型マシニングセンタ導入による長尺部品の生産能力・競争力の強化
85	有限会社 大誠工機	深孔中繰り加工の内製化と受注増大に対応可能な付加価値機能付NC旋盤の導入
86	株式会社 マツウラセイキ	トップランナー変圧器用部品の革新的高効率加工及び納期短縮化の実現
87	有限会社 中澤鉄工所	3軸機能付NC旋盤導入による生産性向上計画
88	有限会社 一印かまぼこ屋	3Dフリーザー導入による顧客ニーズへの対応とビジネスチャンスの拡大
89	有限会社 シンエー木型工業	IoTを活用し最適切削加工技術の確立と生産システム向上の実現
90	有限会社 共栄化工	角形金属素材の寸法精度確保および製品の高品質化を志向した最新プラズマ切断機の導入
91	山本ねじ工販 株式会社	発電機タービン用ケーシングスタッド事業への参入
92	フジイコーポレーション 株式会社	加速度センサを利用した新型傾斜センサの開発で業績の向上と安定

No	申請者名称	事業計画
93	株式会社 若月鋳工所	コンピューターシミュレーションによる鋳造工程の最適化と製品品質の向上
94	株式会社 ワンロード	IoTを活用した高精度試作品金型の短納期対応及び利益確保に向けた企業体質強化
95	佐藤技研 株式会社	固定治具市場への課題解決型ビジネスへの挑戦と雇用の創出
96	共栄電工 株式会社	医療用微細管内面の超精密洗浄システムの確立
97	株式会社 サヴァ製麺所	新ラインの導入による麺製造能力3倍を実現する生産体制の構築
98	有限会社 キタザワ製作所	金属プレス加工自動化による生産効率の向上と新規雇用の獲得
99	株式会社 シンテック	最先端精密平面研削盤導入による高精度化と価格競争力の向上
100	株式会社 石高精工	空気圧制御機器部品を対象とした寸法・幾何公差の厳格管理体制の確立による受注拡大
101	大洋酒造 株式会社	日本酒製造の搾り、貯蔵・ビン詰プロセスの高度化による商品力の国内外での強化
102	株式会社 バイオテックジャパン	新除たんばく技術による早期腎疾患患者向けの低タンパクごはんの開発
103	株式会社 ユーティエス	フラットパネルディスプレイ製造装置用部品の生産性の向上
104	株式会社 三松製作所	次世代ミッション部品の複数工程統合による高品質量産化ラインの確立
105	株式会社 柳器物	金型からの一貫生産を活かした高精度、小ロット短納期金属部品加工
106	中一工業	最先端マシニングセンターの導入による自動車部品の高付加価値プレス金型製造プロセスの構築
107	有限会社 鉄工目崎	受注対応力を増強するためのCNC旋盤の新規導入と雇用創出
108	五十嵐バレル金型	高精度マシニングセンターを導入による、ブロー金型の新たな製造プロセスの構築
109	有限会社 コバヤシ製作所	精密平面研削盤の導入による自動車部品の高付加価値金型製造技術の構築
110	日本ベアリング 株式会社	IoT+AIによるハウジング製造事業の強化及び成長市場への挑戦
111	有限会社 新潟システム制御	専用機械用部品加工の高精度化と加工時間短縮の実現
112	有限会社 一成モールド	手作業によらない高精度小物装飾造形加工技術の確立
113	株式会社 アンドウ製作所	ファイブランキンプレス技術による超高精度プレーキディスクの開発
114	株式会社 片岡製作所	目通し工程の効率化による生産プロセスの革新
115	木原精機 株式会社	新しい生産体制の確立と人材育成による競争力強化
116	有限会社 万九渡辺食品	米粉製粉機導入による米粉入り生揚げ製品の生産プロセスの革新～規格外豆腐の有効活用から米粉入り生揚げ製品へ～
117	有限会社 伊藤製作所	射出成型の加工管理のデジタル化と段取り効率化による生産性向上
118	シマト工業 株式会社	ロボット導入による塗装工程の生産性向上
119	日本通信 株式会社	無線式書類等検索機の開発
120	株式会社 北陸製作所	革新的な吊下げ式溶接ロボットと新技術導入による溶接工程の製造能力と自動化率の向上
121	株式会社 WELCON	拡散接合における加工方法の組み合わせによる低コスト化
122	株式会社 エステーリンク	立型CNC旋盤による生産性向上と原価管理システムの構築
123	株式会社 加藤精工	自動車部品の精密加工に貢献する切削工具の高精度化と短納期化
124	シーサイド・ファクトリー 株式会社	「魚の生ハム」および魚肉を用いた新商品の生産設備の導入による量産体制の構築
125	株式会社 シンワ歯研	女性歯科技工士の活躍による短納期、高付加価値の提供
126	株式会社 アサヒテック	可変情報印刷が可能なラベル印刷機導入によるラベル総合メーカーとしての地位の確立
127	株式会社 トップライズ	三次元データ処理ソフト導入による業務フローの連携強化及び生産性の向上
128	HondaVineyardsandWinery 株式会社	振動式除梗機の導入による新潟産ナチュラルワインの商品化
129	株式会社 大谷商会	『食品製造工場向け』生産性向上支援サービスの開発
130	株式会社 朝日木材	音響・防音機能を強化した木製パネルを利用した新商品開発と新たな販路開拓
131	株式会社 ミューズ・コーポレーション	子供の大切な思い出を一冊の本へ！地域で連携しギフト市場を開拓
132	株式会社 シーキューブ	IoTによる遠隔設備の監視・保守・性能分析型複合サービス事業の創造
133	有限会社 藤田企画	特殊浴槽の設置とIT化による生産性の向上
134	株式会社 小田	色調管理をデジタル化し、速乾印刷に連動するQCDサービスの実現
135	株式会社 榮技術 <b>p.46</b>	3次元点群データを活用した測定の効率化と保全マネジメント向けの民間需要拡大
136	株式会社 桑原測量社	Webサイトを活用した受注システムの構築
137	株式会社 スターベッツ	内視鏡システム等導入による、治療の見える化と高精度チーム医療の確立
138	有限会社 浦佐・せきでん	音の『見える化』を実現する次世代音響サービスの提供
139	株式会社 アイウィル	ドローンを活用した3次元計測及び動画撮影サービス

No	申請者名称	事業計画
140	SkyPhotoFactory	新型マルチコプター（ドローン）を用いた空撮業務の新たな市場開拓
141	株式会社 丸山自動車	近赤外線式高性能乾燥機導入による自動車鍍金・塗装業務の革新
142	有限会社 室橋重機工事	解体建築物から出る廃棄瓦を原料とした瓦チップ製造販売への取り組み
143	北斗測量調査 株式会社	超小型LiDARセンサー導入による「高密度地形データ提供サービス」の大幅拡充
144	株式会社 港製菓 <b>p.52</b>	ハラル市場向け包あん商品新規販売と拡販対応の製造ライン構築
145	株式会社 ファーストイノベーション <b>p.48</b>	マラソン計測におけるパッシブRFIDタグと世界基準新型記録計測機材の導入
146	株式会社 白旺舎 <b>p.50</b>	多様化する日本の伝統、寝巻浴衣独自の発想で、他社との差別化
147	株式会社 サンニード	内製率の向上と技術承継による中古醸造設備の高度復元化事業の強化
148	有限会社 マミードライ	最新設備導入による革製品クリーニングの生産性向上

**平成30年度 ものづくり補助金事業 成果事例集**

---

発行日 平成30年12月

発行者 新潟県中小企業団体中央会

新潟県地域事務局 ものづくり支援センター

〒951-8133

新潟県新潟市中央区川岸町1丁目47番地3

経営者協会2階

(平成24-26年度事業)TEL (025)234-3090 FAX (025)234-3131

(平成27-28年度事業)TEL (025)211-8917 FAX (025)211-8920